その他、土壙墓が１基（ＳＫ－104）、土坑が数基検出された。以下、主な遺構について報告する。

ＳＫ－１０４（第53図，図版36）

ＳＴ－4011の玄室と一部重複する、直径1.14～1.3mの不整円形である。深さは0.49mを測るが、上部40cm程度は削平されている。

南側上面には、土師器の小皿２枚と皿１枚が重なった状態で、中央下部では小皿と皿各１枚が副葬されていた。これらは全て糸切り底で、小皿（４）は灯明皿の転用である（表７）。

ＳＺ－１１（第56図，図版39）

２区の北側を占める、長さ5.8m、幅3.4m、深さ1.2mの不整形な遺構である。

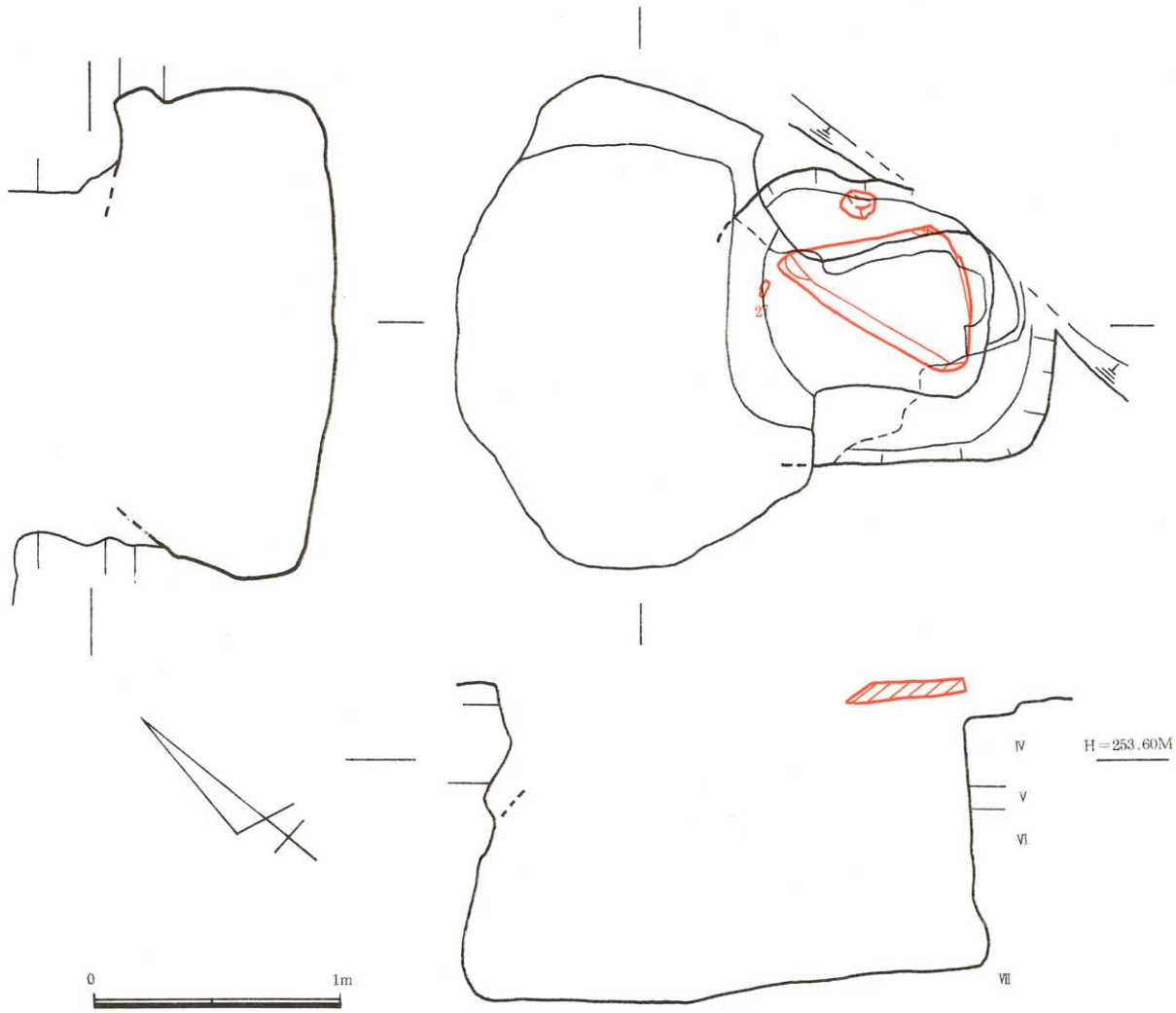
埋土は他の遺構とは異なり上層（１a～１c層）は黒～暗灰色系の土で、中層は灰～暗灰色系の土と砂が縞状に幾層にも堆積、下層は灰～褐色系の土が堆積している。また、すべての土層が粘質で水分が多く、特に下層は顕著であることから、溜池のような機能を推定している。しかし、下底は礫層であり、大雨の後も僅かしか水が溜まらず、下層が堆積し始めるまでは機能していなかったと思われる。

埋土には古墳時代の土師器や須恵器、中世～近世の土師器（第60図－34～45）や国産陶磁器（第61図－８・９，第65図－７～11）、輸入陶磁器（第62図－９・29，第63図－40）、石器（第69図－２・７）、加工木など様々な遺物が混入していた。最も新しい遺物は18世紀後半～19世紀の碗であり、最終的埋没年代を示す。

ＳＺ－１３（第57図，図版40）

ＳＴ－4006の玄室左側まで覆う、長さ4m前後、幅2.5m前後の不整形な落ち込みである。

埋土は大きく４層に分けられる。１層は淡黒灰色系の土で、礫が多い。２層は暗灰色系の土で、礫を僅かに含




第25図　ＳＴ－3020　遺構実測図

む。3層はⅥ～Ⅶ層のブロックを主とする土層で、4層はⅢ層を起源とする黒灰色土である。以下は、安全性を考慮して未調査に終った。2層と3層の間にはアカホヤ塊全面にみられ、地下式横穴墓の崩落天井に継がるものである。壁面をみるとⅦ層の下はシラスの二次堆積のような砂層で、3～4層はそれとは異なり、明らかに上位の土層である。遺物は1層に多く、3層にも若干混入しており、中世～近世の土師器（第60図－29・30）のほか国産陶磁器（第61図－7，第65図－12～14）、輸入陶磁器（第62図－14・28，第63図－37）がある。

以上の状況を総合すると、近世末、何らかの原因で直径2mほどの部分的陥没が起こり、地下式横穴墓も巻き込んだ。アカホヤ塊の隙間から黒色土や土器片なども流入した。第2層上面が旧地表面に近いと思われるが、この凹みに第1層が埋まっているのである。

よって当該落ち込みは、人為的掘り込みではなく、自然陥没坑の凹みであると断定する。

ＳＫ－１０８・１０９（図版36）

当初、調査区内ではＳＫ－108の大部分と109の一部を検出したが、地下式横穴墓である可能性があり、北側を拡張した。

ＳＫ－108は長さ1.10m、幅0.66mの紡錘形で、北西部は2段掘り、深さは10～35cmを測る。北東部はＳＫ－109に削られる。

ＳＫ－109は1辺1.7～1.8mの隅丸方形を呈し、深さは5～15cmの浅い土坑である。

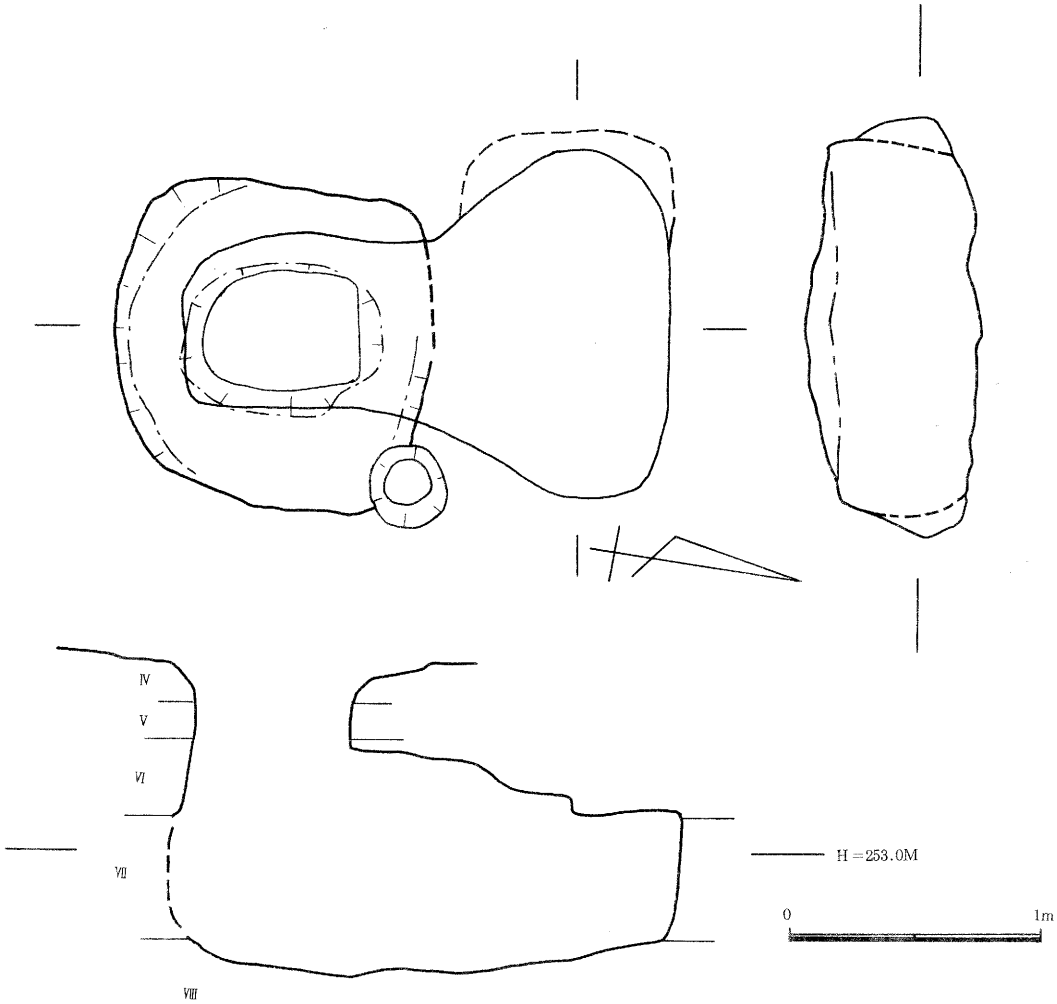
ＳＫ－108の埋土から中世の土師器片が出土したが、機能は不明である。

ＳＺ－０４（図版38）

1.7～1.8m四方、深さ0.7～0.8mの土坑で、礫混じりの黒色土が埋まっている。埋土から近世の土器片や石臼片などが出土している。

ＳＺ－０９（図版38）

1辺が1.8～2.6mの不正方形で、深さ0.90mの土坑で




第26図　ＳＴ－3022　遺構実測図

ある。埋土は礫混じりの暗灰色系の土で、近世の陶磁器や砥石、鉈（第72図－１）などが出土した。

**その他の出土遺物**

柱穴や土坑から様々な遺物が出土している。

**土師器**（第60図，表10）

地下式横穴墓の竪坑や崩落した天井の上の埋土から壷や長頸壷、甕、高坏が出土しており（１～３，５，６，33）、墳丘祭祀に用いられた土器と思われる。

中世～近世の坏や碗、皿も多く出土している。これらは糸切り底のものが多い。中には墨書土器が１点（32）あるが、文字の判読は困難である。

**須恵器**（第64図，表８）

壷や甕の胴部の破片は30点余り出土しているが、口縁部や底部は少ない。

２の坏蓋は、地下式横穴墓の墳丘祭祀に伴う遺物と思われる。

**中世国産陶器**（第61図－２，４，５，７～９，表９）

溝状遺構やＳＺ－11、柱穴、遺物包含層から、主として備前焼の摺鉢が出土している。そのほとんどは、使用による摩滅が著しい。

**近世国産陶器**（第65－７～27，66図－28～64，表12・13）

16世紀末～19世紀にかけての、肥前、肥前系、唐津、薩摩、南九州産の陶磁器が豊富に出土している。

**輸入陶磁器**（第62図－９～18,20～31,63図－32～46,表11）

60点余りの破片が出土した。白磁は１点のみ（10）で14～16世紀前半の青磁、15世紀末～17世紀前半の染付が出土している。

**石器・石製品**（第68・69図，表14・15）

近世の砥石のほか、擦痕のある軽石、石臼が出土している。砥石には砂岩製（粗砥～中砥）、硬砂岩製（中砥～仕上げ）、泥岩・粘板岩製（仕上げ）がある。

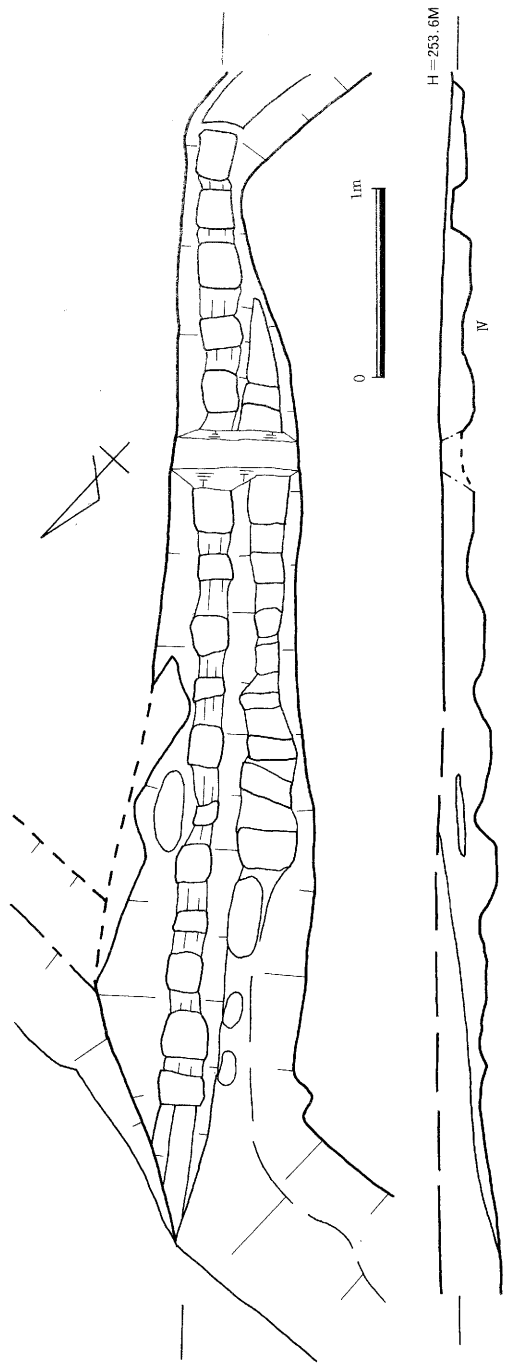
**金属製品**（第72図－２～６，表16）

器種・用途が判る遺物のみ図化している。近世の土坑や柱穴からキセルや鎌先が出土している。

**小結**

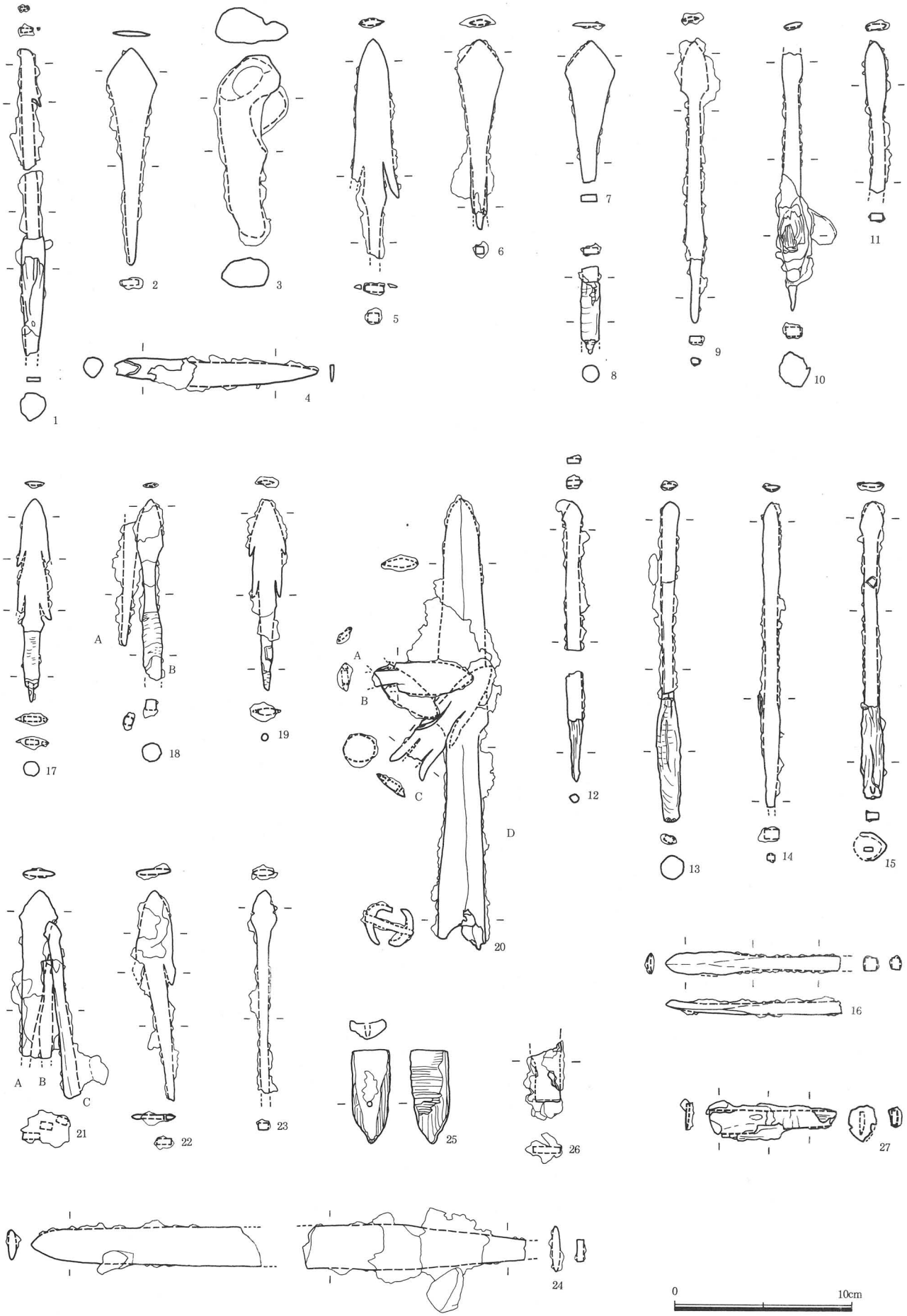
縄文～弥生時代には、調査区の南の微高地に集落が営まれていたことが推定される。

古墳時代後期には地下式横穴墓群が構築され、墓域となった。検出した遺構全てが、アカホヤ塊で羨門を閉塞する平入り両裾タイプであり、同一集団の墓であること




第27図　ＳＤ－43　遺構実測図

第28図　蕨地区出土　土師器　実測図




第29図　蕨Ｃ地区　地下式横穴墓出土遺物実測図　1～4：ST－3013　5～16：ST－3014　17～20：ST－3016　21～24：ST－3018
25・26：ST－3009　27：ST－3020

が判明した。副葬品も豊富である。

墳墓群の廃絶後、７～800年の断絶を経て、集落が立地する。以後、幕末まで途切れることなく居住地となっている。

６．地主原Ａ地区

地下式横穴墓の分布域であることから、道路と水路の施工範囲を調査対象とした。

調査の結果、柱穴約350、土坑25、溝７、竪穴遺構１（ＳＡ－01）などを検出した。

ＳＡ－０１（第59図，図版41）

調査区の東端で検出、長さ6.4m、幅3.7～4.0mの長方形を呈し、深さは12～15cmである。柱穴は規則的ではなく、深さも一定していない。床面中央部から東側には幅0.80m、深さ0.30mの排水溝があり、屋外へは北向きに屈折する。

埋土や床面からは陶磁器やガラス瓶（第67図－81～84）などが出土し、明治～大正期の遺構といえる。

ＳＢ－０１

調査区の幅が狭いために建物跡の復元が困難であるが唯一、柱穴が等間隔に並ぶ遺構である。柱間は２間×８間と思われるが、欠落する所もある。南の桁は１～２回の建て替えがあり、冊列として単独で存在していた可能性もある。

出土遺物

近世～近現代の遺物が多いものの、土師器（第73図）や輸入陶磁器（第63図－47・48）、国産陶磁器（第67図）、金属製品（第74図）、石器（第75図）がある（表10・13・17）。

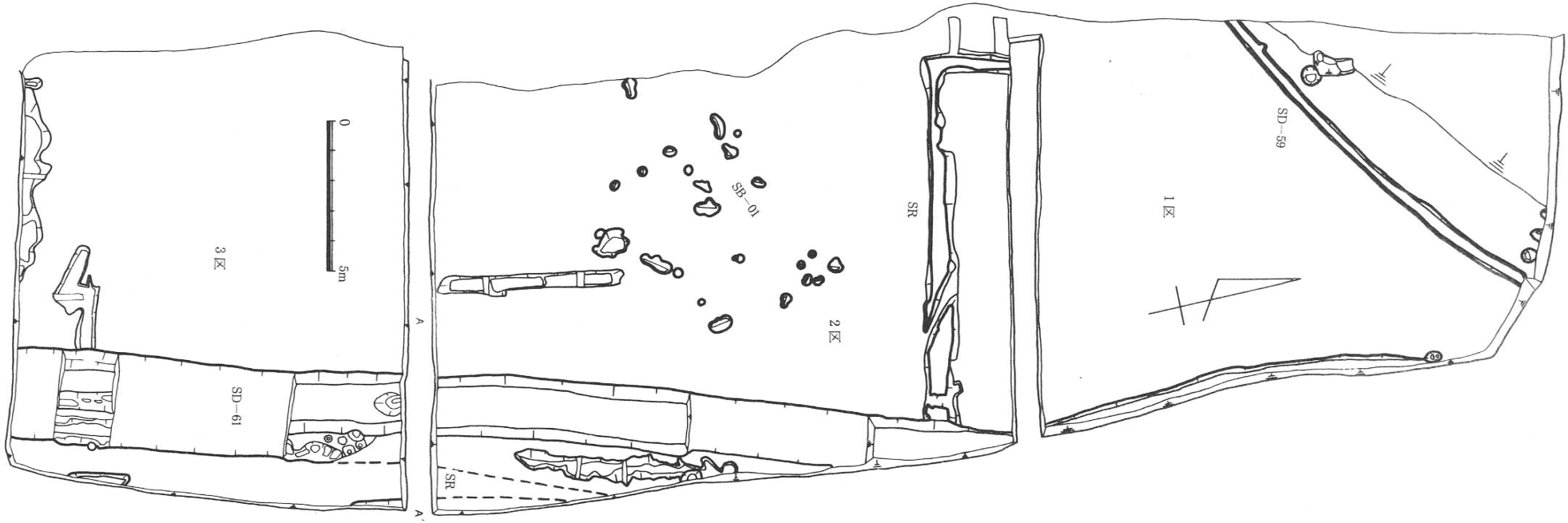
小結

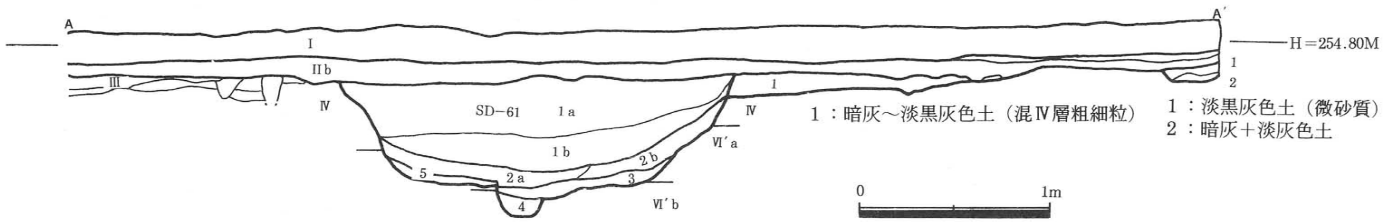
当該地域は、中世後半に開拓が始まり、居住地となって大正期まで続いた集落跡である。

現在、調査区の北に接する民家は居を構えて３代目であり、少なくとも近年50年は、当調査区は水田であったという話を聞いており、調査成果と矛盾しない。

７．地主原Ｂ地区（図版43）

地下式横穴墓の分布域であることから表土剝ぎを実施したが、確認されなかった。念のため２本の試掘溝を設定した。Ⅲ層は60cmもの厚さがあり、その上面から掘り込む溝状遺構（ＳＤ－21）を検出した。幅は2.6m、深さは0.90mで直線的。出土遺物は無い。



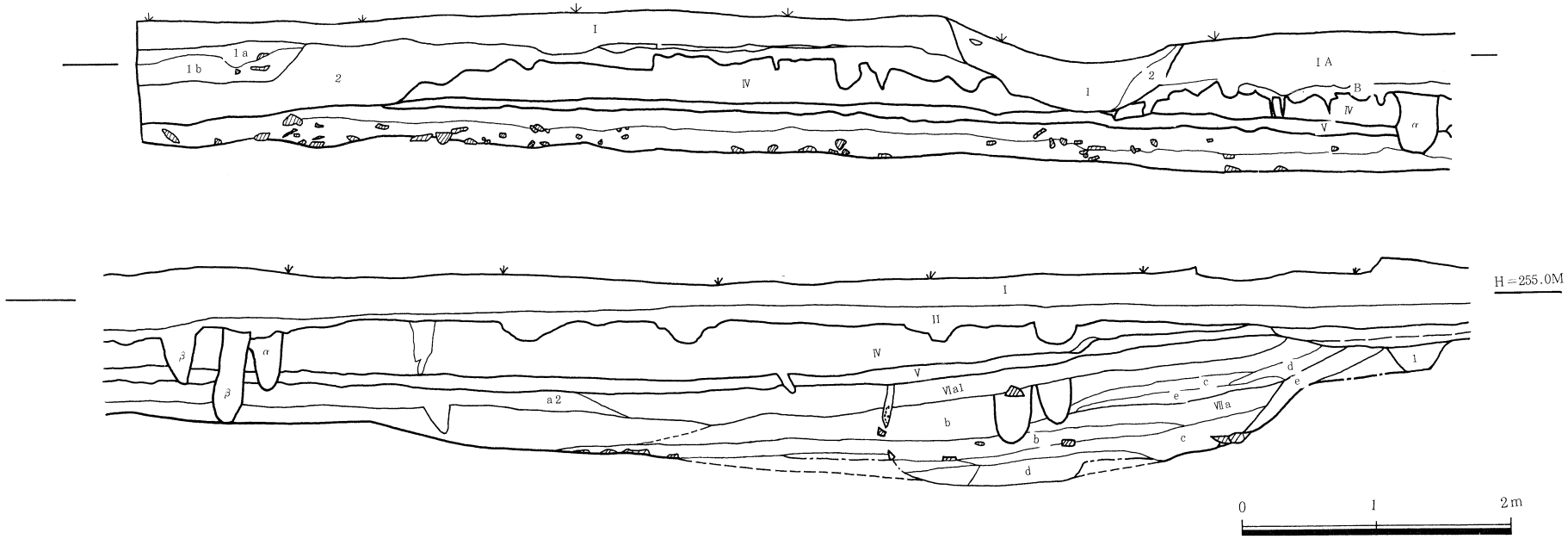




第31図　ＳＤ－61層序図

SD61-1a：暗灰色土
1b：淡黒灰色土
2a：暗灰＋淡茶灰色土
2b：暗灰～淡茶灰色土
3 ：淡茶灰＋暗灰色土＋Ⅵb
4 ：淡灰＋淡黒灰色土＋Ⅵb
5 ：Ⅵa＋暗灰色土

Ⅰ　：暗灰色土
Ⅱa ：暗灰色土（硬い）
Ⅱb ：暗灰褐色微砂質土（混Ⅳ層細粒）
Ⅲ　：淡黒灰色土
Ⅳ　：アカホヤ火山灰
Ⅵ′a：淡茶灰色土（やや粘質）
Ⅵ′b：淡黄灰～淡黄色微砂質土

第32図　久見迫Ｂ地区　遺構分布図




ＩＡ：暗灰色土
　Ｂ：暗灰色土（旧畑作土）
Ⅱ　：灰～暗灰色土
Ⅳ　：アカホヤ火山灰
Ⅴ　：暗茶褐～茶褐色＋黒灰色土
Ⅵa1：暗灰色土
　a2：暗灰～淡黒灰色土
　b　：淡黒灰～暗灰色土
　c　：暗灰色土（粘質）

Ⅵd　：暗灰～灰色土（粘質）
　e　：暗灰～淡灰色土（粘質）
Ⅶa　：淡茶灰＋淡灰色土（粘質）
　b　：淡茶灰～淡灰色土（粘質）
　c　：淡灰＋淡茶灰色土（粘質）
　d　：淡黄灰＋淡灰色粘質微細砂
　e　：淡茶灰～淡黄色粗細砂～砂質土
Ⅷ　：砂礫層

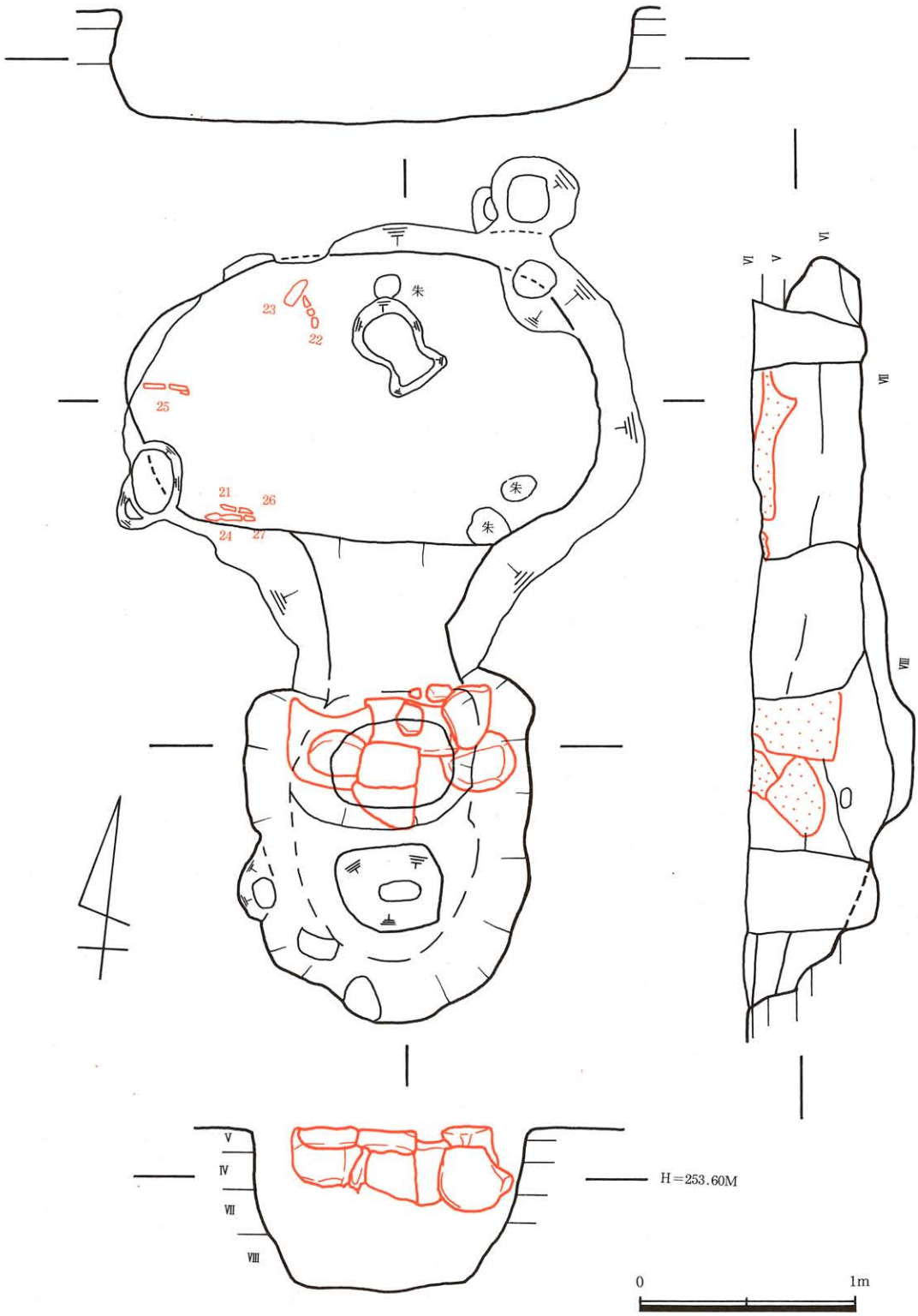
α：淡黒灰色土（混Ⅳ層ブロック～粗細粒少量）
β：暗灰色土（混Ⅳ層ブロック～粗細粒多量）

1a：灰～淡黄灰色土（混Ⅳ～Ⅵ層ブロック～粗粒多量）
　b：暗灰色土（混Ⅳ層細粒微量）
　2：暗灰＋淡黒灰色土（混Ⅳ層細粒少量）

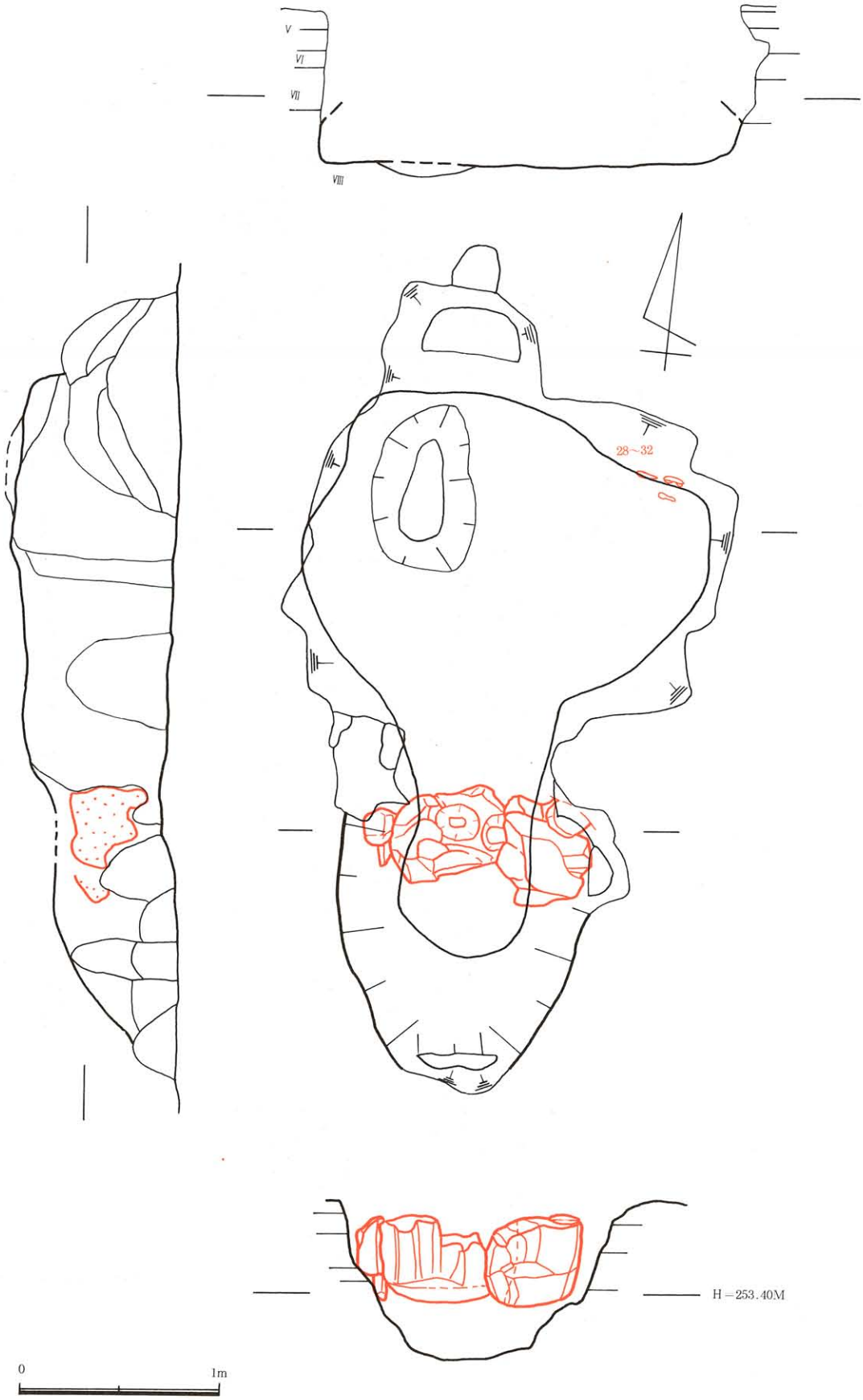
1：淡灰＋暗灰色土
2：淡灰色土＋淡黄褐色粘質微砂

第33図　久見迫Ｂ－４区　南壁層序図

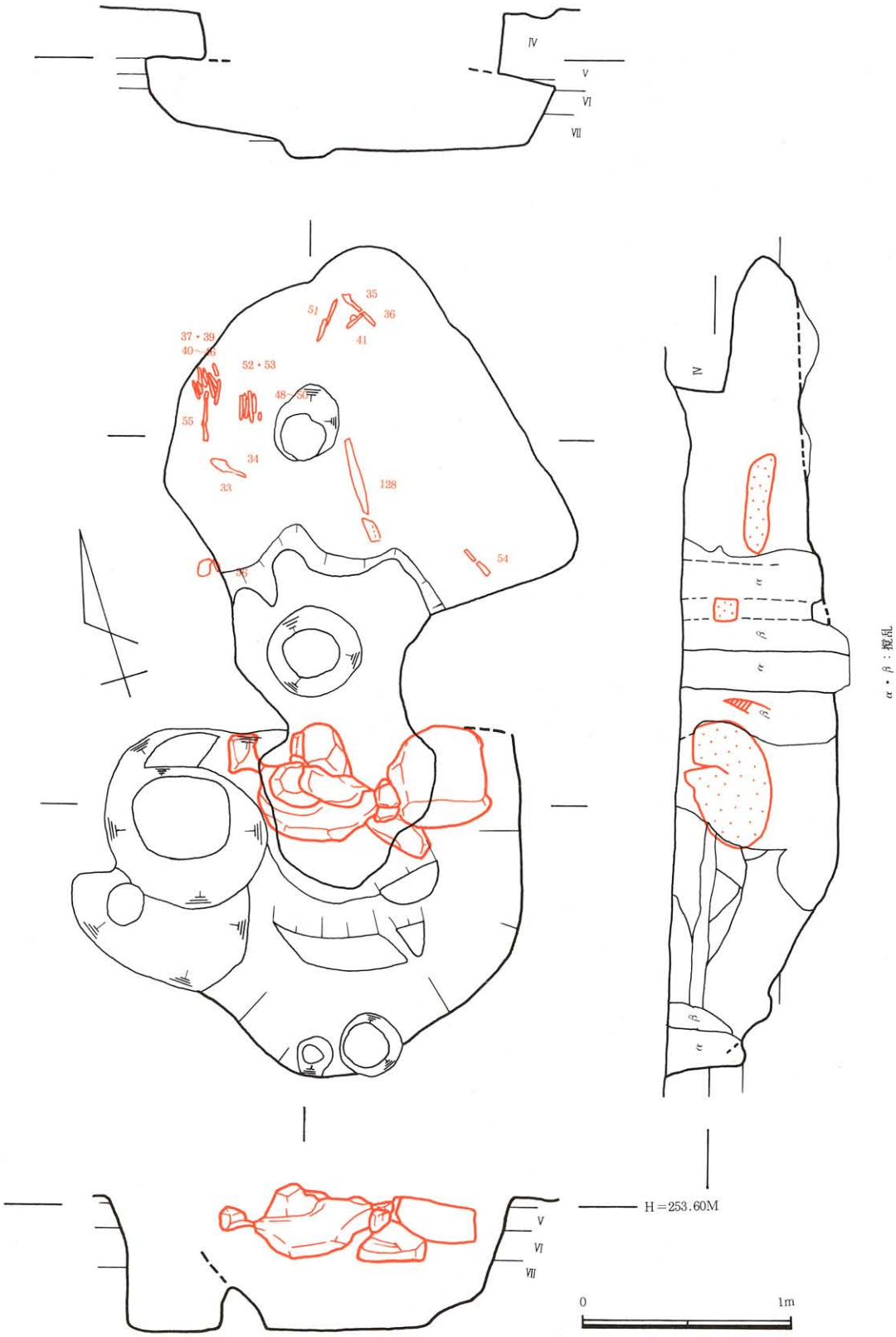
第34図　ＳＴ－4001　遺構実測図



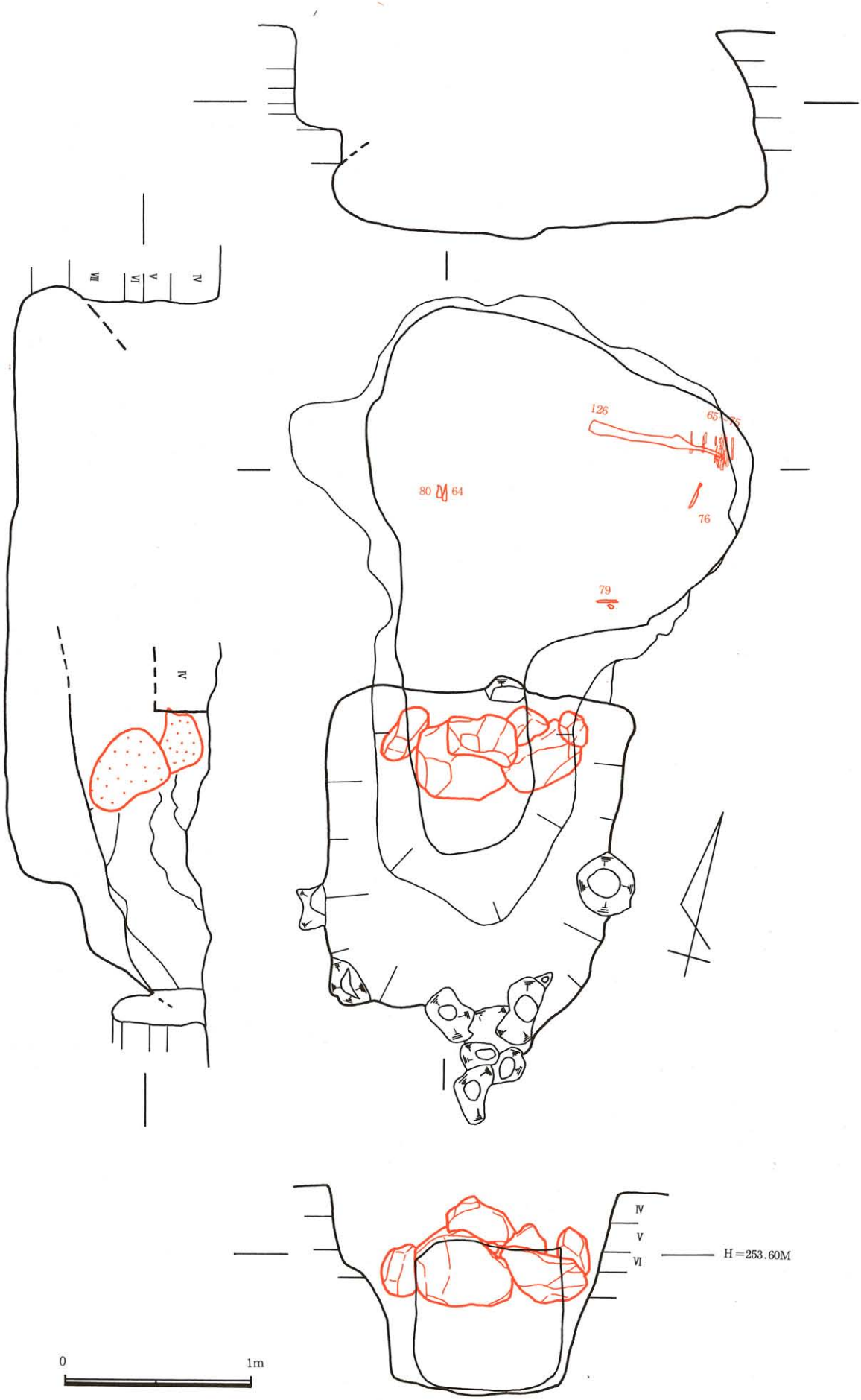

第35図　ＳＴ－4002　遺構実測図



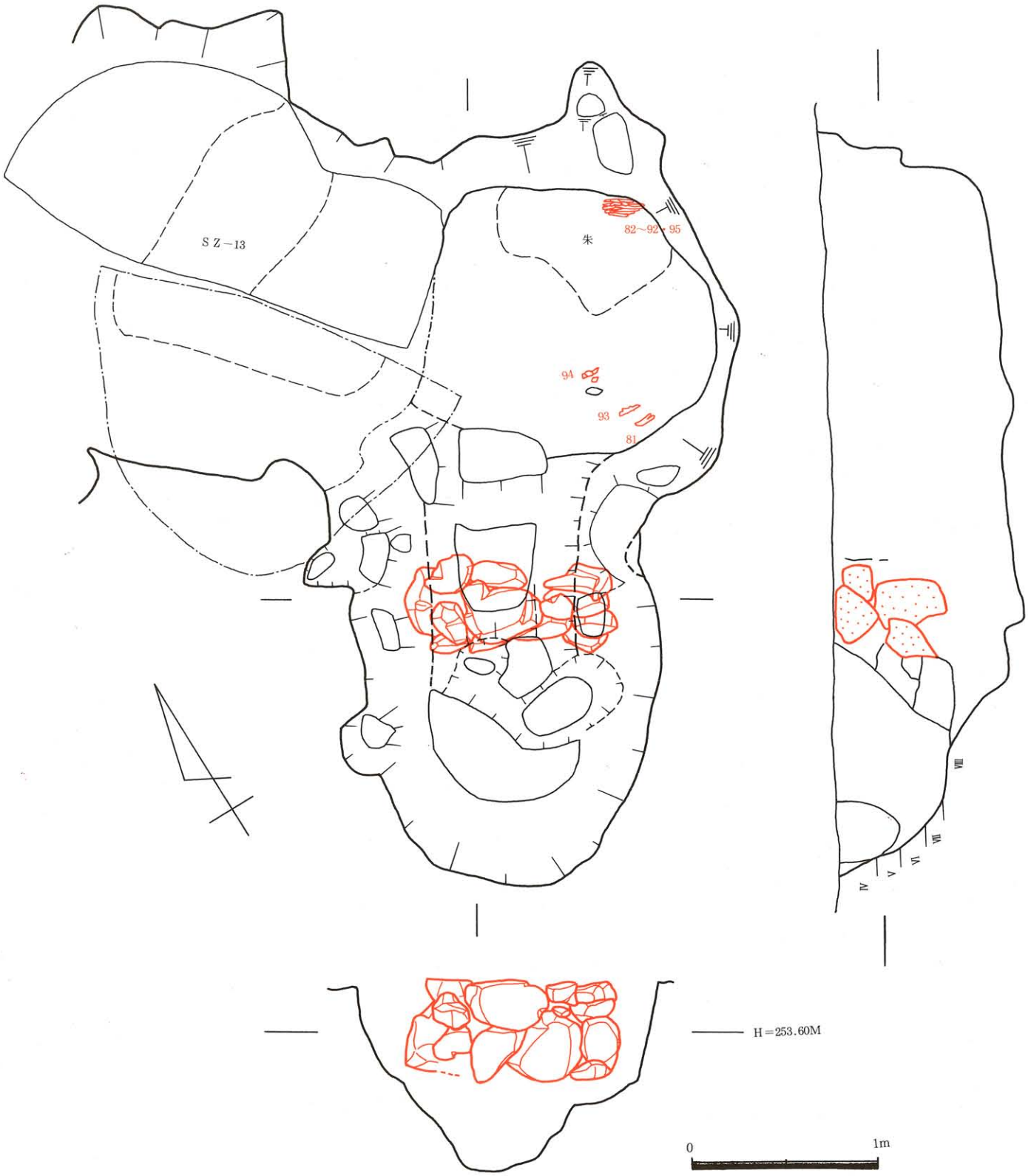

第36図　ＳＴ－4003　遺構実測図




第37図　ＳＴ－4004　遺構実測図

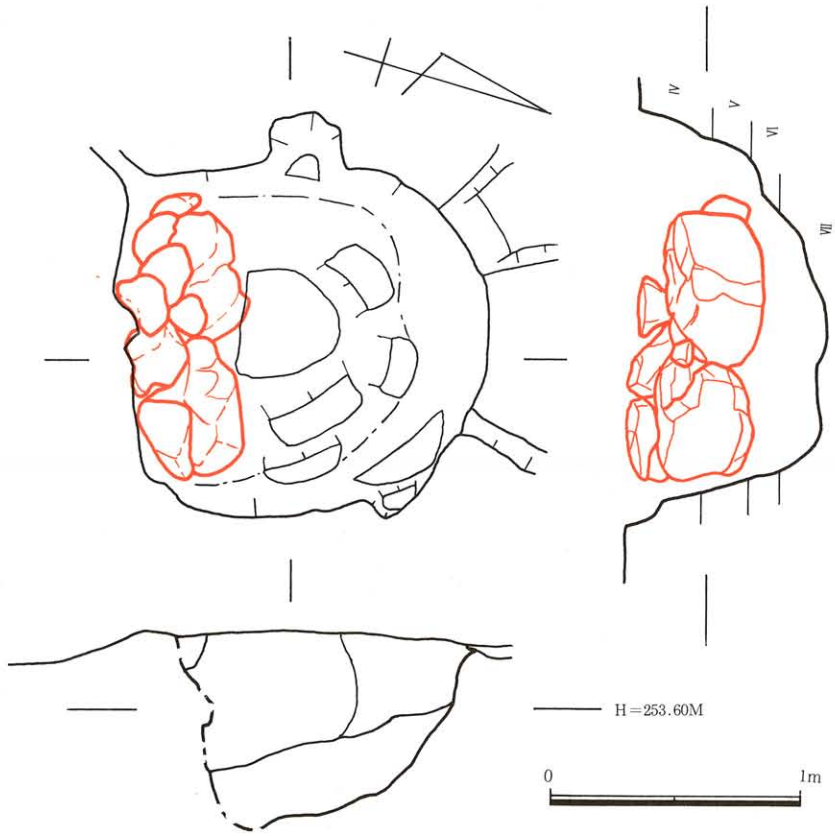



第38図　ＳＴ－4005　遺構実測図

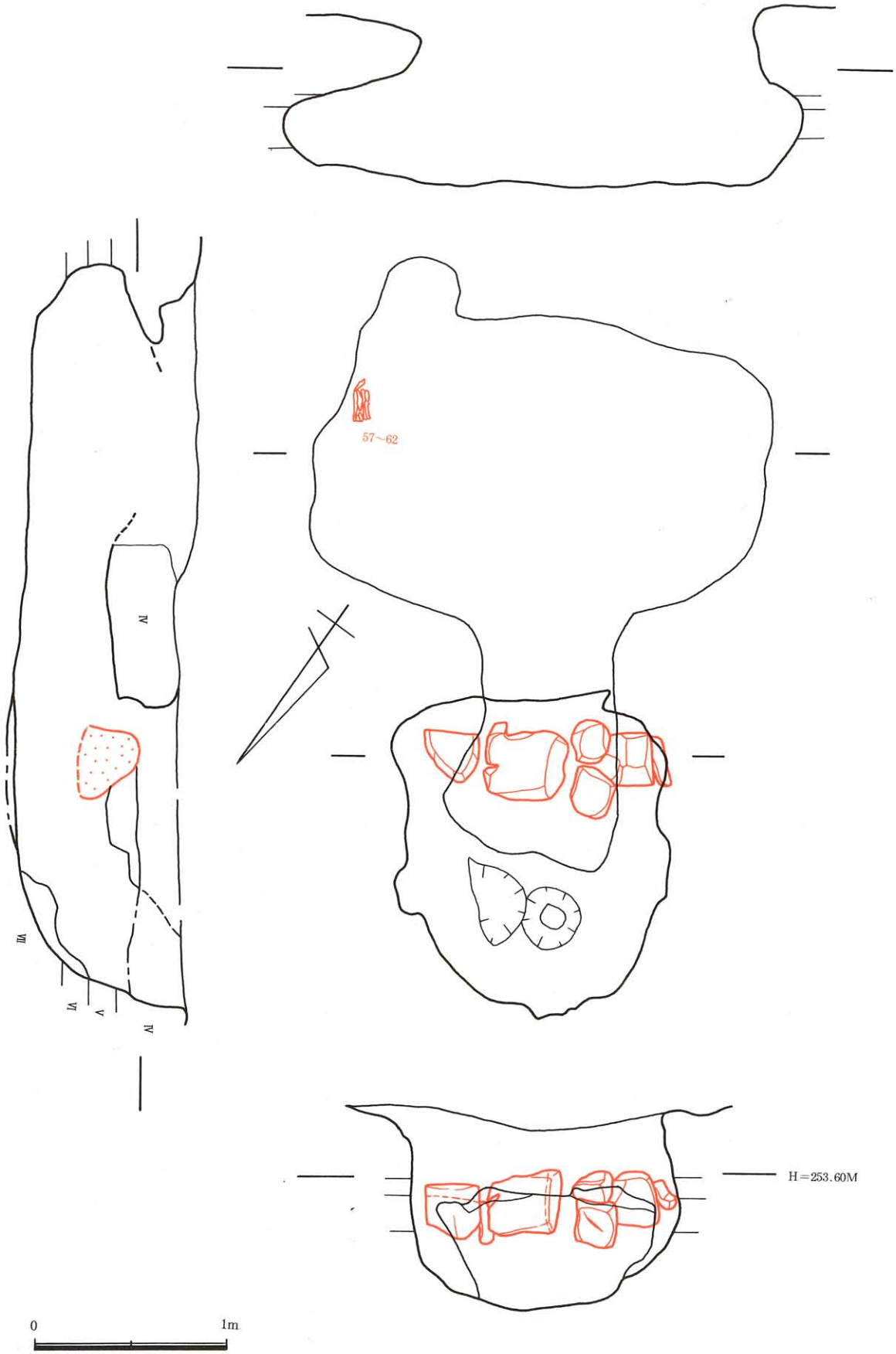



第39図　ＳＴ－4006　遺構実測図

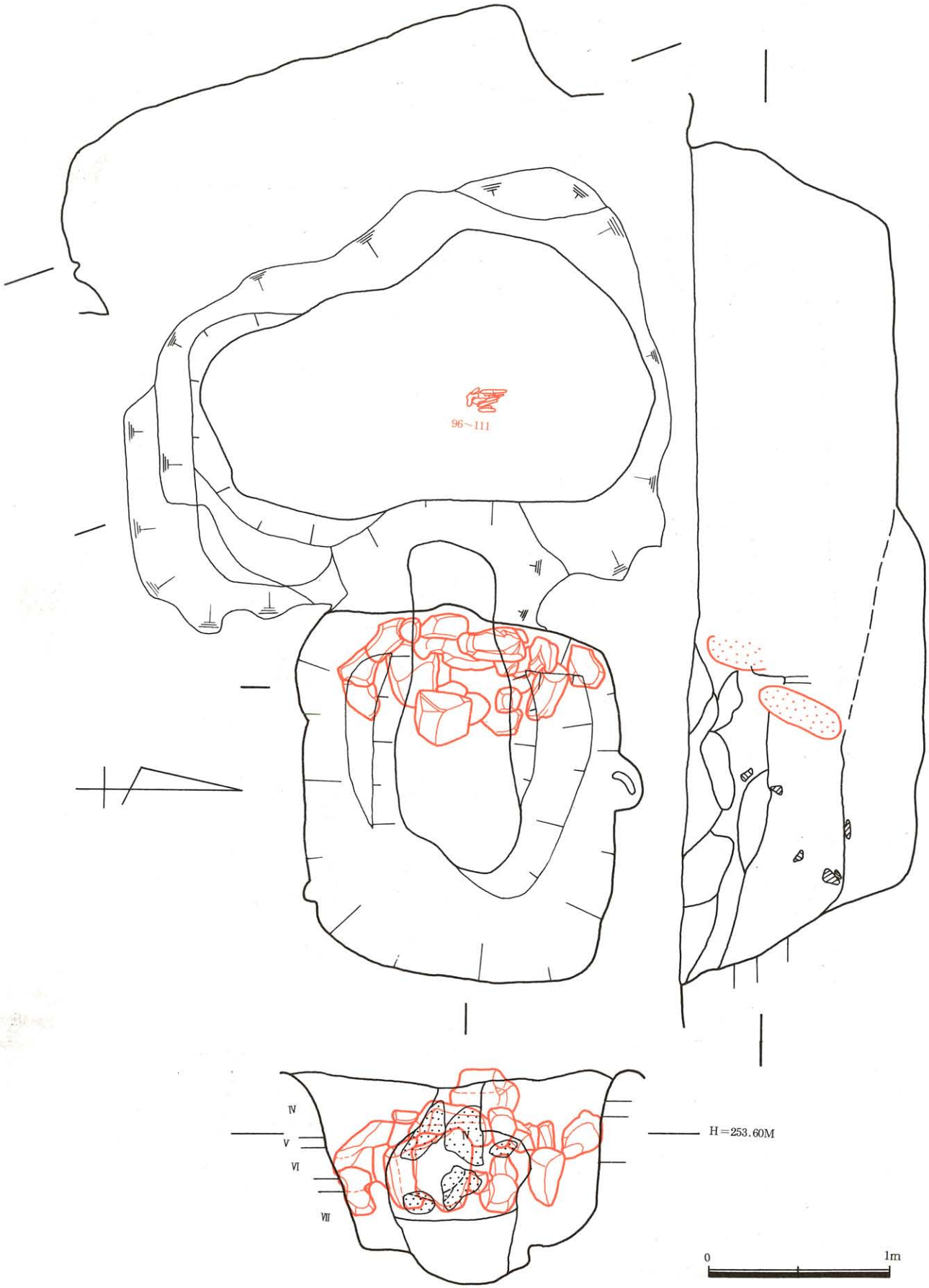
久見迫Ｂ地区　調査風景



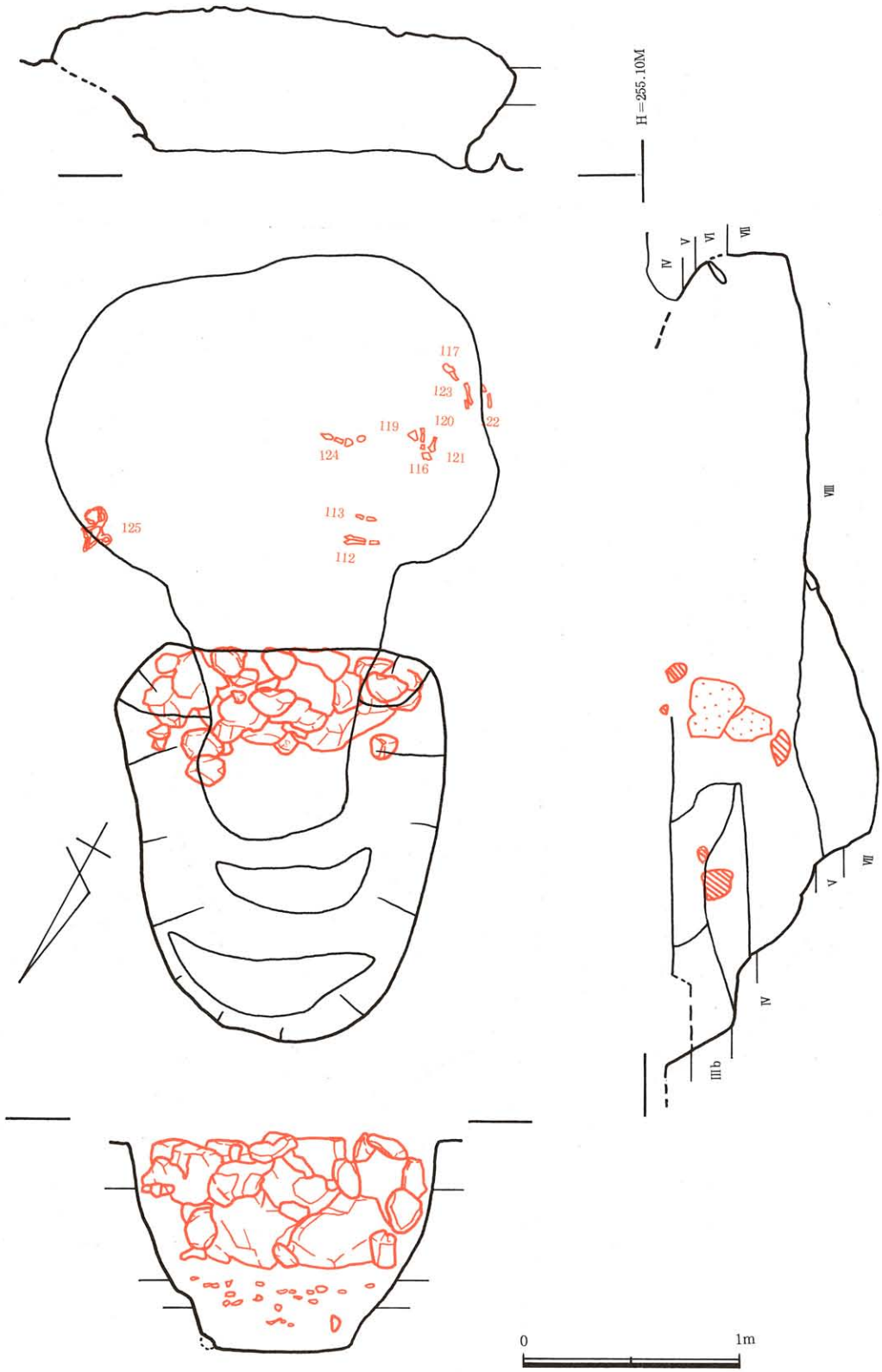

第40図　ＳＴ－4007　遺構実測図



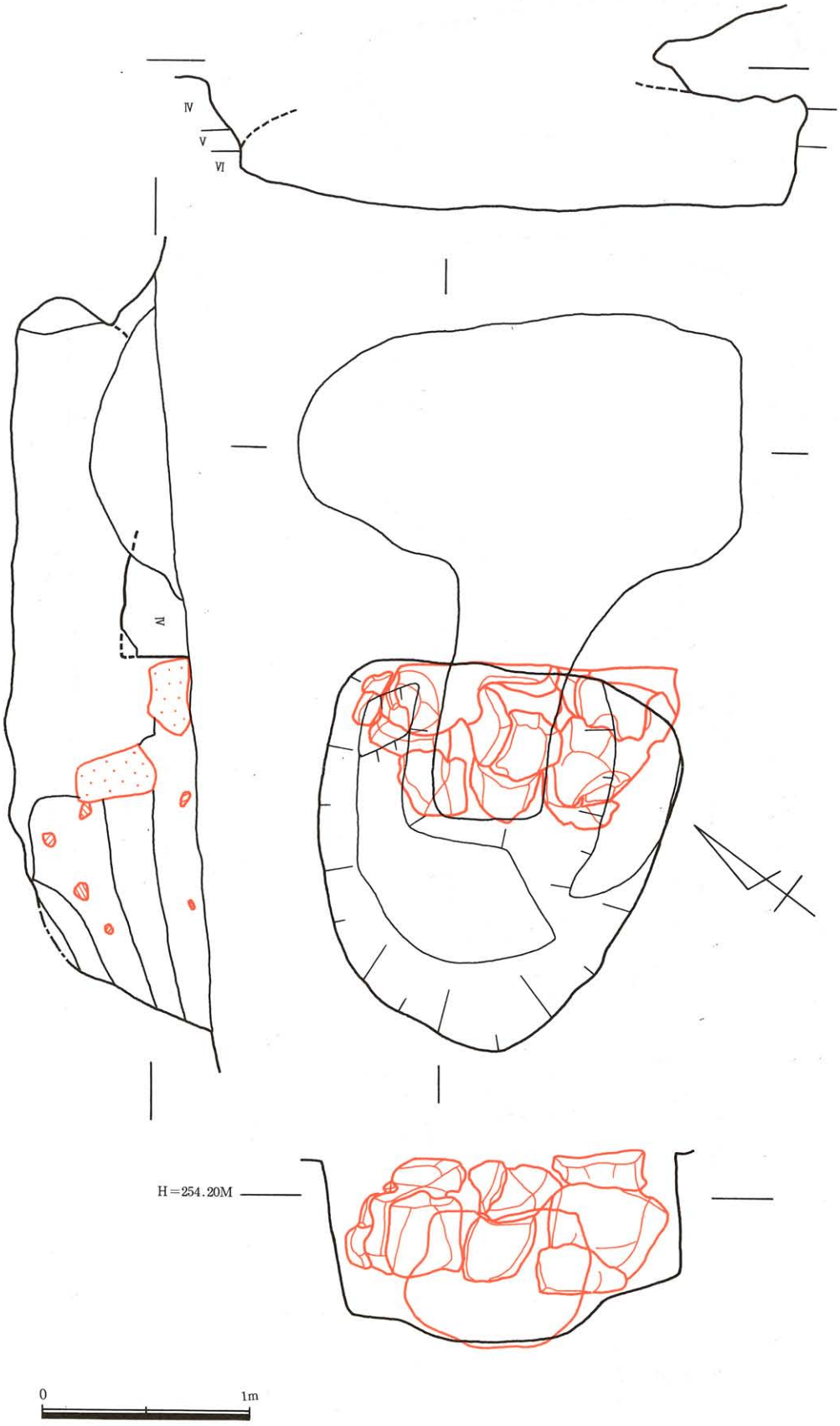

第41図　ＳＴ－4008　遺構実測図



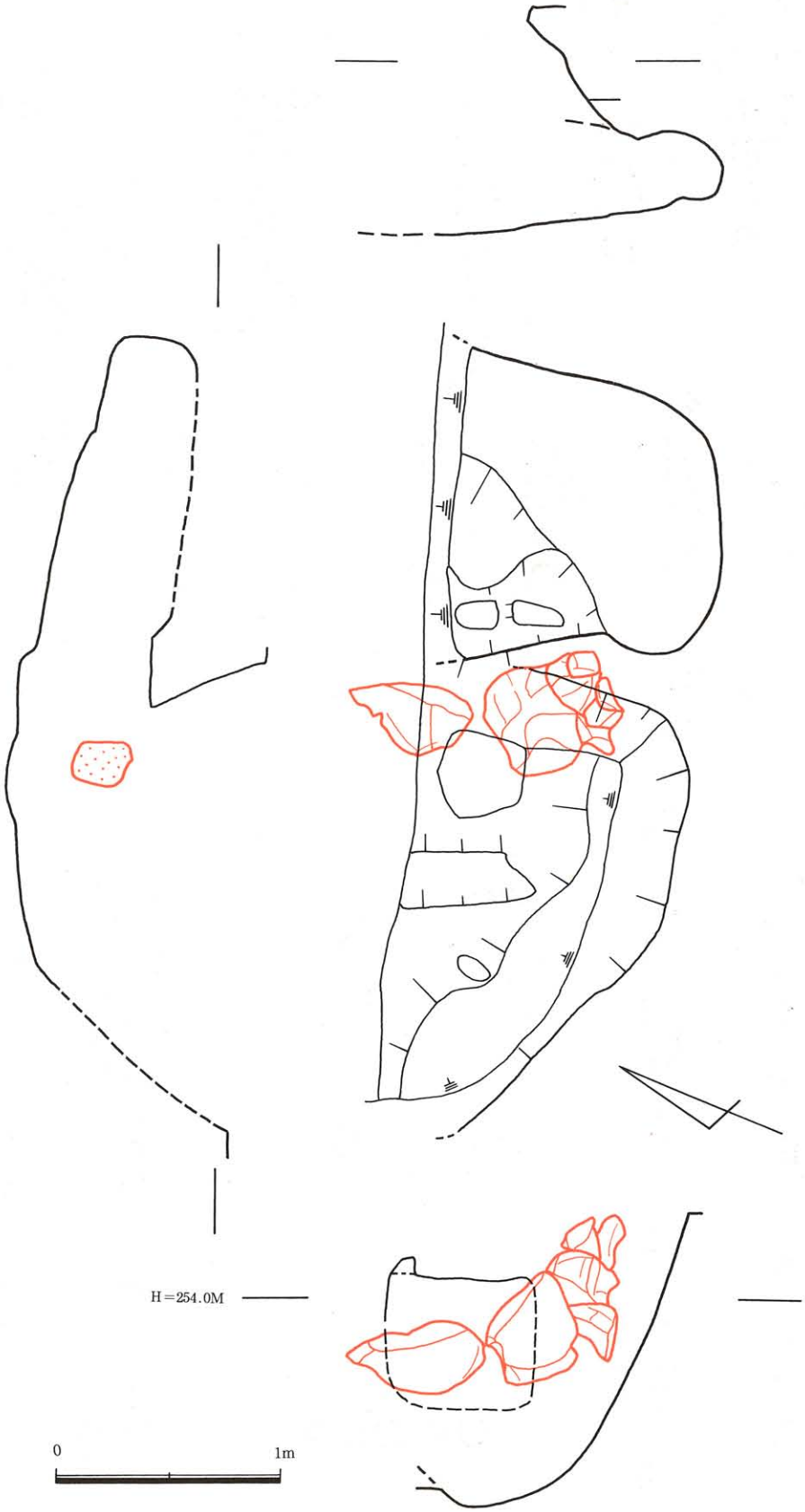

第42図　ＳＴ－4009　遺構実測図




第43図　ＳＴ－4011　遺構実測図

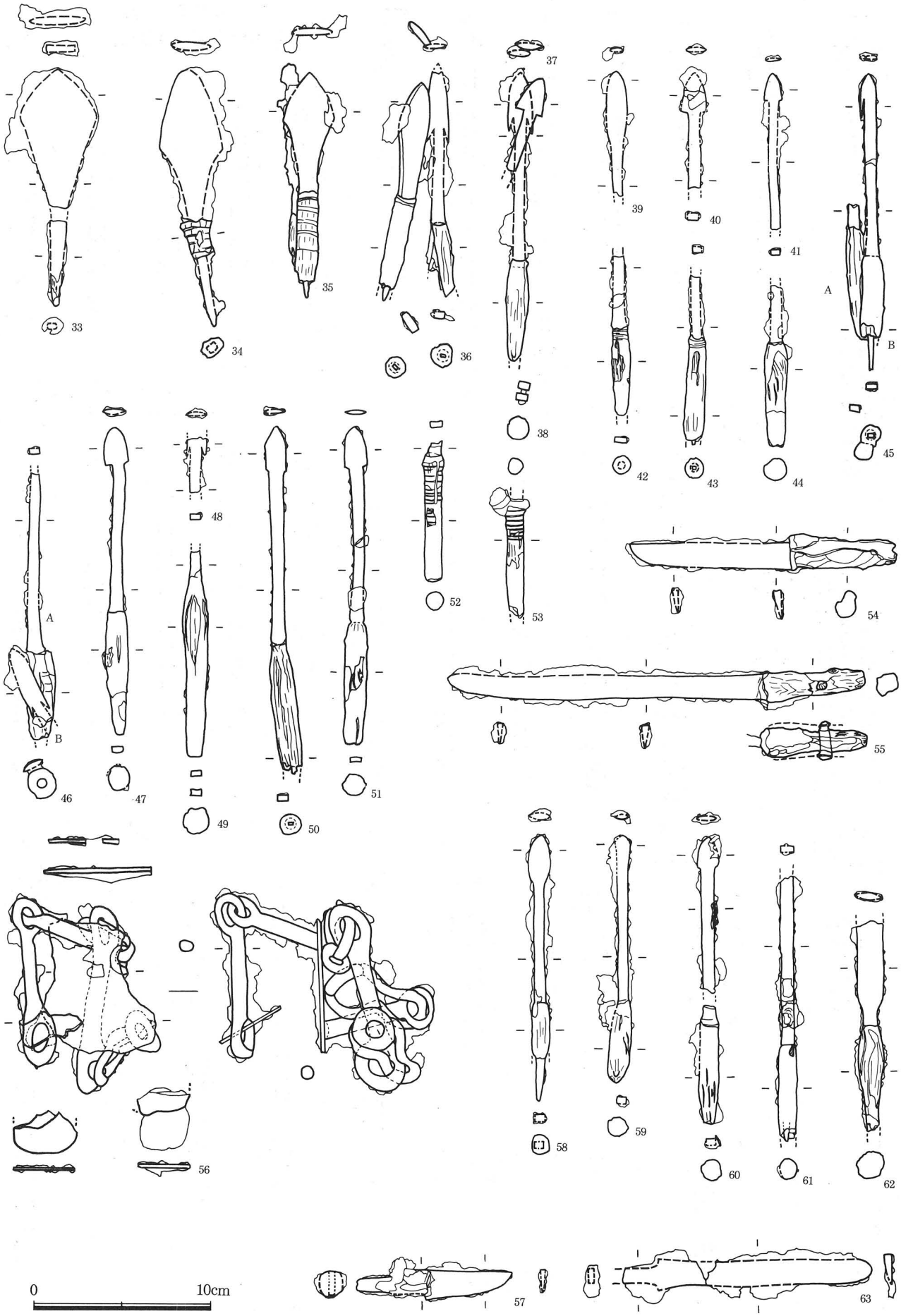



第44図　ＳＴ－4012　遺構実測図

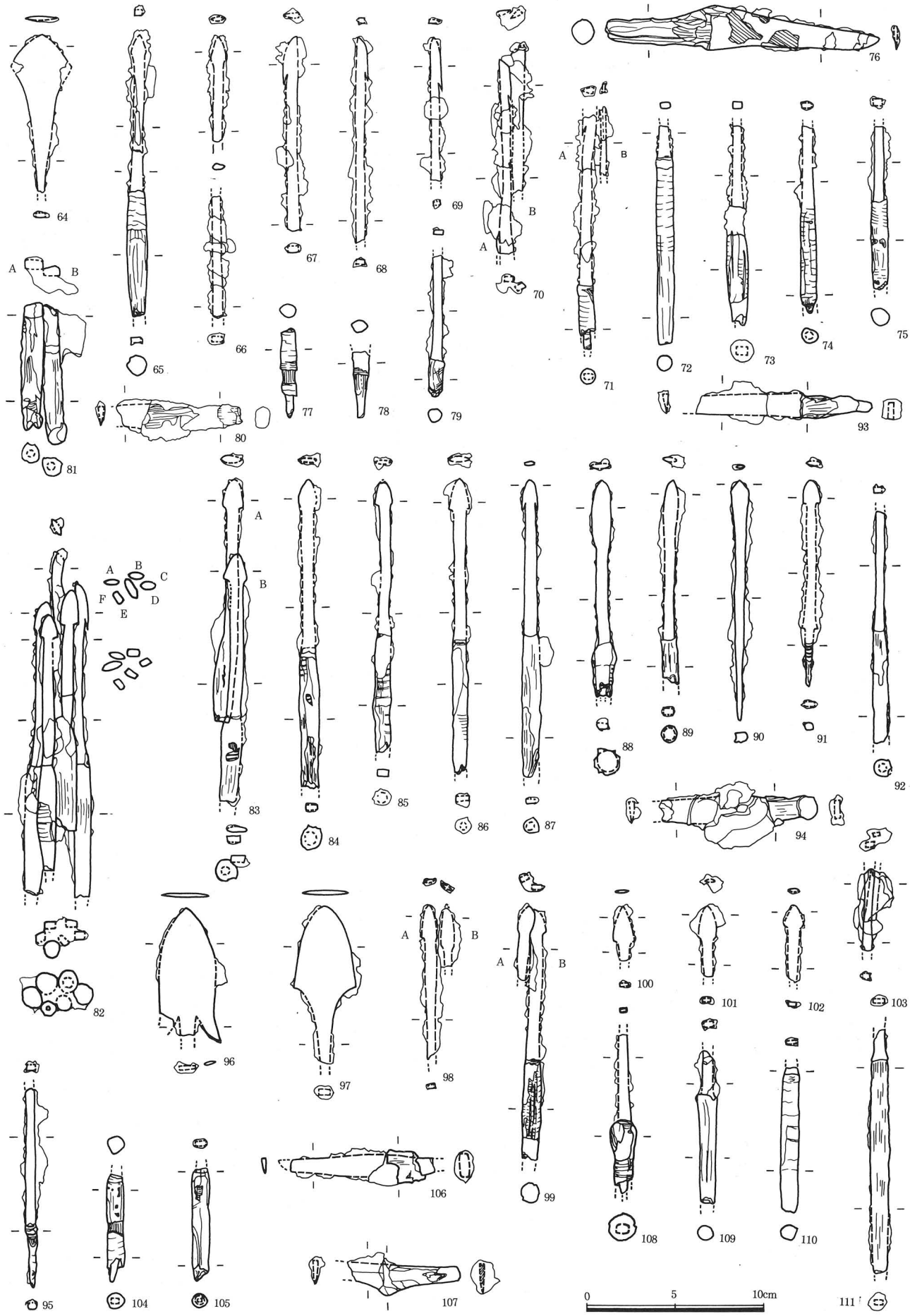



第45図　ＳＴ－4013　遺構実測図

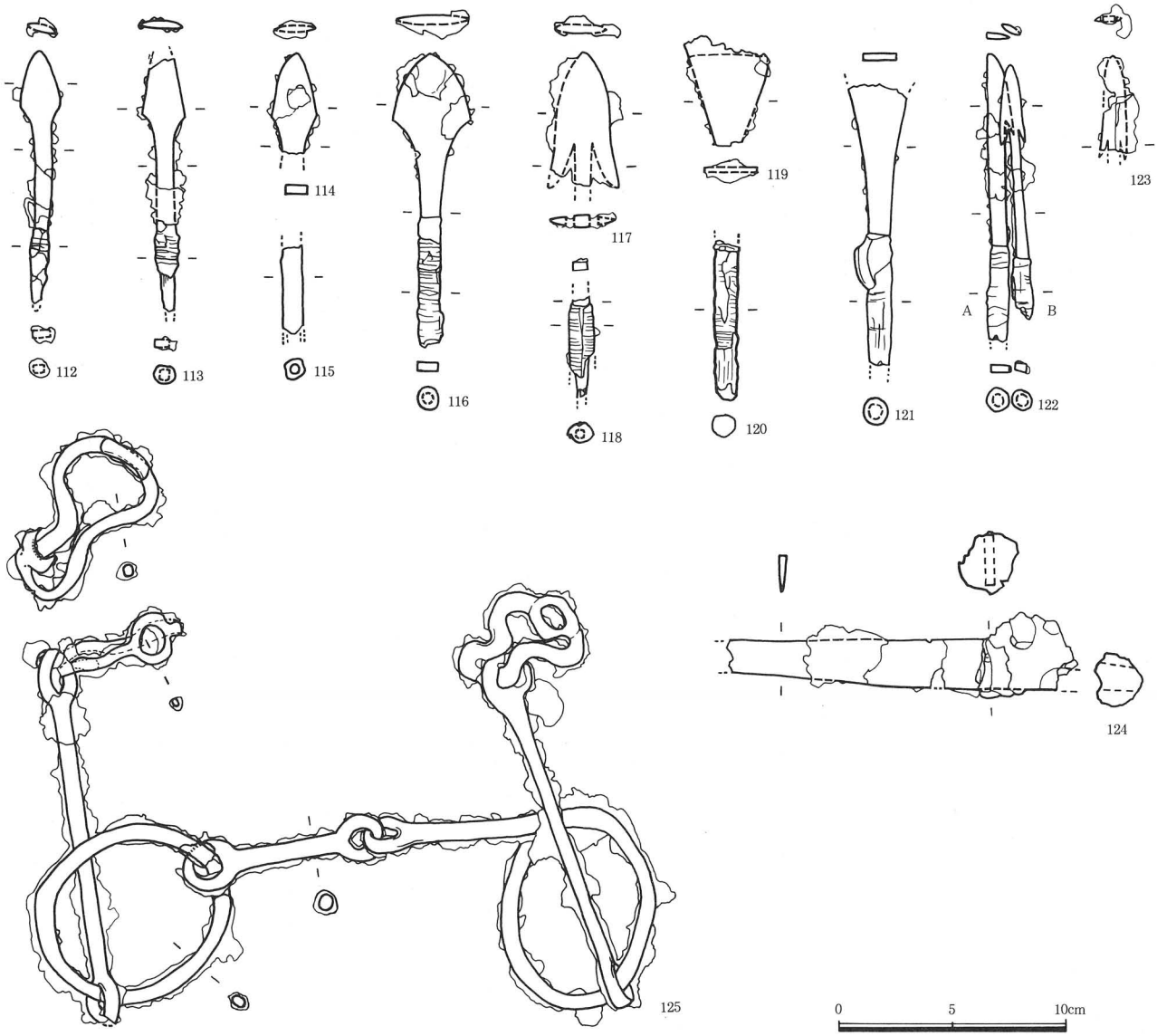
第46図　地下式横穴墓出土遺物実測図（１）　１～20：ST－4001　21～27：ST－4002　28～32：ST－4003



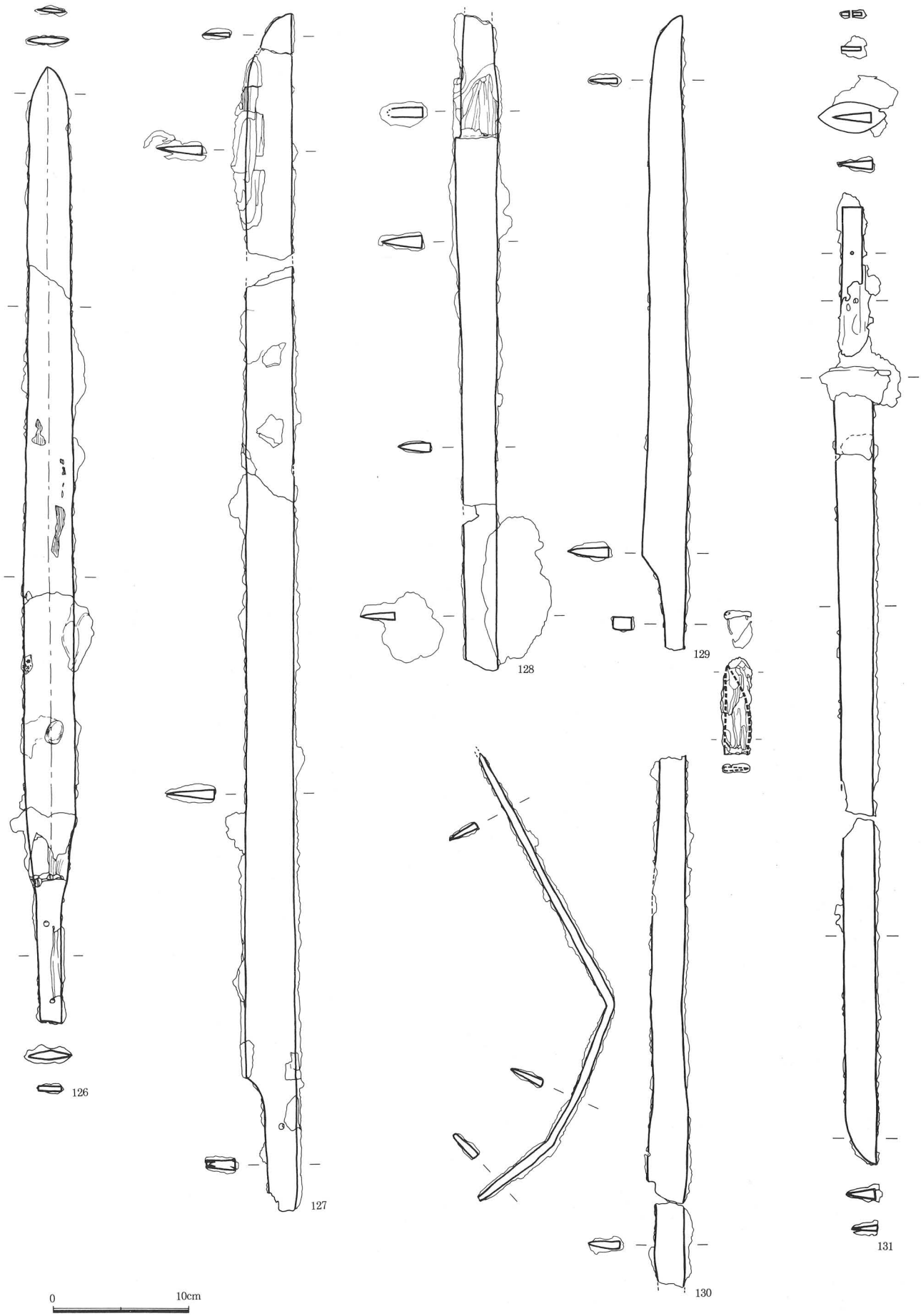

第47図　地下式横穴墓出土遺物実測図（２）　33～56：ST－4004　57～62：ST－4008　63：ST－4010



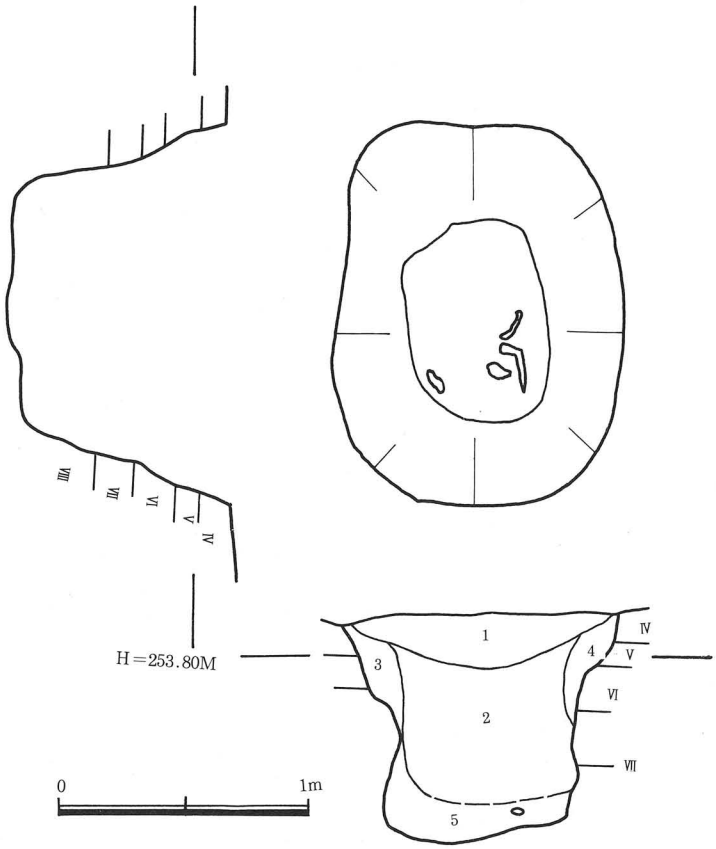

第48図　地下式横穴墓出土遺物実測図（３）　64～80：ST－4005　81～95：ST－4006　96～111：ST－4009




第49図　地下式横穴墓出土遺物実測図（４）　　112～125：ST－4011

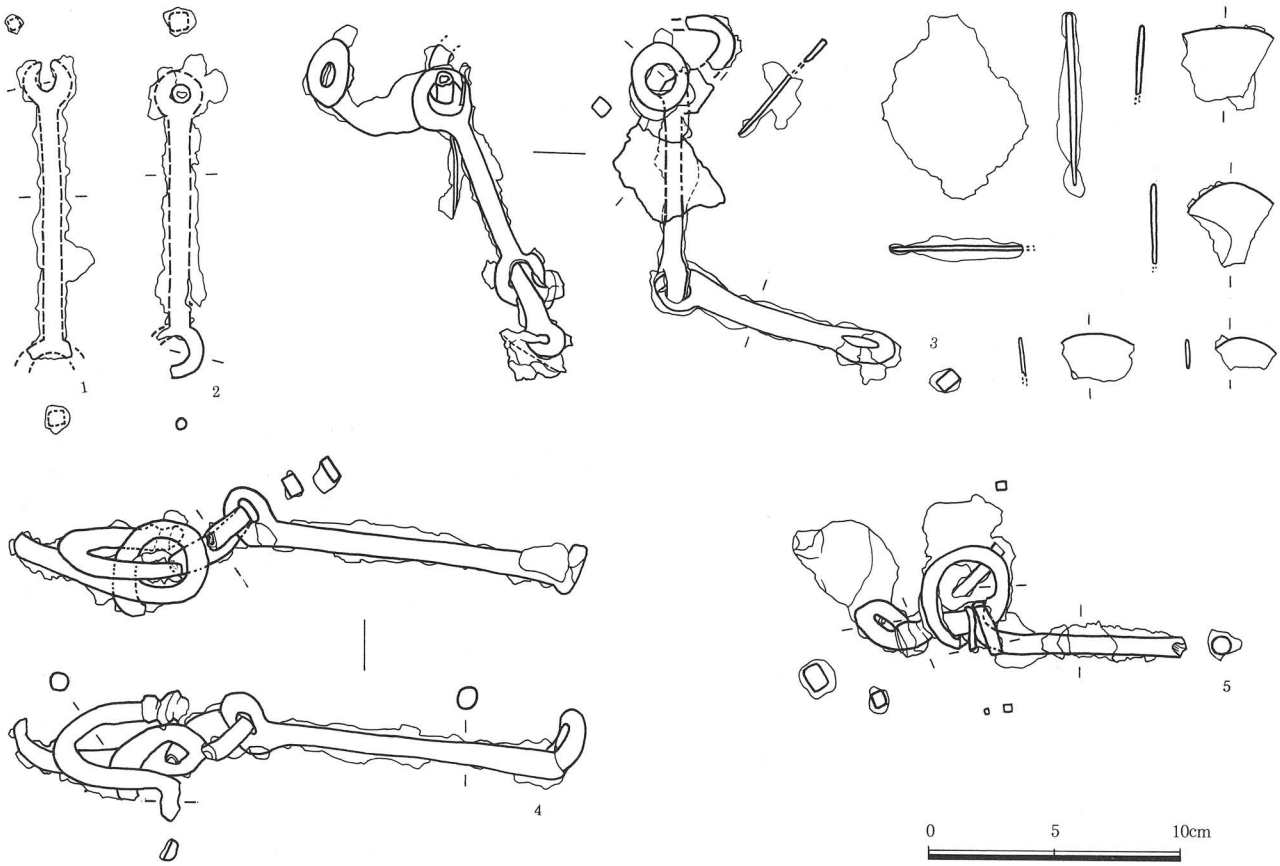



第50図　地下式横穴墓出土　刀剣実測図　　126：ST－4005　127：ST－4001　128：ST－4004　129・131：ST－3014　130：ST－3016

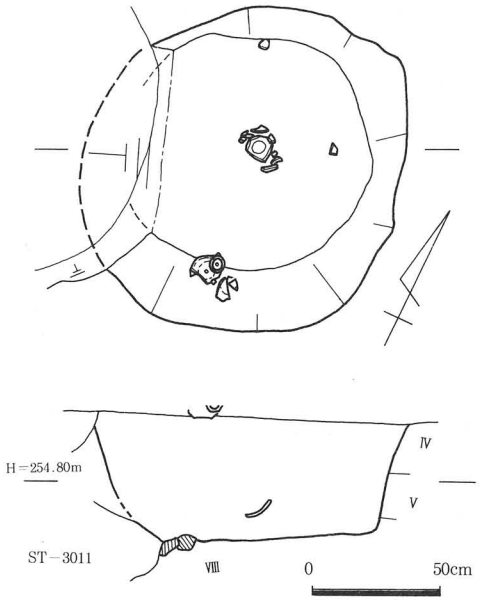



1：暗灰～淡黒灰色土
2：暗灰＋淡黒灰色（混Ⅳ・Ⅴ層ブロック～粗粒少量）
3：Ⅵ層粗細粒＋２層
4：２層＋Ⅵ～Ⅶ層粗細粒
5：淡黒灰色土（混Ⅳ層粗細粒）

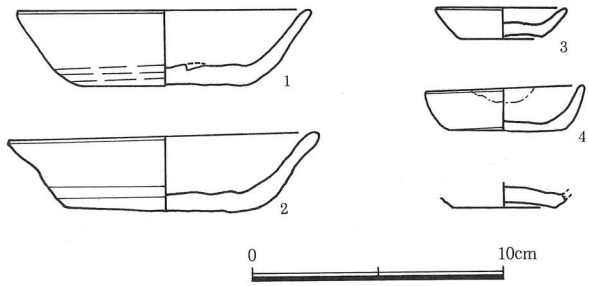
第51図　ＳＫ－110　遺物実測図



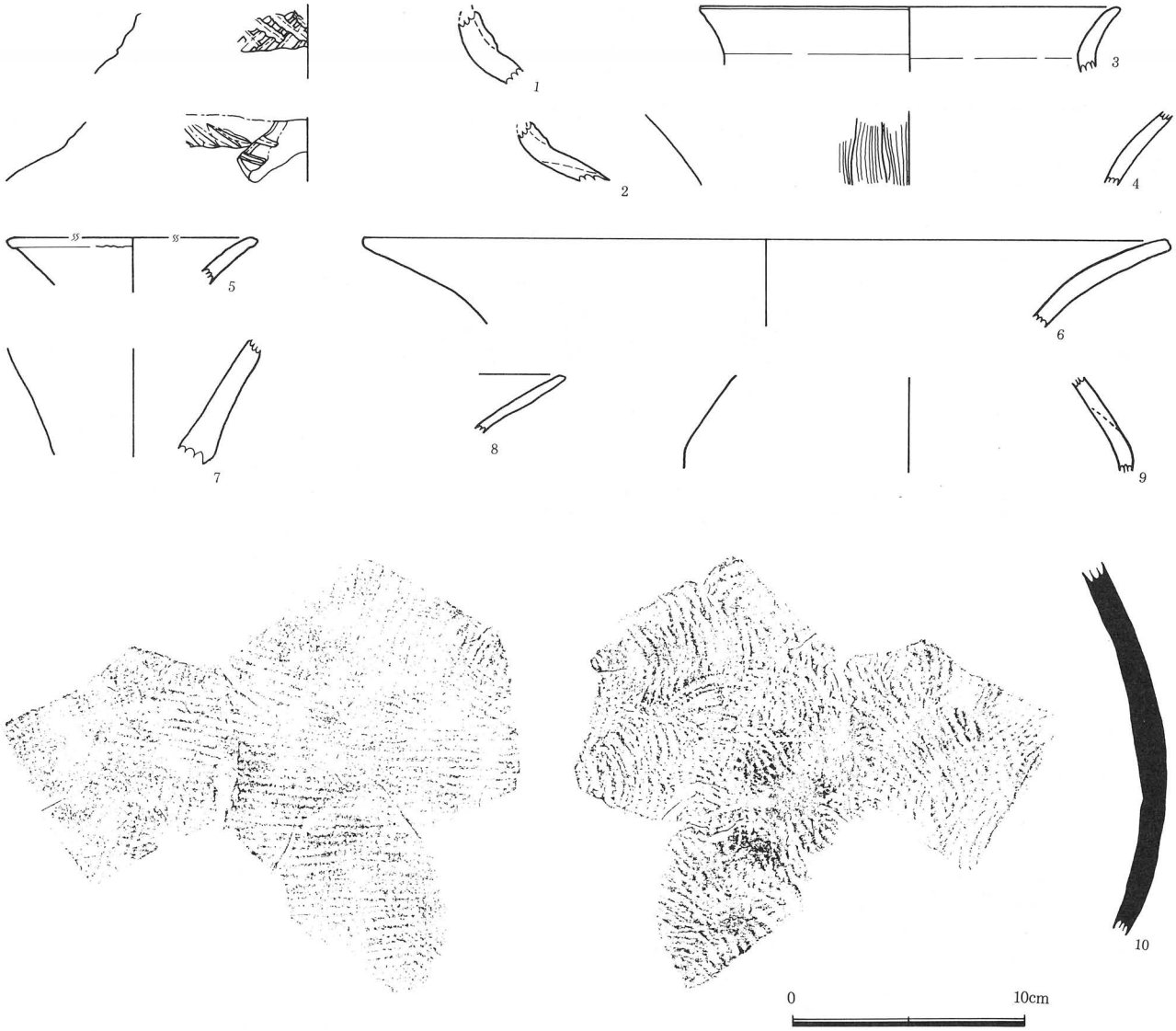

第52図　ＳＫ107・110　出土遺物実測図



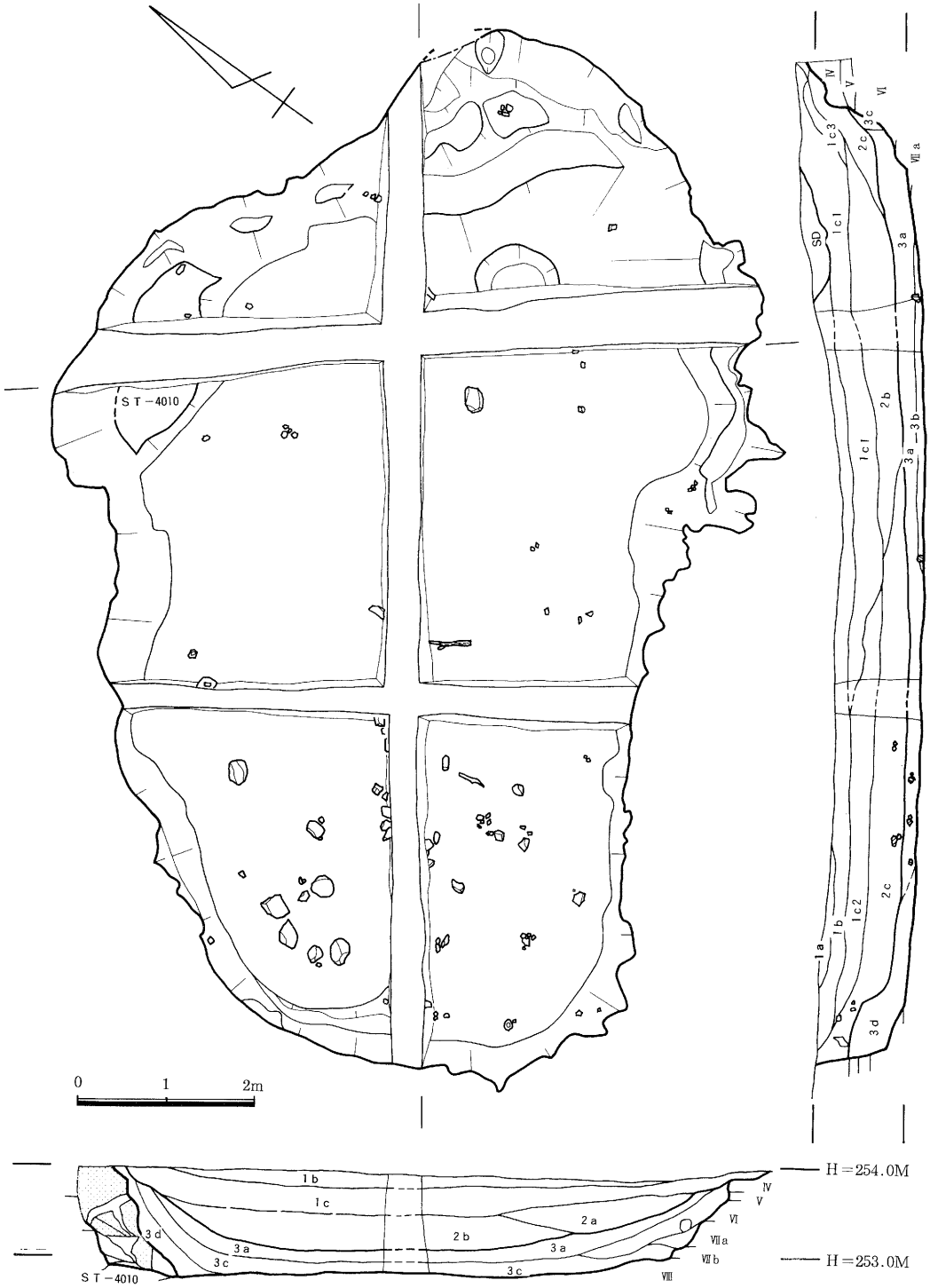

第53図　ＳＫ－104　遺構実測図




第54図　ＳＫ－104　出土遺物実測図




第55図　ＳＴ－4011　西側土器群実測図



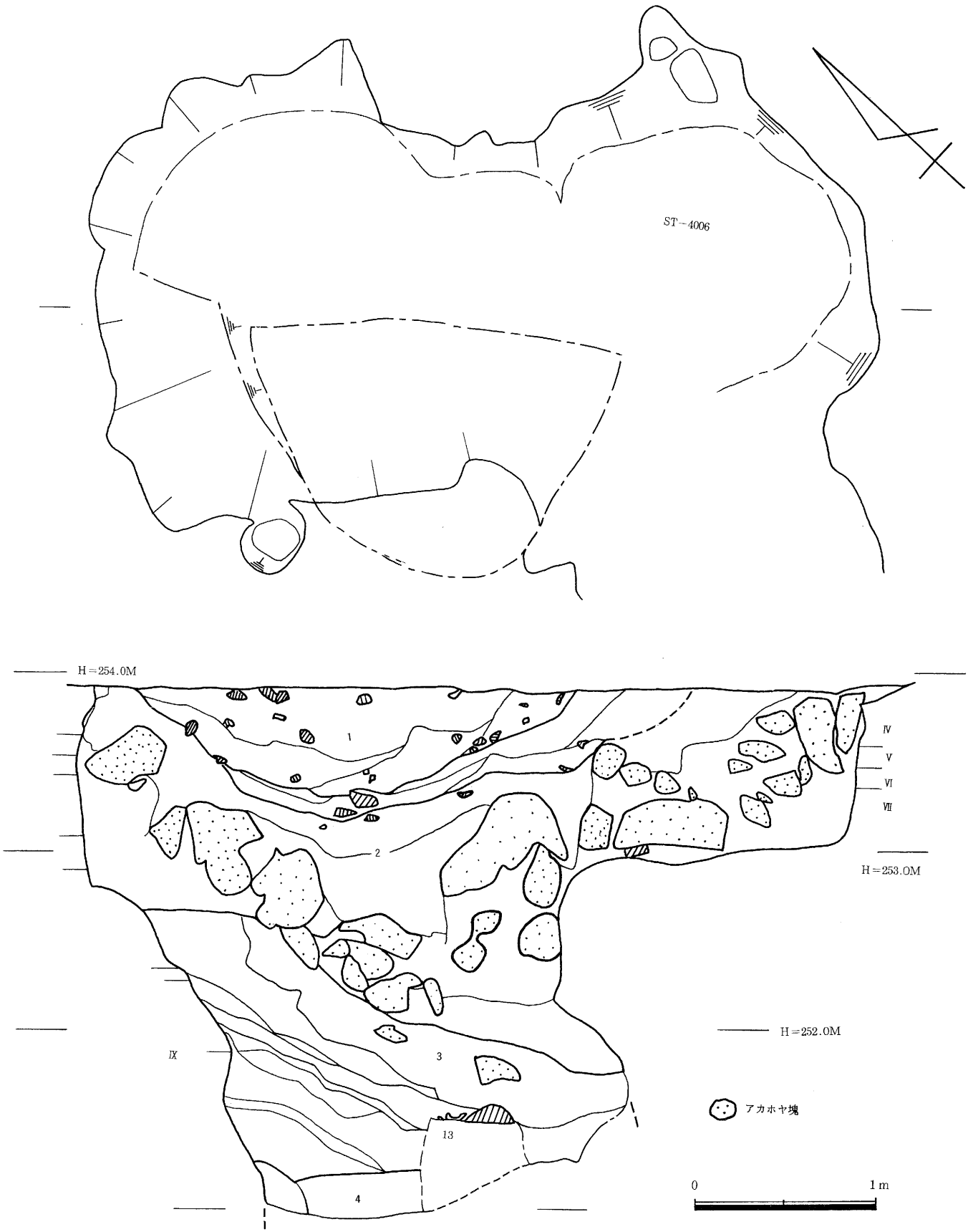

1a　：淡黒灰＋暗灰色土
b　：灰色粘質土（微砂質）
c1：灰色土（粘質）
c2：灰～暗灰色粘質土（微砂質）
c3：淡灰＋暗灰色土（粘質、混Ⅳ層ブロック～粗細粒）
2a　：淡灰～暗灰色土（粘質、硬い）（淡褐灰色微砂が鍋状に入る）
b　：灰色粘質土（微砂質）（淡黄～黄褐色微細砂＋Ⅳ層粗細粒が鍋状に入る）
c　：暗灰色土（混細砂、やや粘質、軟質）

3a　：暗灰色＋灰色土（粘質）
b1：淡褐灰＋暗灰色土（混Ⅳ層ブロック）
b2：淡褐灰＋暗灰色土＋淡黄白～淡褐灰色粘質微細砂
c　：暗灰～淡黒灰色土
d　：灰～暗灰色土（混Ⅳ層粗粒）

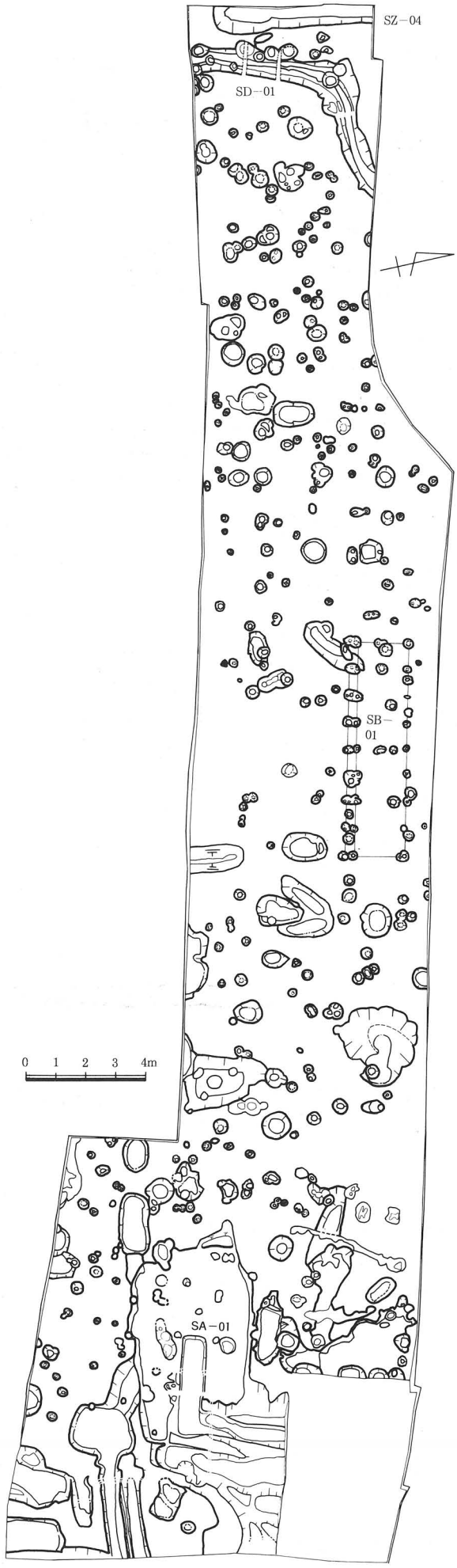
ＳＴ－4010
1a：暗茶灰＋淡黄灰色粘質微砂
b：Ⅶb＋1a
c：暗茶灰色粘質微砂

Ⅳ　：アカホヤ火山灰
Ⅴ　：暗茶褐色＋黒灰色土
Ⅵ′a：黒褐色土＋礫
b：淡黄褐～茶褐色粗細砂＋礫（硬い）
c：黄褐色砂質土（硬い）
Ⅶ′：礫＋Ⅵ′c

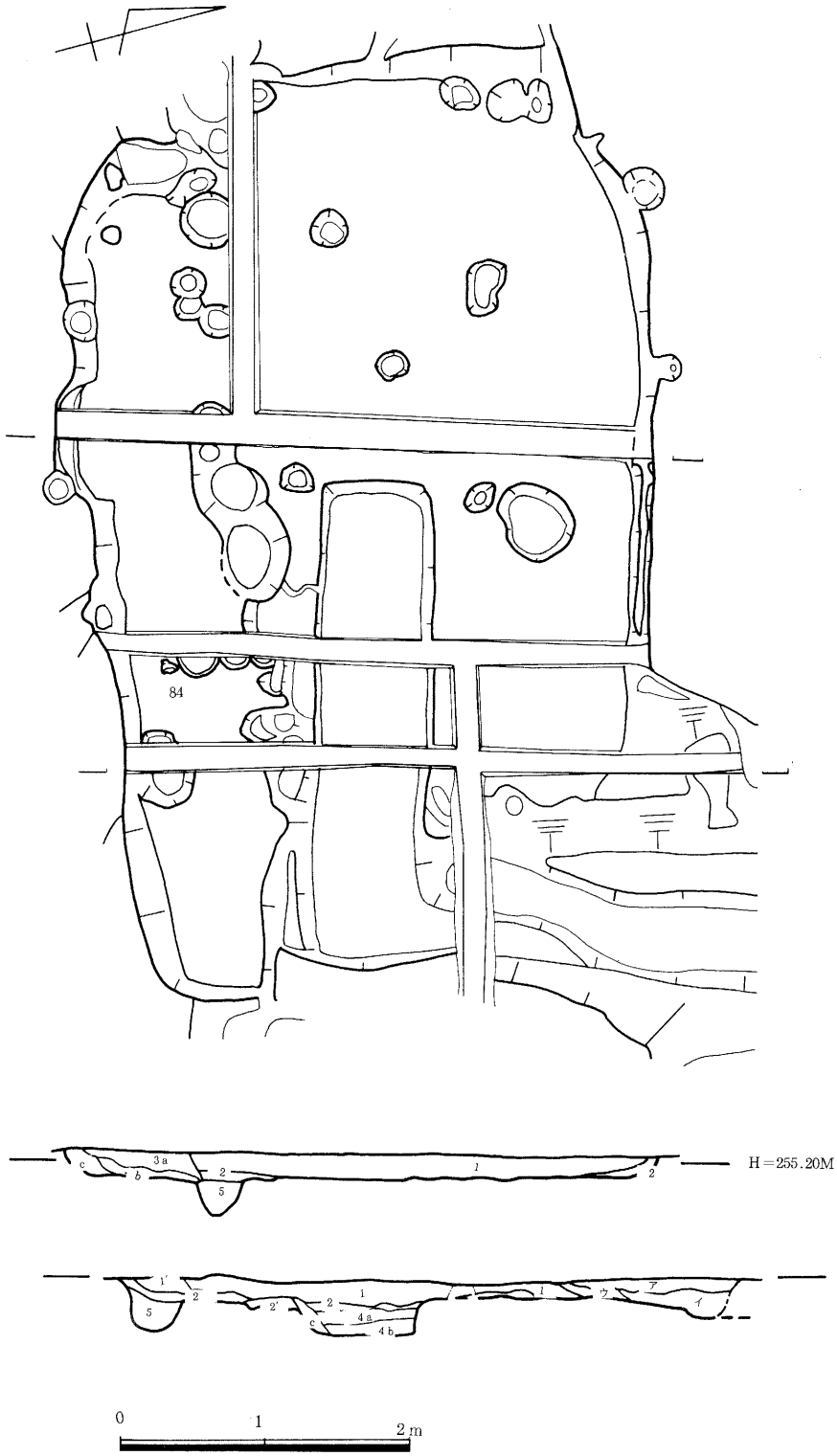
第56図　ＳＺ－11　遺構実測図




第57図　ＳＺ－13　遺構実測図

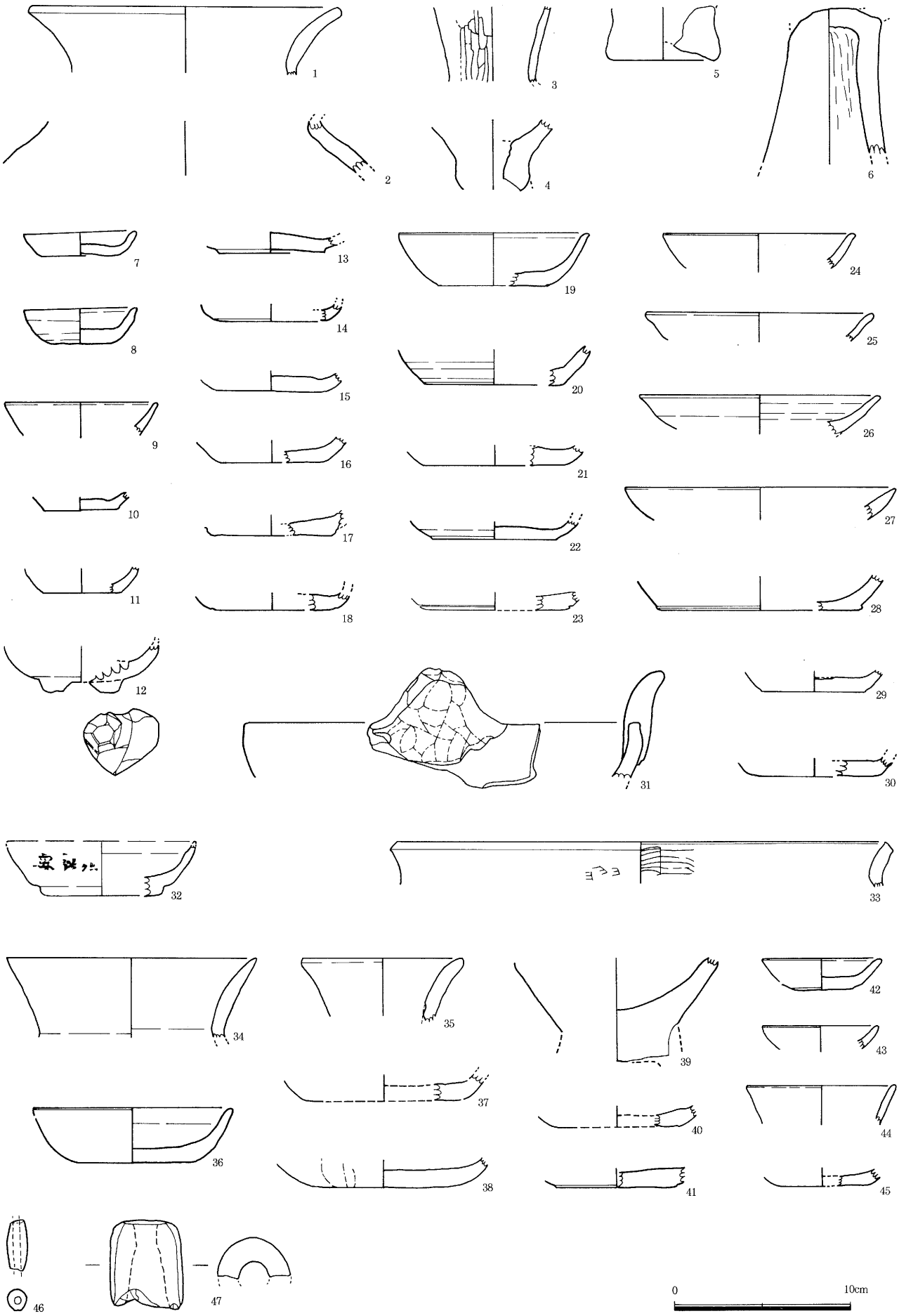



第58図　地主原Ａ地区　遺構分布図

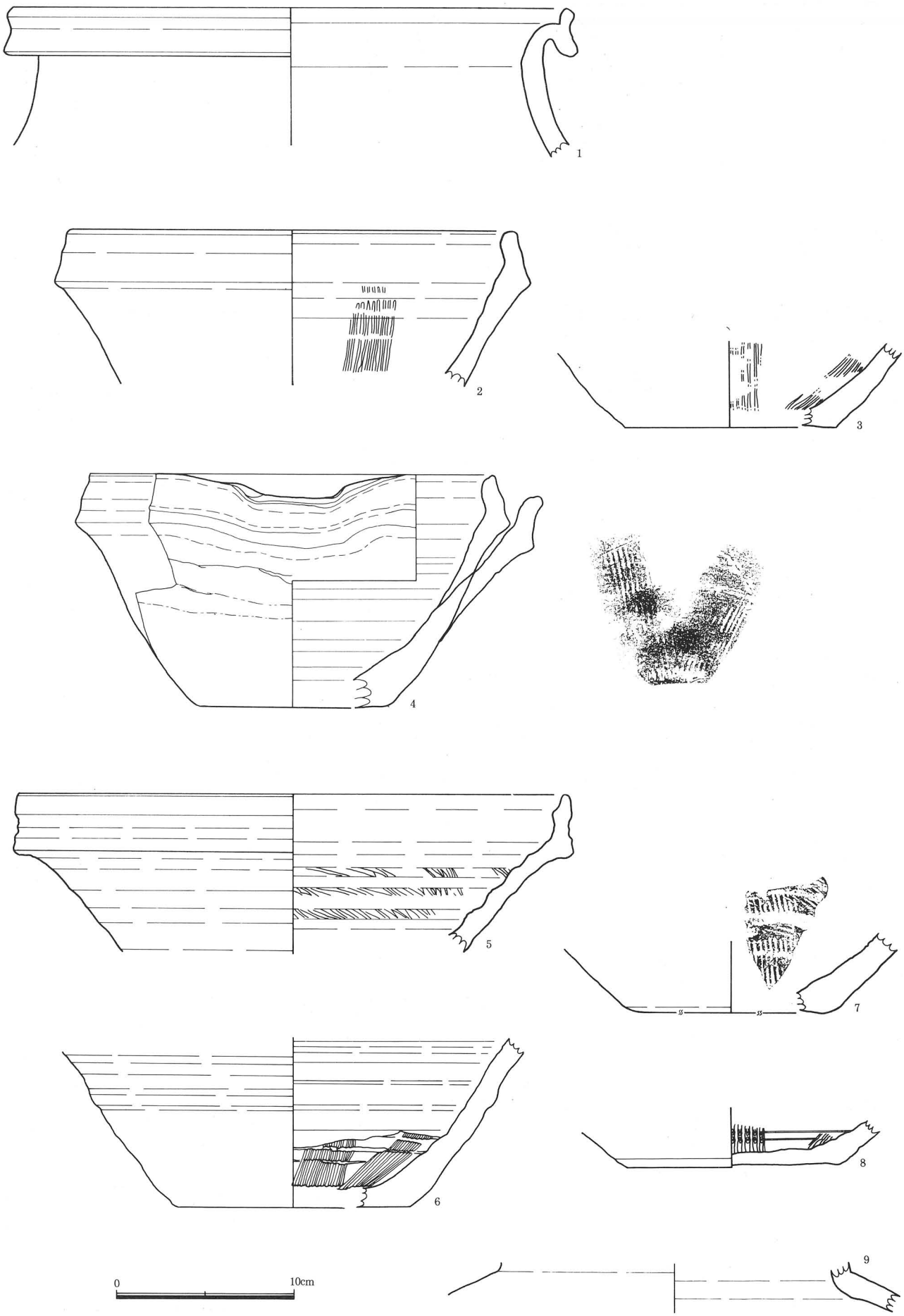



1：暗灰＋淡黒灰色土(混Ⅳブロック多量)
2：灰色微砂質土(粘質、混Ⅳ層ブロック少量)
3a：淡灰色微砂質土(粘質)＋淡黒灰色土(混Ⅳ層ブロック～粗粒少量)
b：淡灰白色微砂(粘質)＋3a層
c：3a層と同じ
4a：暗灰＋淡黒灰色土(混Ⅴ層ブロック多量)
b：暗灰～暗灰褐色微砂質土(粘質)＋淡黒灰色土(混Ⅳ層祖細粒多量)
c：暗灰褐＋淡黒灰色土(混Ⅳ層祖粒少量)
5 ：淡黒灰色土(混Ⅳ層細粒＋Ⅴ層ブロック)
ｱ～ｳ：撹乱層

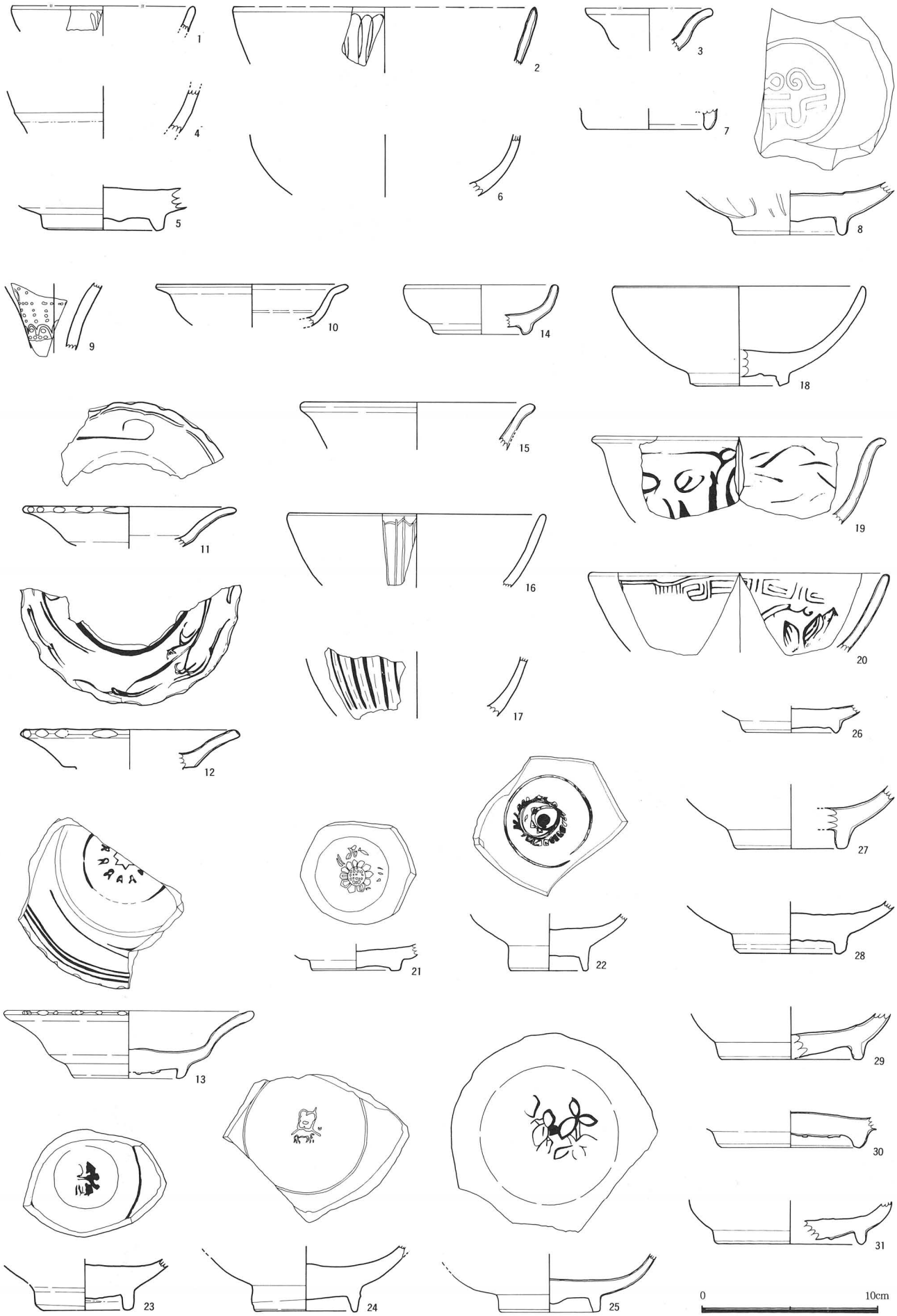
第59図　ＳＡ－01　遺構実測図



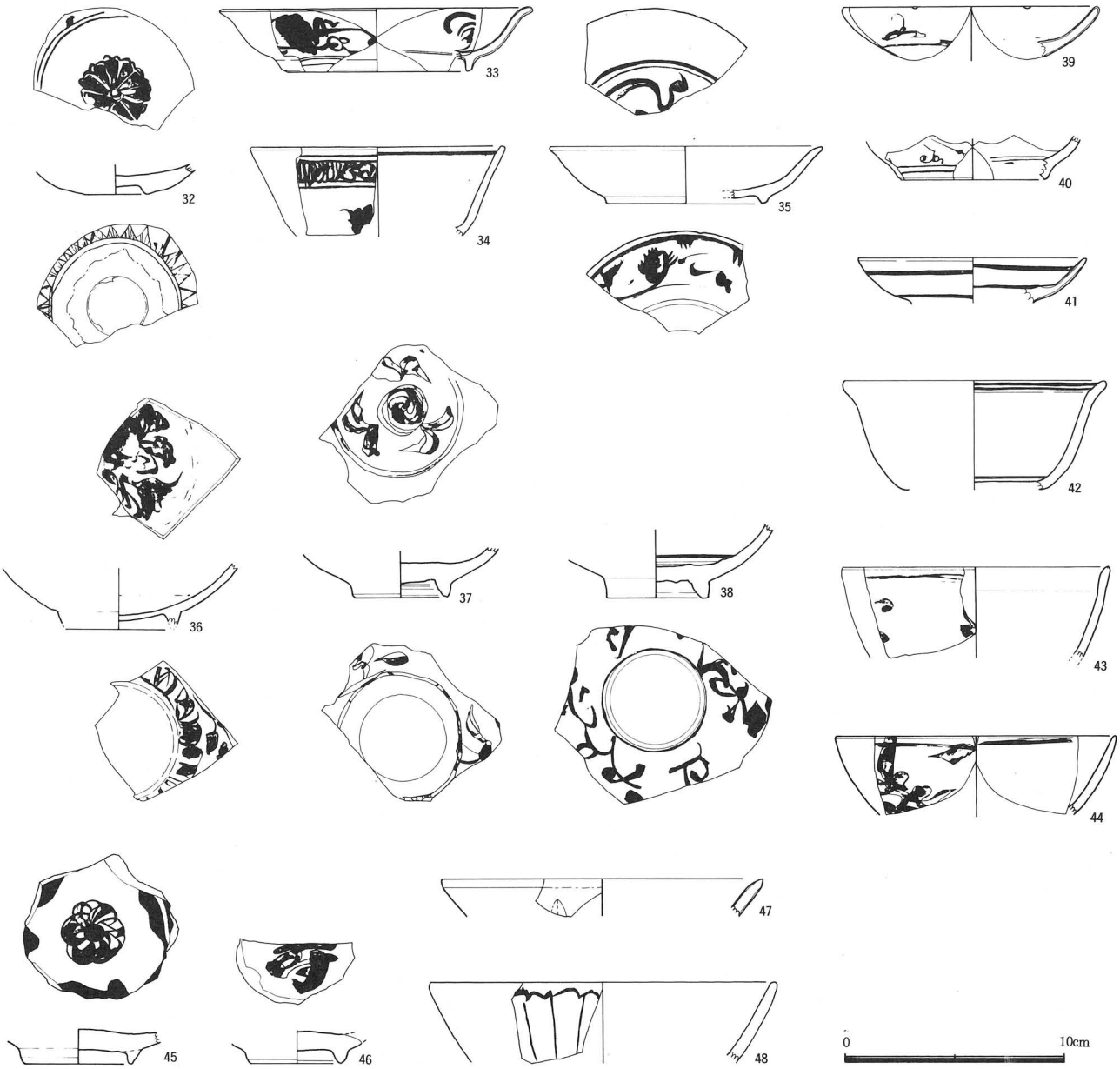

第60図　久見迫Ｂ地区出土　土師器・土製品　実測図



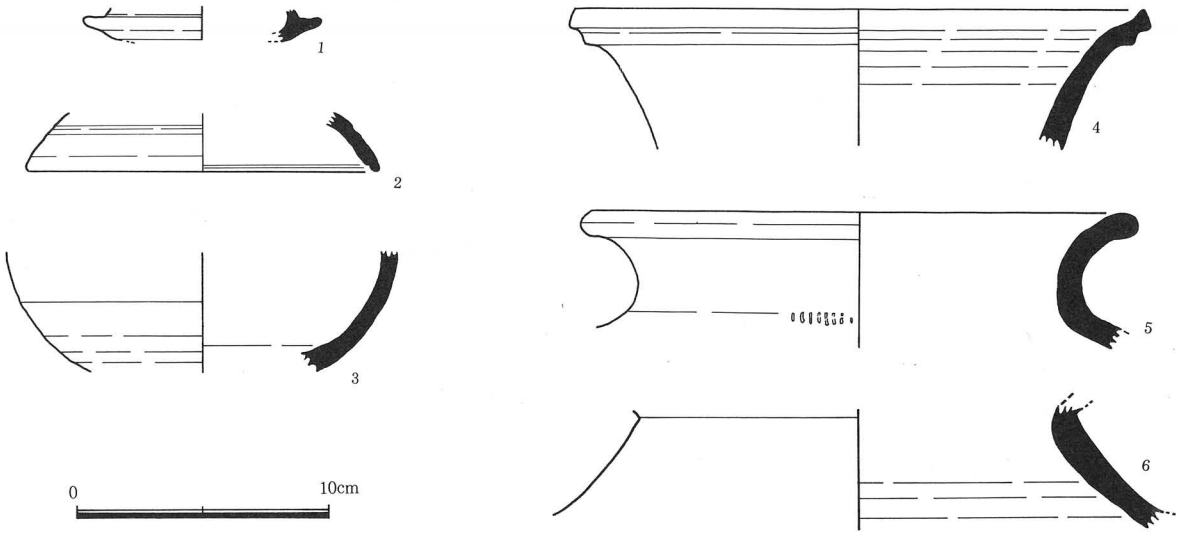

第61図　調査区出土　中世国産陶器実測図



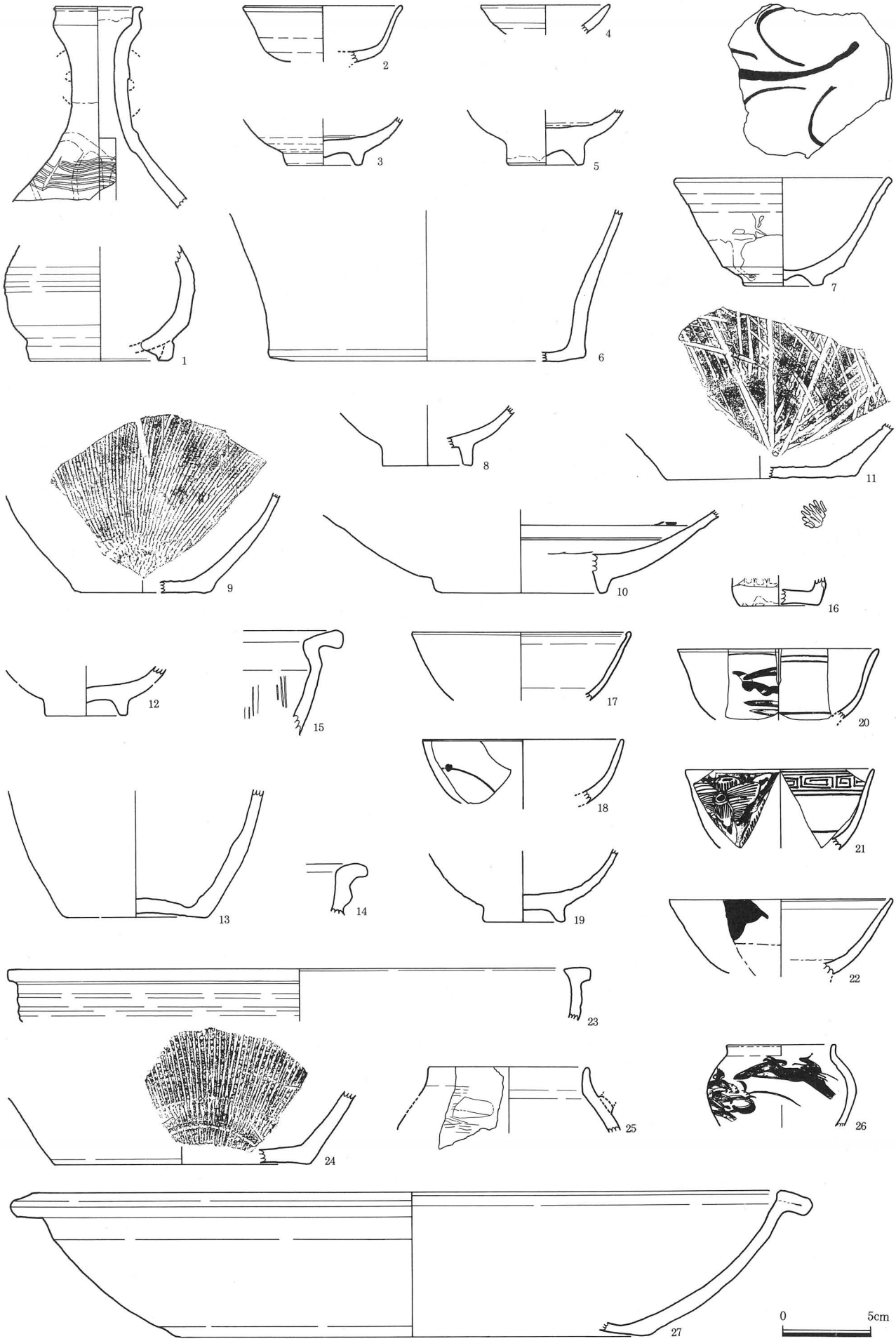

第62図　調査区出土　輸入陶磁器実測図（１）



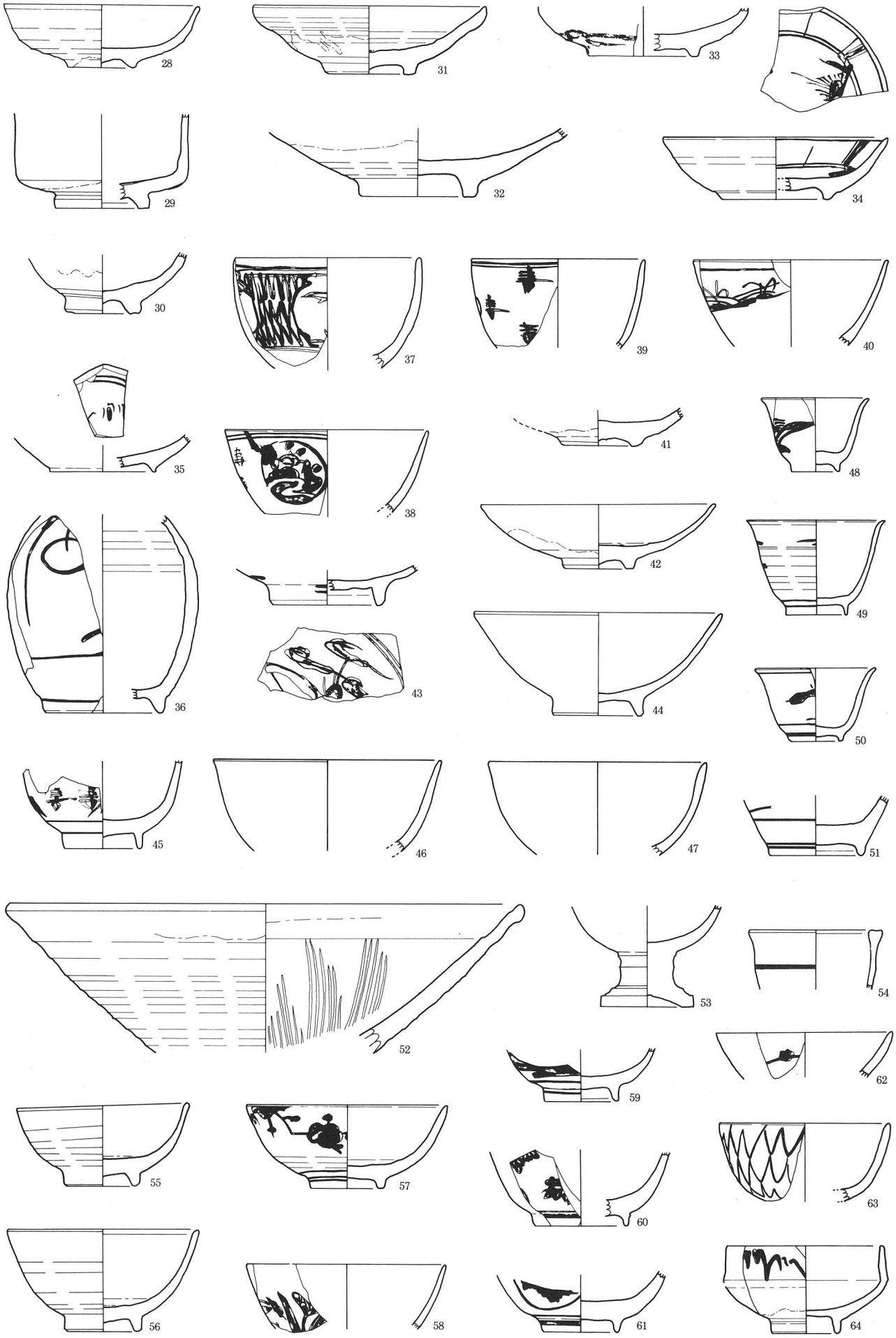

第63図　調査区出土　輸入陶磁器実測図（２）



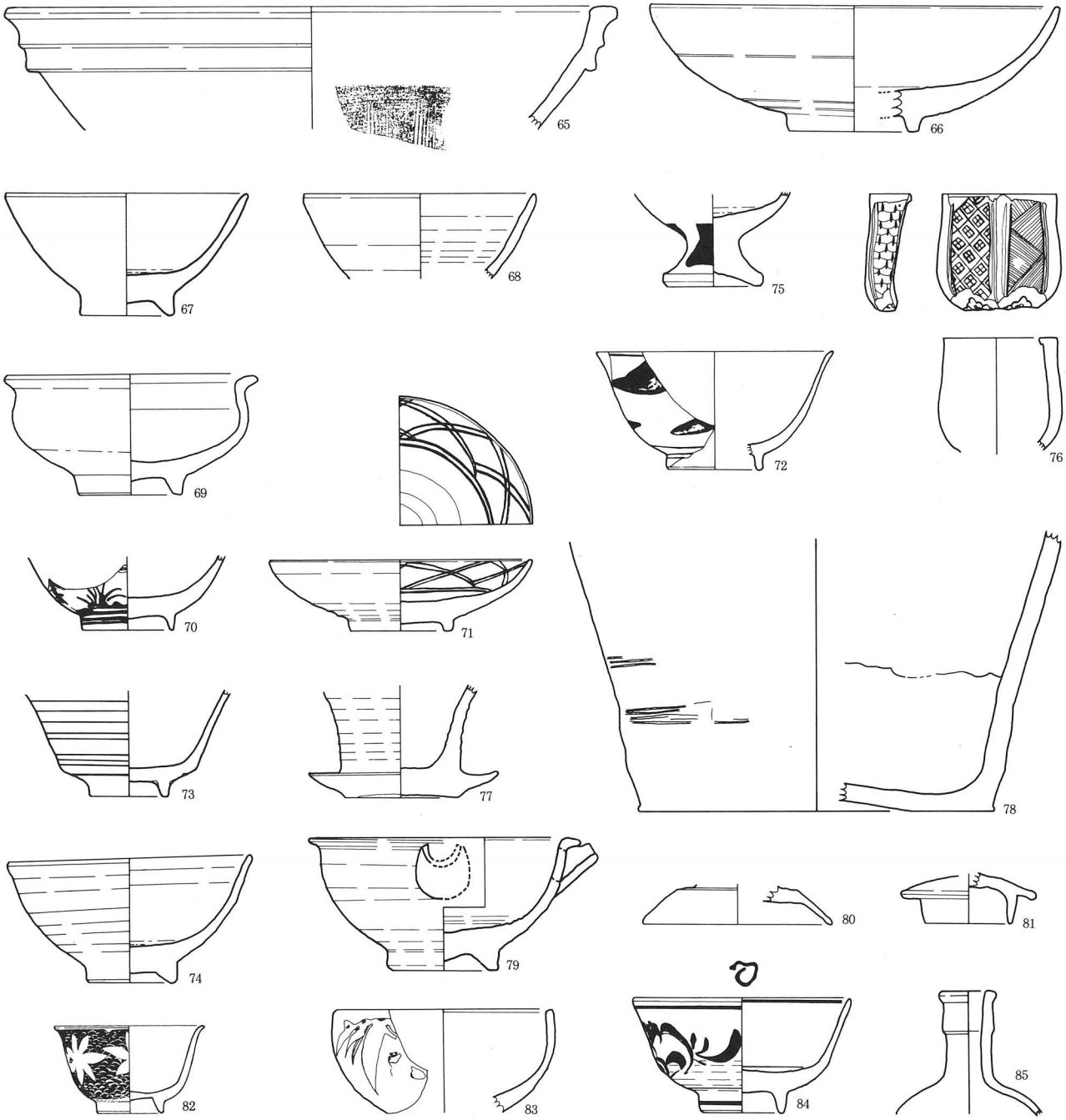

第64図　調査区出土　須恵器実測図




第65図　調査区出土　国産陶磁器　実測図（１）



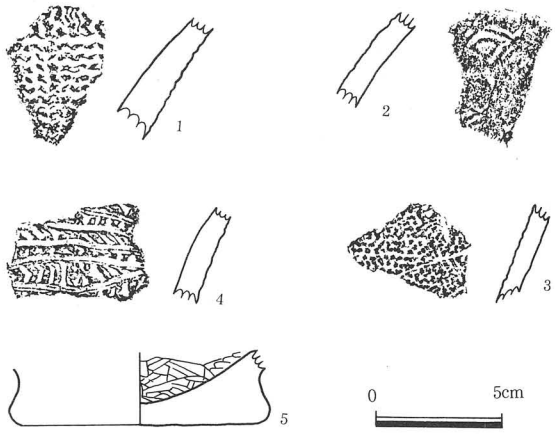

第66図　調査区出土　国産陶磁器　実測図（２）



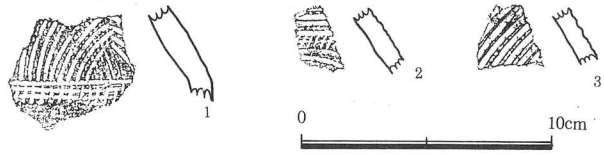

第67図　調査区出土　国産陶磁器　実測図（３）　　85はガラス瓶

第68図　試掘溝Ｋ１・久見迫Ｂ地区出土　砥石　実測図

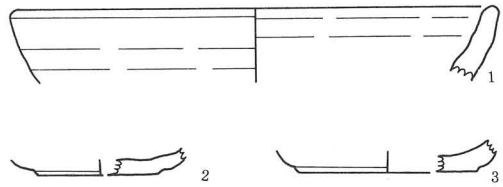
第69図　久見迫Ｂ地区出土　軽石加工品、石臼　実測図



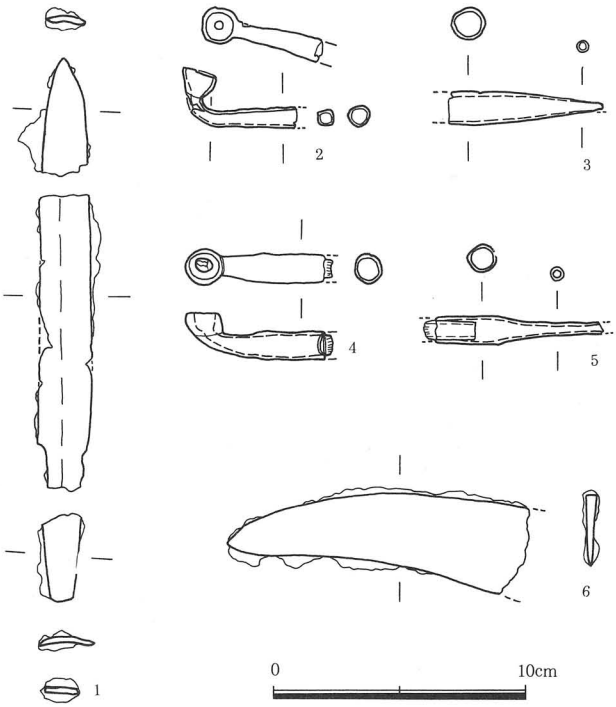

第70図　久見迫Ｂ地区出土　縄文土器　実測図



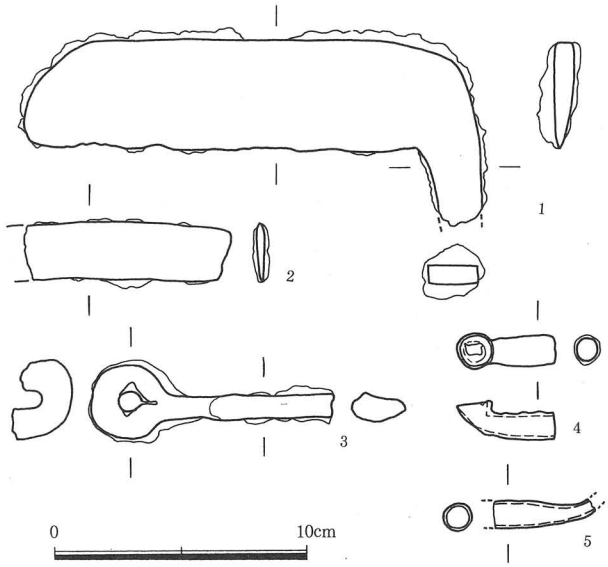

第71図　久見迫Ｂ地区出土　弥生土器　実測図



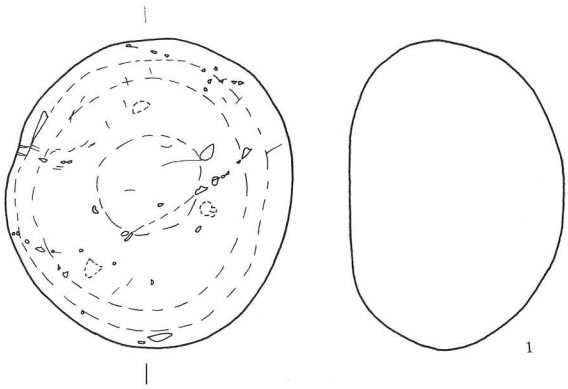

第73図　地主原Ａ地区出土　土師器　実測図

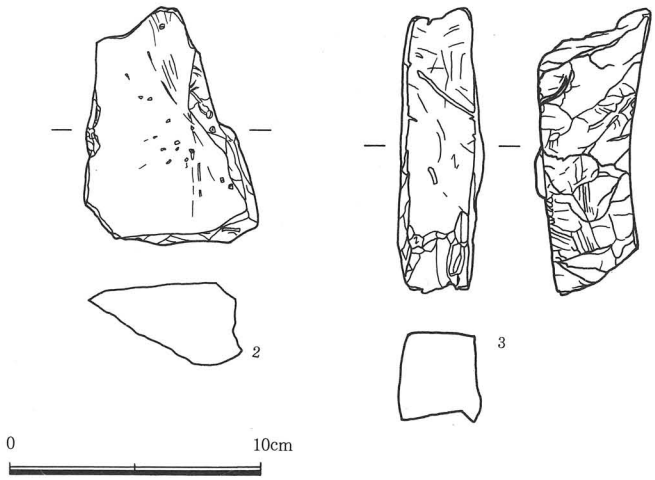



第72図　久見迫Ｂ地区出土　金属製品　実測図

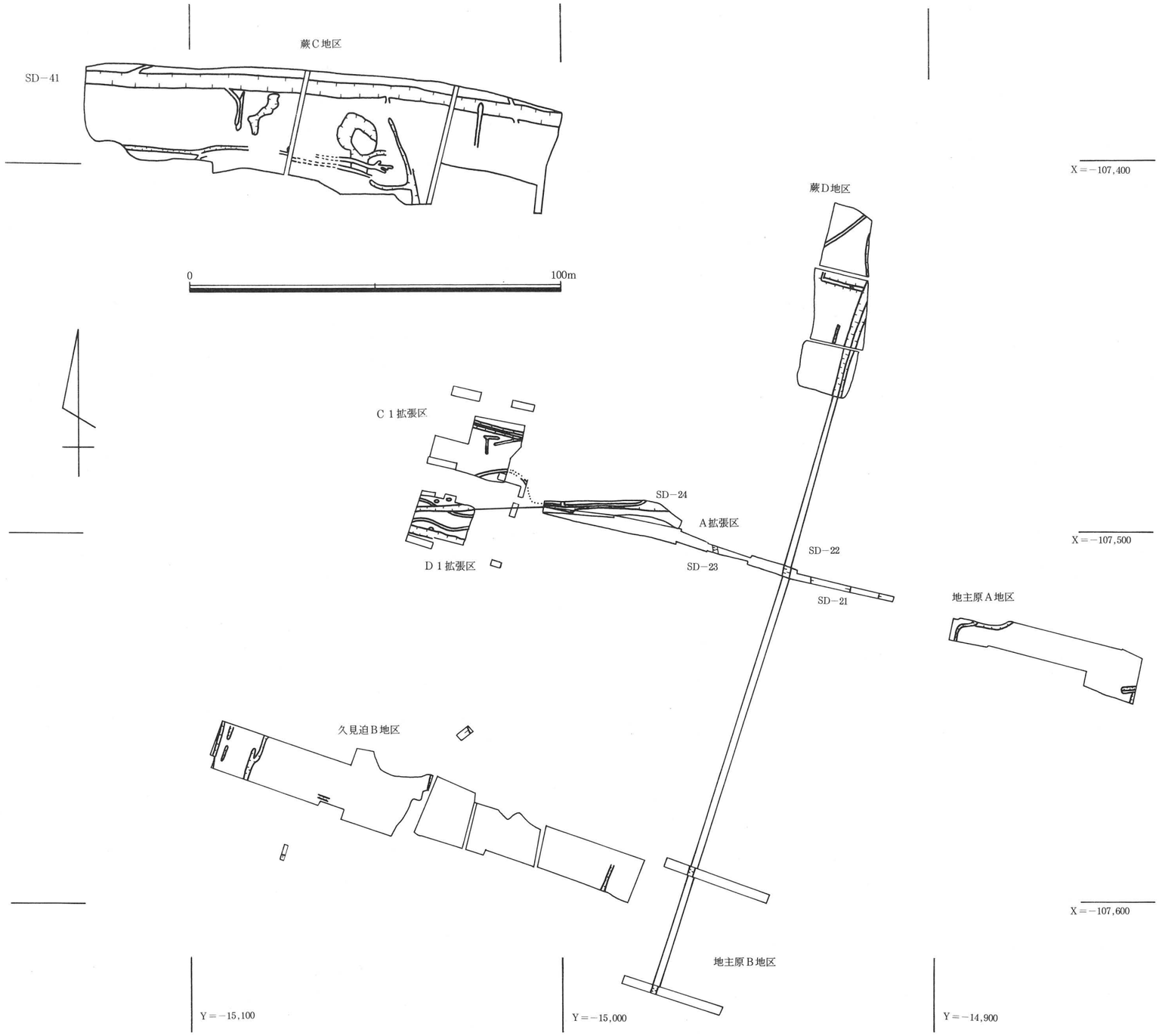



第74図　地主原Ａ地区出土　金属製品　実測図




第75図　地主原Ａ地区出土　石器　実測図




第76図　調査区検出　溝状遺構分布図

## Ⅳ．まとめ

広範囲でしかも部分的な調査であったが、土地利用の変遷を追うことができる。

**縄文時代**

早期、短期間であるが、微高地に居住した痕跡がある。晩期にも居住し、台地南縁の最低段丘で農耕を始めた可能性がある。

**弥生時代**

中期末～後期初頭の一時期、微高地の居住していた可能性がある。

**古墳時代**（表２・３）

蕨Ａ地区のような木棺墓や木蓋壙墓、板石積石室墓は存在せず、地下式横穴墓と土壙墓が発見された。

蕨Ｃ地区の地下式横穴墓の主軸は、ほとんどが北寄りで、蕨Ａ・Ｂ地区と同じ集団の墳墓といえる。地下式横穴墓の祖型と推定される横口式土壙墓の系譜をひく墳墓としてＳＴ－3004と3007があげられる。年代等を示す遺物は出土していないが、玄室が上から掘り込まれていることは確実でいわゆる地下式横穴墓との過渡的なタイプではないかと推測する。竪坑の閉塞型態は２つのタイプがあり、竪坑上部閉塞タイプのほうが多く分布し、羨門閉塞タイプは分散している。両者は直径10mほどの占有地を持ち、優劣は認められない。しかし、副葬品に限ってみれば、羨門閉塞タイプには、副葬品は全く無い。この傾向は蕨Ａ・Ｂ地区でも同様、副葬品に乏しい。玄室は全て平入り両袖で、楕円形を呈するものが多い。副葬品の内容と玄室の規模に相関関係は無く、身分差は、副葬品の質・量によって表されている。また、中世まで墳丘が遺存していたと思われるＳＴ－3009、3013、3014、3020のように築造後に墳丘を有する墳墓と、ＳＴ－3012のように墳丘を持ちえなかった墳墓がある。こういった事例は、広畑遺跡[1]（芋畑地下式横穴群）の調査でもみられた。副葬品からみると、主として５世紀末～６世紀前半に築造されたと思われるが、主軸方位と鉄鏃の変遷との関係など、残された課題も多い。

久見迫Ｂ地区の地下式横穴墓群は状況が異なる。当地区の墳墓は、全て、羨門をアカホヤ塊で閉塞する平入り両袖楕円形タイプで、玄室の規模も格差が少ない。竪坑のほとんどはＤ字型を呈し、その直線部側に羨道が設けられる。主軸方位にも統一性は無く、近接する墳墓もみられ、直径数ｍ程度（目印程度）の墳丘を持っていたことが推測される。反面、ほとんどの墳墓に副葬品があり、鉄鏃の多さが目立つ。ＳＴ－4011から轡が出土しているが、久見迫Ａ地区[2]でも轡や雲珠、鎧が出土しており、当地域の特徴を示している。構築時期は６世紀代に納まり、地下式横穴墓を築造した最後の集団の墳墓といえる。

久見迫Ｂ地区では、轡を副葬した土壙墓が２基検出されたが、土壙墓としては異常に深い。かつて久見迫Ａ地区では、馬の歯と轡が出土した土坑が確認されており、Ｂ地区の遺構も、馬の頭を埋葬した祭祀土坑ではないかと推測される。

**中期以降**（第76図）

微高地となっている試掘溝Ｃ１拡張区周辺や久見迫Ｂ地区東半部に人々が居住し始め、台地が開墾されていく。初期は、旧地形に沿って畦畔や水路が築かれるため、彎曲した水路が多い。中頃になると、計画的な直線的田畝が築かれ、条里的景観へと変わる。以後、区画方位は変動しつつも、方形区画を保つ。また、当時の主要道でもある石敷道路も整備される。

近世後半には、ほぼ東西－南北の田畝に改築され、現在に至る地点もある。

出土遺物は豊富であるが、溝状遺構に伴うものが少なく、年代を確定し難い。遺物からみれば、弥生時代前期・後期および７～８世紀代に断絶がある。当該期は、おそらく、川内川の氾濫が緩やかだったために、集落も氾濫原へ下りて生業していたと推測される。平安時代以降氾濫が激しくなり、集落は高位段丘にまで築かれる。低位段丘は必然的に開墾せざるをえなくなり、細々と耕作される。上江－池島地区は水が無い所であるために墓域となっていたので、耕地化するには水を引くことが先決であったと思われるが、大規模な土木工事をしていない中世中頃までは陸稲を含む畑作が中心だったのではないかと推測される。

19世紀、洪水が山城の崖を削ったという記録も残っており、氾濫原での耕作は長続きしなかったことが伺える。

古代～中世にかけての官道は、原田－上江－池島地区の現在の県道が踏襲していると推測されるが[3]、蕨Ｃ地区の石敷道路は中世の官道であると思われ、調査の意義は大きい。

註

（１）えびの市教育委員会『広畑遺跡』1991

（２）石川恒太郎「久見迫遺跡」『九州縦貫自動車道埋蔵文化財調査報告（1）』宮崎県教育委員会1972

（３）『えびの市史』えびの市　1994

表２　蕨Ｃ地区　地下式横穴墓一覧表

| 番号 | 閉塞 | 閉塞材 | 玄室プラン | 玄室規模(cm) 奥行 | 幅 | 高さ | 副葬品 刀 | 剣 | 鉾 | 鏃 | 刀子 | ほか | 被葬者数(推定) | 備考 | 主軸 | 旧番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3001 | 竪坑上部 | 板石？ | 未掘 | — | — | — | | | | | | | | | N15°W | 3019 |
| 3002 | 竪坑上部 | 板石？ | 未掘 | — | — | — | | | | | | | | | N４°W | 3020 |
| 3003 | 羨門 | 板石？ | 未掘 | — | — | — | | | | | | | | | N10°W | 3021 |
| 3004 | 羨門 | 板石？ | 未掘 | — | — | — | | | | | | | | 横口式系？ | S75°W | 3022 |
| 3005 | 竪坑上部？ | 板石？ | 未掘 | — | — | — | | | | | | | | | — | 3023 |
| 3006 | 竪坑上部 | 板石？ | 未掘 | — | — | — | | | | | | | | | N２°E | 3024 |
| 3007 | 羨門 | 板石 | 平入り 両裾 台形 | 126 | 165 | (70) | | | | | | | | 横口式系 | N10°W | 3025 |
| 3008 | 羨門 | 板？ | 未掘 | — | — | — | | | | | | | | | N | 3016 |
| 3009 | 竪坑上部 | 板石 | 平入り 両裾 楕円形 | 152 | 196 | (110) | | | | | | 柄 | | | N20°W | 3003 |
| 3010 | 羨門 | 板石 | 平入り 両裾 隅丸台形 | 130 | 194 | (80) | | | | | | | | | N５°E | 3002 |
| 3011 | 竪坑上部 | 板石？ | 未掘 | — | — | — | | | | | | | | | — | 3036 |
| 3012 | 竪坑上部 | 板石 | 未掘 | — | — | — | | | | | | | | | — | 3005 |
| 3013 | 竪坑上部 | 板石？ | 平入り 両裾 楕円形 | 120 | 200 | 80 | | | | 2 | 1 | 不明1 | (２) | 床面の一部に赤色顔料 | N８°E | 3012 |
| 3014 | 竪坑上部 | 板石？ | 平入り 両裾 楕円形 | 146 | 216 | (60) | 2 | | | 10 | | 鉇1 | 2 | | N４°E | 3004 |
| 3015 | 竪坑上部 | 板石 | 平入り 両裾 楕円形 | 150 | 226 | 102 | | | | | | | | | N２°E | 3007 |
| 3016 | 竪坑上部 | 板石・円礫 | 平入り 両裾 楕円形 | 120 | 190 | (90) | 1 | | 1 | 6 | | | 1 | | N10°W | 3006 |
| 3017 | 羨門 | 板石 | 平入り 両裾 楕円形 | 97 | 168 | (70) | | | | | | | | 追葬痕あり | N10°E | 3008 |
| 3018 | 竪坑上部 | 板石？ | 平入り 両裾 楕円形 | 114 | 158 | 72 | | 1 | | 5 | | | (１) | 主軸が掘折 | N５°E | 3009 |
| 3019 | 竪坑上部 | 板石 | 平入り 両裾 楕円形 | 120 | 157 | (90) | | | | | | | | | N３°E | 3011 |
| 3020 | 竪坑上部 | 板石 | 平入り 両裾 楕円形 | 120 | 190 | (100) | | | | | 1 | | | | N39°W | 3010 |
| 3021 | 竪坑上部 | 板石？ | 未掘 | — | — | — | | | | | | | | | — | 3015 |
| 3022 | 竪坑上部 | 板石？ | 平入り 両裾 楕円形 | 92 | 138 | 72 | | | | | | | | | N８°W | 3013 |

（　）は推定

表３　久見迫Ｂ地区　地下式横穴墓一覧表

| 番号 | 閉塞 | 閉塞材 | 玄室プラン | 玄室規模(cm) 奥行 | 幅 | 高さ | 副葬品 刀 | 剣 | 鉾 | 刀子 | 轡 | 被葬者数(推定) | 備考 | 主軸 | 旧番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4001 | 羨門 | アカホヤ塊 | 平入り 両裾 楕円形 | (140) | (280) | (60) | 1 | | 18 | | | | 風倒木痕に攪乱 | N36°E | 3035 |
| 4002 | 羨門 | アカホヤ塊 | 平入り 両裾 楕円形 | 135 | 216 | (50) | | | 6 | 1 | | (2～3) | | N５°W | 3034 |
| 4003 | 羨門 | アカホヤ塊 | 平入り 両裾 楕円形 | 140 | 190 | (70) | | | 3 | 2 | | (２) | 主軸が掘折 | N２°W | 3033 |
| 4004 | 羨門 | アカホヤ塊 | 平入り 両裾 略方形 | 150 | 170 | 40 | 1 | | 18 | 1 | 1 | (３) | | N17°W | 3032 |
| 4005 | 羨門 | アカホヤ塊 | 平入り 両裾 楕円形 | 140 | 206 | (80) | | 1 | 10 | 2 | | (2～3) | 主軸が掘折 | N８°E | 3030 |
| 4006 | 羨門 | アカホヤ塊 | 平入り 両裾 楕円形 | 146 | (240) | (90) | | | 17 | 2 | | (2～3) | | N31°E | 3026 |
| 4007 | 羨門 | アカホヤ塊 | 未掘 | — | — | — | | | | | | | | 南南西 | 3031 |
| 4008 | 羨門 | アカホヤ塊 | 平入り 両裾 楕円形 | 158 | 230 | (76) | | | 5 | 2 | | (2～3) | | S35°E | 3029 |
| 4009 | 羨門 | アカホヤ塊 | 平入り 両裾 楕円形 | 130 | 249 | (100) | | | 9 | 2 | | | | S87°W | 3028 |
| 4010 | 羨門？ | アカホヤ塊？ | 平入り？両裾？楕円形 | — | 220 | (100) | | | 1 | | | | 大部分が削失 | N－E | 3027 |
| 4011 | 羨門 | アカホヤ塊・円礫 | 平入り 両裾 楕円形 | 140 | 204 | (80) | | | 10 | 1 | 1 | (2～3) | | S29°E | 3001 |
| 4012 | 羨門 | アカホヤ塊 | 平入り 両裾 楕円形 | 120 | 208 | (60) | | | | | | | | N53°E | 3017 |
| 4013 | 羨門 | アカホヤ塊 | 平入り 両裾 楕円形 | 134 | (200) | (50) | | | | | | | | N68°E | 3018 |

表４　蕨Ｃ地区　地下式横穴墓出土遺物一覧表

| 番号 | 出土遺構 | 種類 | 現存長cm | 刃部長 | 番号 | 出土遺構 | 種類 | 現存長cm | 刃部長 | 番号 | 出土遺構 | 種類 | 現存長cm | 刃部長 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第29図1 | ST－3013 | 鉄鉄 | 17.0 | 3.2 | 12 | ST－3014 | 鉄鏃 | 14.4 | 1.0 | 20C | ST－3016 | 鉄鏃 | 7.6 | 7.6 |
| 2 | 〃 | 〃 | 12.2 | 2.0 | 13 | 〃 | 〃 | 18.0 | 0.6 | 20D | 〃 | 鉾 | 25.2 | 12.6 |
| 3 | 〃 | 不明 | 10.2 | — | 14 | 〃 | 〃 | 17.0 | 3.8 | 21A | ST－3018 | 鉄鏃 | 9.4 | 1.4 |
| 4 | 〃 | 刀子 | 11.4 | 7.2 | 15 | 〃 | 〃 | 16.6 | 1.0 | 21B | 〃 | 〃 | 7.6 | — |
| 5 | ST－3014 | 鉄鏃 | 12.3 | 8.8 | 16 | 〃 | 鉇 | 9.8 | 3.2 | 21C | 〃 | 〃 | 10.0 | 1.6 |
| 6 | 〃 | 〃 | 10.6 | 1.5 | 17 | ST－3016 | 鉄鏃 | 11.4 | 6.8 | 22 | 〃 | 〃 | 11.8 | 5.2 |
| 7 | 〃 | 〃 | 8.0 | 1.7 | 18A | 〃 | 〃 | 7.0 | — | 23 | 〃 | 〃 | 11.3 | 1.6 |
| 8 | 〃 | 〃 | 4.9 | — | 18B | 〃 | 〃 | 10.2 | 2.7 | 24 | 〃 | 小剣 | 25.4 | 18.8 |
| 9 | 〃 | 〃 | 15.7 | 2.7 | 19 | 〃 | 〃 | 10.6 | 4.4 | 25 | ST－3009 | 小刀柄 | 5.2 | — |
| 10 | 〃 | 〃 | 14.4 | — | 20A | 〃 | 〃 | 4.7 | (4.4) | 26 | 〃 | 〃 | 3.2 | — |
| 11 | 〃 | 〃 | 8.5 | 3.6 | 20B | 〃 | 〃 | 4.2 | 2.6 | 27 | ST－3020 | 刀子 | 7.2 | (4.0) |

表５　久見迫Ｂ地区　地下式横穴墓出土遺物一覧表

| 番号 | 出土遺構 | 種類 | 現存長 | 刃部長 |
|---|---|---|---|---|
| 第46図 1 | ST－4001 | 鉄鏃 | 5.6 | 3.6 |
| 2A | 〃 | 〃 | 8.4 | 4.4 |
| 2B | 〃 | 〃 | 8.0 | 2.0 |
| 3 | 〃 | 〃 | 4.2 | － |
| 4 | 〃 | 刀子 | 17.9 | (9.7) |
| 5 | 〃 | 鉄鏃 | 4.8 | 2.8 |
| 6 | 〃 | 〃 | 8.9 | 3.3 |
| 7A | 〃 | 〃 | 5.2 | 2.5 |
| 7B | 〃 | 〃 | 5.3 | 2.4 |
| 7C | 〃 | 〃 | 4.6 | 2.6 |
| 8A | 〃 | 〃 | 6.7 | 3.2 |
| 8B | 〃 | 〃 | 5.2 | 2.2 |
| 8C | 〃 | 〃 | 5.8 | 2.7 |
| 8D | 〃 | 〃 | 5.9 | 3.0 |
| 8E | 〃 | 〃 | 8.7 | 3.0 |
| 9A | 〃 | 〃 | 7.0 | 2.0 |
| 9B | 〃 | 〃 | 7.6 | 3.5 |
| 9C | 〃 | 〃 | 13.7 | 4.0 |
| 9D | 〃 | 〃 | 5.0 | － |
| 9E | 〃 | 〃 | 14.0 | 3.8 |
| 9F | 〃 | 〃 | 5.4 | － |
| 10 | 〃 | 〃 | 6.2 | － |
| 11 | 〃 | 〃 | 4.7 | － |
| 12 | 〃 | 〃 | 4.2 | － |
| 13 | 〃 | 〃 | 4.2 | － |
| 14 | 〃 | 〃 | 5.0 | － |
| 15 | 〃 | 〃 | 5.9 | － |
| 16 | 〃 | 〃 | 3.1 | － |
| 17 | 〃 | 〃 | 8.7 | 3.2 |
| 18 | 〃 | 〃 | 2.9 | － |
| 19 | 〃 | 〃 | 2.2 | － |
| 20 | 〃 | 〃 | 2.9 | － |
| 21 | ST－4002 | 〃 | 13.9 | 4.9 |
| 22 | 〃 | 〃 | 15.0 | 1.7 |
| 23 | 〃 | 〃 | 8.0 | 2.0 |
| 24 | 〃 | 〃 | 6.6 | － |
| 25 | 〃 | 〃 | 7.8 | 3.8 |
| 26 | 〃 | 刀子 | 7.9 | (3.0) |
| 27 | 〃 | 鉄鏃 | 5.8 | － |
| 28 | ST－4003 | 〃 | 14.0 | 6.1 |
| 29 | 〃 | 〃 | 14.7 | 1.2 |
| 30 | 〃 | 〃 | 19.3 | 1.8 |
| 31 | 〃 | 刀子 | 6.2 | (2.0) |
| 32 | 〃 | 〃 | 8.5 | (4.0) |
| 第47図 33 | ST－4004 | 鉄鏃 | 13.3 | 2.6 |
| 34 | 〃 | 鉄鏃 | 14.6 | 4.2 |
| 35 | 〃 | 〃 | 12.6 | 2.7 |
| 36 | 〃 | 〃 | 12.6 | (3.8) |
| 37 | 〃 | 〃 | 5.5 | 2.0 |
| 38 | 〃 | 〃 | 16.2 | 3.2 |
| 39 | 〃 | 〃 | 7.0 | 3.2 |
| 40 | 〃 | 〃 | 6.5 | 2.1 |
| 41 | ST－4004 | 鉄鏃 | 8.8 | 1.5 |
| 42 | 〃 | 〃 | 9.0 | － |
| 43 | 〃 | 〃 | 9.2 | － |
| 44 | 〃 | 〃 | 9.0 | － |
| 45A | 〃 | 〃 | 7.9 | － |
| 45B | 〃 | 〃 | 16.6 | 2.4 |
| 46A | 〃 | 〃 | 15.0 | － |
| 46B | 〃 | 〃 | 4.6 | 4.0 |
| 47 | 〃 | 〃 | 17.3 | 2.1 |
| 48 | 〃 | 〃 | 3.1 | － |
| 49 | 〃 | 〃 | 11.5 | － |
| 50 | 〃 | 〃 | 19.9 | 2.4 |
| 51 | 〃 | 〃 | 17.8 | 2.2 |
| 52 | 〃 | 〃 | 7.9 | － |
| 53 | 〃 | 〃 | 6.7 | － |
| 54 | 〃 | 刀子 | 14.9 | 9.0 |
| 55 | 〃 | 小刀 | 23.4 | 17.4 |
| 56 | 〃 | 轡 | 10.5 | － |
| 57 | ST－4008 | 刀子 | 8.8 | 4.9 |
| 58 | 〃 | 鉄鏃 | 14.9 | 1.6 |
| 59 | 〃 | 〃 | 13.9 | 0.4 |
| 60 | 〃 | 〃 | 16.1 | 1.7 |
| 61 | 〃 | 〃 | 14.8 | － |
| 62 | 〃 | 〃 | 11.8 | (4.0) |
| 63 | ST－4010 | 〃 | 14.1 | 12.0 |
| 第48図 64 | ST－4005 | 〃 | 8.9 | 1.9 |
| 65 | 〃 | 〃 | 15.8 | 1.0 |
| 66 | 〃 | 〃 | 12.7 | 1.1 |
| 67 | 〃 | 〃 | 10.9 | 2.6 |
| 68 | 〃 | 〃 | 10.4 | 2.4 |
| 69 | 〃 | 〃 | 8.0 | 3.0 |
| 70A | 〃 | 〃 | 10.9 | 2.2 |
| 70B | 〃 | 〃 | 8.4 | 3.2 |
| 71A | 〃 | 〃 | 13.2 | － |
| 71B | 〃 | 〃 | 2.9 | － |
| 72 | 〃 | 〃 | 12.2 | － |
| 73 | 〃 | 〃 | 11.2 | － |
| 74 | 〃 | 〃 | 10.5 | － |
| 75 | 〃 | 〃 | 9.2 | － |
| 76 | 〃 | 刀子 | 15.4 | 9.4 |
| 77 | 〃 | 鉄鏃 | 5.0 | － |
| 78 | 〃 | 〃 | 3.8 | － |
| 79 | 〃 | 〃 | 7.9 | － |
| 80 | 〃 | 刀子 | 7.0 | (1.8) |
| 81A | ST－4006 | 鉄鏃 | 7.2 | － |
| 81B | 〃 | 〃 | 7.9 | － |
| 82A | 〃 | 〃 | 14.3 | 1.2 |
| 82B | 〃 | 〃 | 13.5 | 1.9 |
| 82C | 〃 | 〃 | 17.6 | 2.5 |
| 82D | 〃 | 〃 | 10.6 | － |
| 82E | 〃 | 〃 | 16.3 | 3.4 |
| 82F | 〃 | 〃 | 16.4 | 1.4 |
| 83A | ST－4006 | 鉄鏃 | 13.6 | 1.4 |
| 83B | 〃 | 〃 | 13.9 | 1.3 |
| 84 | 〃 | 〃 | 17.2 | 1.0 |
| 85 | 〃 | 〃 | 15.1 | 1.1 |
| 86 | 〃 | 〃 | 16.6 | 1.7 |
| 87 | 〃 | 〃 | 16.6 | 1.6 |
| 88 | 〃 | 〃 | 12.1 | 2.0 |
| 89 | 〃 | 〃 | 11.4 | 1.8 |
| 90 | 〃 | 〃 | 13.4 | 0.5 |
| 91 | 〃 | 〃 | 11.5 | 1.2 |
| 92 | 〃 | 〃 | 13.0 | － |
| 93 | 〃 | 刀子 | 9.9 | (5.8) |
| 94 | 〃 | 〃 | 8.9 | (3.2) |
| 95 | 〃 | 鉄鏃 | 11.2 | － |
| 96 | ST－4009 | 〃 | 7.6 | 7.6 |
| 97 | 〃 | 〃 | 8.9 | 4.6 |
| 98A | 〃 | 〃 | 8.6 | 1.7 |
| 98B | 〃 | 〃 | 3.2 | 2.0 |
| 99A | 〃 | 〃 | 4.2 | 1.0 |
| 99B | 〃 | 〃 | 14.0 | 1.2 |
| 100 | 〃 | 〃 | 3.1 | 1.9 |
| 101 | 〃 | 〃 | 3.9 | 1.6 |
| 102 | 〃 | 〃 | 4.4 | 1.0 |
| 103 | 〃 | 〃 | 4.3 | － |
| 104 | 〃 | 〃 | 6.0 | － |
| 105 | 〃 | 〃 | 6.3 | － |
| 106 | 〃 | 刀子 | 8.0 | (5.3) |
| 107 | 〃 | 〃 | 6.3 | (1.7) |
| 108 | 〃 | 鉄鏃 | 8.9 | － |
| 109 | 〃 | 〃 | 8.1 | － |
| 110 | 〃 | 〃 | 8.1 | － |
| 111 | 〃 | 〃 | 13.7 | － |
| 第49図 112 | ST－4011 | 〃 | 11.0 | 2.4 |
| 113 | 〃 | 〃 | 11.0 | (2.4) |
| 114 | 〃 | 〃 | 4.4 | 2.7 |
| 115 | 〃 | 〃 | 3.8 | － |
| 116 | 〃 | 〃 | 12.8 | 2.9 |
| 117 | 〃 | 〃 | 5.9 | 5.9 |
| 118 | 〃 | 〃 | 4.4 | － |
| 119 | 〃 | 〃 | 4.0 | 0.1 |
| 120 | 〃 | 〃 | 7.0 | － |
| 121 | 〃 | 〃 | 12.2 | － |
| 122A | 〃 | 〃 | 12.5 | 3.2 |
| 122B | 〃 | 〃 | 11.2 | 3.4 |
| 123 | 〃 | 〃 | 4.4 | 4.4 |
| 124 | 〃 | 小刀 | 16.6 | (11.0) |
| 125 | 〃 | 轡 | 27.2 | － |
| 第50図 126 | ST－4005 | 剣 | 70.4 | 55.2 |
| 127 | ST－4001 | 大刀 | 88.0 | 78.0 |
| 128 | ST－4004 | 〃 | 48.2 | (38.4) |
| 129 | ST－3014 | 〃 | 46.8 | 39.8 |
| 130 | ST－3016 | 〃 | 44.0 | (44.0) |
| 131 | ST－3014 | 〃 | 70.0 | 57.8 |

表6　ＳＴ－4011西側土器群　観察表

| 番号 | 器種 | 法量（口径） | 調整 内面 | 調整 外面 | 色調 内面 | 色調 外面 | 焼成 | 胎土 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第55図1 | 壷 | － | ナデ | ナデ | 黄褐 | 淡黄灰 | ややあまい | 1～2ミリの砂粒 多量 |
| 2 | 壷 | － | ナデ | ナデ | 淡黄褐 | 淡黄褐 | ややあまい | 1～2ミリの砂粒 多量 |
| 3 | 甕 | 18.2 | ナデ | ナデ | 淡灰褐 | 淡灰褐 | あまい | 1ミリ前後の砂粒 多量 |
| 4 | 甕 | － | ナデ | タテハケ | 淡黄褐 | 暗茶灰 | 良 | 1ミリ前後の砂粒 少量、黒雲母微量 |
| 5 | 甕 | － | ナデ | ナデ | 淡黄褐 | 淡黄褐 | 良好 | 1ミリ前後の砂粒 微量 |
| 6 | 甕 | 34.6 | 摩滅 | 摩滅 | 明褐～淡黄褐 | 明褐～淡黄褐 | あまい | 1～3ミリの砂粒・クサリ礫 少量 |
| 7 | 甕？ | － | 摩滅 | 摩滅 | 淡褐 | 桃黄 | ややあまい | 1ミリ前後の砂粒 多量 |
| 8 | 甕 | 15～20 | 摩滅 | 摩滅 | 淡黄褐 | 淡黄褐 | ややあまい | 1ミリ前後の砂粒 多量 |
| 9 | 壷 | － | 摩滅 | 摩滅 | 淡灰褐 | 明褐 | あまい | 1～2ミリの砂粒 多量 |
| 10 | 壷 | － | 同心円タタキ | タタキ→ハケ | 淡灰 | 淡茶灰～淡灰 | ややあまい | 1～2ミリの砂粒 微量 |

表7　ＳＫ－104出土遺物　観察表

| 番号 | 品種 | 法量(cm) 口径 | 法量(cm) 底径 | 法量(cm) 高さ | 調整 内面 | 調整 外面 | 調整 底部 | 色調 内面 | 色調 外面 | 焼成 | 胎土 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第54図1 | 皿 | 11.5 | 6.5 | 3.0 | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡黄白 | 淡黄白 | 良 | 精良 | |
| 2 | 皿 | 12.4 | 7.0 | 3.0 | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡黄白 | 淡黄白 | 良好 | 精良 | |
| 3 | 小皿 | 5.3 | 3.8 | 1.2 | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡黄白 | 淡黄白 | 良 | 精良 | |
| 4 | 小皿 | 6.2 | 4.8 | 1.6～1.9 | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡黒灰 | 暗灰褐 | 良 | 精良 | 灯明皿転用 |
| 5 | 小皿 | － | 4.2 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡黄褐 | 淡黄褐 | 良 | 精良 | |

表8　調査区出土　須恵器　観察表

| 番号 | 出土地　遺構 | 器種 | 法量（口径） | 調整 内面 | 調整 外面 | 色調 内面 | 色調 外面 | 焼成 | 胎土 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第64図1 | 試掘溝Ｆ付近表採 | 坏身 | － | ナデ | ヨコナデ ケズリ | 暗灰褐 | 暗灰褐 | 堅緻 | 精良 |
| 2 | 久見迫Ｂ　ＳＺ－11 | 坏蓋 | 14.0 | ヨコナデ | ヨコナデ | 淡灰 | 淡灰 | 良好 | 精良 |
| 3 | Ｄ１拡張図　SK103横 | 壷 | － | ナデ | 上半 ナデ 下半ヘラケズリ | 灰～暗灰 | 淡灰 | 堅緻 | 1ミリ前後の砂粒 微量 |
| 4 | 蕨Ｃ－２　ＳＺ－04 | 壷 | 22.6 | ヨコナデ・ナデ | ヨコナデ | 淡灰 | 淡青灰 | 堅緻 | 1～2ミリの砂粒 微量 |
| 5 | 久見迫Ｂ－4 東端SD | 壷 | 22.2 | ヨコナデ 同心円タタキ | ヨコナデ タタキ | 淡灰～灰 | 淡灰 | 堅緻 | 精良 |
| 6 | 蕨Ｃ－２　ＳＺ－04 | 壷 | － | ナデ | ナデ | 淡灰 | 淡青灰 | 堅緻 | 1～2ミリの砂粒 微量 |

表9　調査区出土　中世国産陶器　観察表

| 番号 | 出土地　遺構 | 器種 | 法量(cm) 口径 | 法量(cm) 底径 | 法量(cm) 高さ | 色調 内面 | 色調 外面 | 色調 胎土 | 焼成 | 胎土 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第61図1 | 蕨C　SD-41 | 甕 | 31.0 | － | － | 暗赤褐 | 暗赤橙 | 暗灰褐 | 堅緻 | 1～2ミリの砂粒 少量 | 常滑焼、口縁部内面と体部外面に淡緑灰色自然釉 |
| 2 | 久見迫B-4 東端SD | 摺鉢 | 24.8 | － | － | 暗褐 | 口縁：灰～灰褐 体：暗灰～灰褐 | 淡灰、暗赤褐 | 堅緻 | 1ミリ前後の砂粒 少量 | 備前焼、使用による著しい摩滅 |
| 3 | C1拡張区　排土 | 摺鉢 | － | 12.0 | － | 黄褐 | 橙黄 | 黄褐～橙黄 | 良 | 1～3ミリの砂粒 多量 | 備前焼、使用による著しい摩滅 |
| 4 | 久見迫B-4 東端 SD | 摺鉢 | 22.8 | － | － | 上半：灰褐 下半：暗灰褐～灰 | 暗青灰～暗灰褐 | 暗茶褐 | 堅緻 | 1～2ミリの砂粒少量 | 備前焼、使用による著しい摩滅、口唇部に自然釉 |
| 5 | 久見迫B PP-550 | 摺鉢 | 30.8 | － | － | 紫褐 | 口縁：暗紫褐 体：暗茶褐～橙褐 | 暗茶灰 | 堅緻 | 精良 | 備前焼 |
| 6 | 試掘溝G1 SD | 摺鉢 | － | 13.0 | － | 茶灰～淡黄灰 | 暗灰～淡茶褐 | 灰～淡黄褐 | 堅緻 | 1～2ミリの砂粒 微量 | 備前焼、使用による著しい摩滅 |
| 7 | 久見迫B SZ-13 | 壷 | － | 12～13 | － | 橙褐 | 橙黄 | 暗茶褐 | 堅緻 | 1～2ミリの砂粒 少量 | 備前焼、使用による著しい摩滅 |
| 8 | 久見迫B SZ-11 | 摺鉢 | － | 12.0 | － | 暗紫灰～暗紫褐 | 橙褐 | 灰～淡灰 | 堅緻 | 精良 | 備前焼、使用による磨滅あり |
| 9 | 久見迫B SZ-11 | 甕 | － | － | － | 暗灰～灰 | 青灰～淡灰 | 青灰 | 良好 | 1～5ミリの砂粒 多い | |

表10　久見迫Ｂ地区出土　土師器　観察表

| 番号 | 出土遺構 | 器種 | 法量（cm） | | | 調整 | | | 色調 | | 焼成 | 胎土 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径 | 底径 | 高さ | 内面 | 外面 | 底部 | 内面 | 外面 | | |
| 第60図1 | ST－4013 玄室埋土 | 甕 | 17.2 | － | － | ナデ | ナデ | － | 淡茶灰 | 黄褐 | ややあまい | 1～2ミリの砂粒 多量 |
| 2 | ST－4010 竪坑埋土 | 壷 | － | － | － | ナデ | ナデ | － | 暗灰 | 淡黄褐 | 良 | 1～2ミリの石英粒 多量 |
| 3 | ST－4008 玄室埋土 | 長頸壷 | － | － | － | ナデ | ヘラミガキ | － | 淡茶灰 | 橙褐 | 良好 | 精良 |
| 4 | PP－1153 | 手捏ね | － | － | － | 指頭ナデ | 指頭押圧 | － | 黒褐 | 黄褐 | ややあまい | 1～2ミリの石英粒 多量 |
| 5 | ST－4007 玄室埋土 | 甕 | － | 6.2 | － | ナデ | ナデ | － | 淡桃黄 | 淡桃黄 | ややあまい | 1～2ミリの砂粒 多量<br>1ミリ前後の赤褐色粒 少量 |
| 6 | ST－4009 玄室埋土 | 高坏 | － | － | － | ナデ | ナデ<br>指頭押圧 | － | 明桃褐 | 灰褐 | 良 | 1ミリ前後の砂粒 少量 |
| 7 | PP－822 | 小皿 | 6.4 | 4.2 | 1.4 | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡茶褐 | 暗灰～黒灰 | ややあまい | 精良 |
| 8 | PP－496 | 小皿 | 6.4 | 3.3 | 2.0 | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡桃黄～淡黄褐 | 淡桃黄～淡黄白 | 良好 | 精良 |
| 9 | PP－484 | 坏 | 8.6 | － | － | ナデ | ナデ | － | 淡茶褐 | 淡茶褐 | 良 | 精良 |
| 10 | PP－1030 | 皿 | － | 4.0 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 黄褐 | 黄褐 | あまい | 精良 |
| 11 | PP－822 | 小坏 | － | 4.4 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡黄褐 | 淡黄褐 | ややあまい | 精良 |
| 12 | PP－885 | 坏 | － | 4.8 | － | ナデ | ナデ | － | 淡黄褐 | 淡黄褐 | ややあまい | 精良 |
| 13 | PP－783 | 坏 | － | 6.0 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡黄褐 | 淡黄褐 | 良 | 精良 |
| 14 | PP－819 | 坏 | － | 6.6 | － | ナデ | ナデ | 摩滅 | 淡黄褐 | 淡黄褐 | ややあまい | 精良 |
| 15 | SD－65 | 坏 | － | 6.4 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡灰褐 | 淡灰褐 | あまい | 精良 |
| 16 | PP－787 | 坏 | － | 6.0 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡桃黄 | 淡黄褐 | 良 | 精良 |
| 17 | PP－235 | 坏 | － | 7.3 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡黄白 | 淡黄白 | 良 | 精良 |
| 18 | PP－486 | 坏 | － | 6.6 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡黄白 | 淡黄白 | 良 | 精良 |
| 19 | PP－200 | 小坏 | 10.8 | 6.2 | 3.0 | ナデ | ナデ | 糸切り | 暗灰褐～淡黒灰 | 淡灰褐～淡黒灰 | あまい | 精良 |
| 20 | ST－4002 玄室埋土 | 坏 | － | 7.7 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡茶灰 | 淡茶褐 | ややあまい | 精良 |
| 21 | PP－1146 | 坏 | － | 8.2 | － | ナデ | ナデ | 摩滅 | 淡灰黄 | 淡灰黄 | ややあまい | 精良 |
| 22 | PP－738 | 坏 | － | 7.0 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡黄褐 | 明褐 | 良 | 精良 |
| 23 | PP－752 | 坏 | － | 8.0 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡褐 | 淡褐 | 良 | 精良 |
| 24 | 試掘溝F1 PP | 坏 | 10.8 | － | － | ナデ | ナデ | － | 淡灰～淡黄褐 | 淡灰～灰褐 | 良 | 精良 |
| 25 | PP－319 | 坏 | 13.0 | － | － | ナデ | ナデ | － | 淡黄白 | 淡黄白 | ややあまい | 精良 |
| 26 | ST－4003 玄室埋土 | 皿 | 13.4 | － | － | ナデ | ナデ | － | 明褐 | 淡茶褐 | ややあまい | 精良 |
| 27 | PP－486 | 皿 | 15.4 | － | － | ナデ | ナデ | － | 淡黒灰（二次加熱） | 淡茶褐 | 良 | 精良 |
| 28 | PP－706 | 埦 | － | 11.6 | － | ナデ | ナデ | ヘラ切り | 淡黄褐～淡灰褐 | 淡黄褐～淡灰褐 | 良好 | 精良 |
| 29 | SZ－13 | 坏 | － | 6.0 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 灰～灰褐 | 暗灰～淡黒褐 | ややあまい | 精良 |
| 30 | SZ－13 | 坏 | － | 6.2 | － | ナデ | ナデ | 摩滅 | 淡黄白～淡灰白 | 淡黄白～淡灰白 | ややあまい | 精良 |
| 31 | PP－281 | 土鍋？ | 22.2 | － | － | ヨコナデ | ヨコナデ | － | 淡灰白 | 淡茶褐～淡黒褐 | 良好 | 精良 |
| 32 | SZ－10 | 皿 | (10.6) | 7.0 | (3.1) | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡茶灰 | 淡茶褐 | ややあまい | 精良 |
| 33 | ST－4002 竪坑埋土 | 甕 | 27.6 | － | － | ハケ、ナデ | ハケ、ナデ | － | 淡黄褐 | 淡灰褐～淡灰 | 良 | 1ミリ未満の砂粒・黒ウンモ 少量 |
| 34 | SZ－11 | 壷 | 14.1 | － | － | 摩滅 | 摩滅 | － | 淡黄褐 | 淡黄褐 | 良 | 1ミリ前後の砂粒<br>クサリ礫粒 多い |
| 35 | SZ－11 | 壷 | 9.0 | － | － | ナデ | 摩滅 | － | 暗灰 | 淡橙褐 | ややあまい | 1ミリ前後の砂粒 多量 |
| 36 | SZ－11 | 坏 | 11.2 | 6.4 | 3.1 | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡茶褐 | 淡茶褐 | 良好 | 精良 |
| 37 | SZ－11 | 坏 | － | 8.8 | － | ナデ | ナデ | ヘラ切り | 淡桃白～淡黄白 | 淡桃白～淡黄白 | 良 | 精良 |
| 38 | SZ－11 | 坏 | － | 8.0 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡灰白～淡黄白 | 淡灰白～淡黄白 | 良 | 精良 |
| 39 | SZ－11 | 甕 | － | － | － | ナデ | ナデ | － | 淡黒灰 | 淡黄褐 | 良 | 1ミリ前後の砂粒多い<br>1ミリ未満の赤褐色粒少量 |
| 40 | SZ－11 | 坏 | － | 6.8 | － | ナデ | ナデ | 摩滅 | 淡橙白 | 淡橙白 | 良 | 精良 |
| 41 | SZ－11 | 坏 | 6.8 | － | － | ナデ | ナデ | ヘラ切り | 淡灰白 | 淡灰白 | 良 | 1ミリ前後の砂粒 微量 |
| 42 | SZ－11 | 小皿 | 6.8 | 3.1 | 1.8 | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡灰 | 淡灰白 | 良 | 精良 |
| 43 | SZ－11 | 小坏 | 6.6 | － | － | ナデ | ナデ | － | 淡黄灰 | 淡黄灰 | ややあまい | 精良 |
| 44 | SZ－11 | 小坏 | 8.4 | － | － | ナデ | ナデ | － | 淡坏褐～淡桃褐 | 淡灰褐 | 良 | 1ミリ前後の砂粒 少量 |
| 45 | SZ－11 | 小坏 | － | 5.0 | － | ナデ | ナデ | 糸切り | 淡褐 | 淡褐 | 良 | 精良 |

## 表11　調査区出土　輸入陶磁器　観察表

| 番号 | 出土地・遺構 | 種類・器種 | 法量(cm) 口径 | 法量(cm) 低径 | 法量(cm) 高さ | 色調 釉色 | 色調 露胎 | 色調 胎土 | 調整・技法・文様 | 年代 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 第62図1 | C1拡張区　Ⅲ層 | 青磁　碗 | — | — | — | オリーブ灰 | — | 淡灰白 | | 14世紀末～15世紀 |
| 2 | 蕨C　SD−41 | 青磁　碗 | 17.0 | — | — | オリーブ灰 | — | 淡灰白 | 剣先蓮弁 | 15中～16前 |
| 3 | 蕨C　ST−3007 | 青磁　稜花型皿 | — | — | — | オリーブ灰 | — | 淡灰～淡灰白 | | 15中～16前 |
| 4 | 蕨C−3　南東端SD | 白磁　碗 | — | — | — | 乳白 | — | 淡灰白 | | 12～14 |
| 5 | 蕨C−2　Ⅲ層 | 青磁　碗 | — | 7.0 | — | 淡灰褐～淡灰 | 見込み畳付き～外底 | 暗桃褐 | 二次的被火 | 15～16 |
| 6 | 蕨C−3　SD | 青磁　碗 | — | — | — | オリーブ灰 | — | 淡灰白 | | 14後～15前 |
| 7 | 蕨C−3　SD | 青磁　碗 | — | 7.8 | — | オリーブ灰 | — | 淡灰白 | | 14後～15前 |
| 8 | 試掘溝D2　SD−24 | 青磁　碗 | — | 6.6 | — | オリーブ灰 | 外底 | 淡灰白 | | |
| 9 | 久見迫B　SZ−11 | 青磁　瓶 | — | — | — | オリーブ灰 | — | 淡灰白 | 瑤珞文陽刻 | 14後～15前 |
| 10 | 久見迫B　PP−280 | 白磁　皿 | 11.0 | — | — | 乳白 | — | 白 | | 16後～17前 |
| 11 | 久見迫B　ST−4004 | 青磁　稜花型皿 | 12.2 | — | — | 淡緑灰 | — | 灰～淡灰 | | 15中～16前 |
| 12 | 久見迫B　SZ−04 | 青磁　稜花型皿 | 14.4 | 6.0 | — | オリーブ灰 | — | 淡灰 | | 15中～16前 |
| 13 | 久見迫B　排土 | 青磁　稜花型皿 | 14.0 | 6.8 | 3.8 | オリーブ灰 | 外底 | 淡灰 | | 15後～16前 |
| 14 | 久見迫B　SZ−13 | 青磁　小皿 | 8.4 | 6.0 | 2.8 | オリーブ灰 | — | 淡灰白 | | 14後～15前 |
| 15 | 久見迫B　Ⅱ層 | 青磁　碗 | 13.4 | — | — | オリーブ灰 | — | 淡灰白 | | 14後～15前 |
| 16 | 久見迫B　PP−810 | 青磁　碗 | 14.4 | — | — | 淡緑灰 | — | 淡灰白 | 蓮弁 | 15後～16前 |
| 17 | 久見迫B　PP−941 | 青磁　碗 | — | — | — | 淡緑灰 | — | 淡灰 | 剣先蓮弁 | 15中～16前 |
| 18 | 久見迫B　PP−318 | 青磁　碗 | 14.2 | 5.7 | 5.7 | 淡灰 | 高台～外底 | 淡灰白 | 底に籾殻痕 | 14後～15前 |
| 19 | 地主原B−1　排土 | 青磁　碗 | 16.8 | — | — | 暗緑灰 | — | 淡灰 | | 14後～15前 |
| 20 | 久見迫B　PP−300 | 青磁　碗 | 17.0 | — | — | 淡オリーブ灰 | — | 淡灰白 | 雷文帯　印花文 | 15後～16前 |
| 21 | 久見迫B　PP−934 | 青磁　稜花型皿 | — | 5.2 | — | 緑灰 | 見込み畳付き～外底 | 淡灰 | 印花文 | 15～16前 |
| 22 | 久見迫B　PP−939 | 青磁　碗 | — | 4.6 | — | 灰緑 | 畳付き～外底 | 淡黄白～淡黄灰 | 印花文 | 15末～16 |
| 23 | 久見迫B　SD−64 | 青磁　碗 | — | 5.6 | — | 淡オリーブ灰 | 外底 | 淡灰白 | 印花文 | 14末～15 |
| 24 | 久見迫B　排土 | 青磁　碗 | — | 6.4 | — | オリーブ灰 | 畳付き～外底 | 淡灰白 | ヘラ描印花文 | 14後～15前 |
| 25 | 久見迫B　PP−1014 | 青磁　碗 | — | 5.8 | — | 緑灰 | 外底 | 灰～淡柴灰 | 印花文 | 14末～15 |
| 26 | 久見迫B　SD−64 | 青磁　皿 | — | 5.6 | — | オリーブ灰 | 畳付き～外底 | 淡灰白 | | 14末～15 |
| 27 | 久見迫B　PP−300 | 青磁　碗 | — | 7.2 | — | オリーブ灰 | — | 淡灰白 | | 14後～15前 |
| 28 | 久見迫B　SZ−13 | 青磁　碗 | — | 6.6 | — | 淡灰オリーブ | 畳付き～外底 | 淡灰 | | 15～16前 |
| 29 | 久見迫B　SZ−11 | 青磁　碗 | — | 8.6 | — | オリーブ灰 | 外底 | 淡灰白＋淡黄 | 印花文 | 14後～15前 |
| 30 | 久見迫B　PP−190 | 青磁　皿 | — | 9.0 | — | オリーブ灰 | — | 淡灰白 | 外底に胎土目積み | 14後～15前 |
| 31 | 久見迫B　SZ−08 | 青磁　皿 | — | 8.8 | — | オリーブ灰 | 見込み | 淡灰白 | 陽刻 | 14後～15前 |
| 第63図32 | 久見迫B　Ⅰ～Ⅱ層 | 染付　小皿 | — | 2.8 | — | 淡青白 | 畳付き | 乳白 | 碁笥底 | 15末～16中 |
| 33 | 久見迫B　PP−281 | 染付　皿 | — | 14.2 | — | 乳白 | 畳付き | 白 | 玉取獅子 | 16前～中 |
| 34 | 久見迫B　PP−912 | 染付　碗 | 11.6 | — | — | 淡青白 | — | 乳白 | | 15末～16中 |
| 35 | 久見迫B　SZ−08 | 染付　皿 | 12.4 | 7.4 | 2.6 | 淡青白 | — | 淡灰白 | 玉取獅子 | 15末～16中 |
| 36 | 久見迫B−4東端SD | 染付　皿 | — | 5.6 | — | 淡青白 | 畳付き | 乳白 | | 16前～中 |
| 37 | 久見迫　SZ−13 | 染付　碗 | — | 4.6 | — | 乳白 | 畳付き～外底 | 白 | | 16末～17前 |
| 38 | 久見迫B　排土 | 染付　碗 | — | 5.6 | — | 淡灰白 | 畳付き～外底 | 乳白 | | 16後～17前 |
| 39 | 久見迫B　PP−803 | 染付　皿 | 11.4 | — | — | 乳白 | — | 淡灰白 | 碁笥底 | 16後 |
| 40 | 久見迫B　SZ−11 | 染付　碗 | — | — | 7.2 | 乳白 | — | 淡灰白 | | 16前～中 |
| 41 | 久見迫B　PP−814 | 染付　皿 | 14.4 | 5.5 | — | 淡灰白 | — | 淡灰白 | | 16末～17初 |
| 42 | 久見迫B　PP−821 | 染付　碗 | 12.0 | — | — | 白 | — | 淡灰白 | | 16末～17初 |
| 43 | 久見迫B　PP−110 | 染付　碗 | 12.0 | — | — | 乳白 | — | 白 | | |
| 44 | 久見迫B　PP−947 | 染付　碗 | 12.8 | — | — | 乳白～淡灰白 | — | 乳白 | | 16末～17前 |
| 45 | 試掘溝J2　SD | 染付　皿 | — | 5.8 | — | 淡緑灰 | 畳付き～外底 | 淡黄白 | 貼付高台、焼成あまい | 16後～17前 |
| 46 | 試掘溝Ⅰ2　SD−37 | 染付　皿 | — | 4.6 | — | 淡灰白 | 畳付き | 淡灰白 | | 16後～17前 |
| 47 | 地主原A　PP−326 | 青磁　碗 | 14.8 | — | — | オリーブ灰 | — | 淡灰白 | 剣先鎬蓮弁 | 13～14 |
| 48 | 地主原A　PP−014 | 青磁　碗 | 15.6 | — | — | 淡緑灰 | — | 淡灰～淡灰白 | 剣先蓮弁 | 15末～16 |

表12　調査区出土　国産陶磁器　観察表（１）

| 番号 | 出土地・遺構 | 種類・器種 | 法量（cm） | | | 色調 | | | 調整・技法・文様・その他 | 年代 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径 | 底径 | 高さ | 釉色 | 露胎 | 胎土 | | |
| 第65図1 | 試掘溝A　SD−24 | 唐津　刷毛目徳利 | 5.2 | 8.2 | — | 暗褐 | 淡灰 | 淡茶灰 | 二次被熱 | 17世紀 |
| 2 | 試掘溝A　SD−24 | 摩摩？　碗 | 8.9 | — | — | 外：茶<br>内：乳白 | — | 淡乳白 | | 19 |
| 3 | 蕨C　ST−3008 | 南九州　埦 | — | 4.4 | — | 茶褐 | 畳付き | 淡灰 | 蛇ノ目釉剝ぎ | 18後～幕末 |
| 4 | 試掘溝C1拡張区 | 薩摩　皿 | 7.3 | — | — | 淡黄白 | — | 淡灰白 | | 17 |
| 5 | 試掘溝C1拡張区 | 薩摩　埦 | — | 4.4 | — | 暗緑灰 | 畳付き～外底<br>暗赤褐 | 暗赤褐 | 蛇ノ目釉剝ぎ | 17 |
| 6 | 蕨C　ST−3008 | 薩摩　甕 | — | 18.0 | — | — | 外:灰～暗灰<br>内:淡灰黄 | 茶褐・灰 | | 17 |
| 7 | 久見迫B　SZ−11 | 唐津　鉄絵埦 | 12.0 | 4.6 | 6.2 | 淡灰白 | 淡橙黄～<br>黄褐 | 淡黄褐 | | 1580～1610 |
| 8 | 久見迫B　SZ−11 | 肥前か　埦 | — | 5.2 | — | 淡緑白 | 畳付き | 淡黄白 | | 17前 |
| 9 | 久見迫B　SZ−11 | 薩摩　摺鉢 | — | 7.8 | — | 暗茶褐 | 外底<br>暗茶 | 灰～淡灰 | | 17後～18 |
| 10 | 久見迫B　SZ−11 | 肥前系　染付大皿 | — | 9.8 | — | 淡灰白 | 畳付き<br>乳白 | 乳白 | | 17 |
| 11 | 久見迫B　SZ−11 | 初期薩摩　摺鉢 | — | 10.7 | — | 茶褐 | — | 淡灰・暗灰 | タタキ整形、外底に貝痕、串木野周辺 | 17前 |
| 12 | 久見迫B　SZ−13 | 南九州　碗 | — | 4.6 | — | 黄褐 | — | 淡灰 | | 18後半～19 |
| 13 | 久見迫B　SZ−13 | 薩摩　壺 | — | 8.2 | — | 暗茶褐 | 茶灰～<br>暗赤褐 | 明灰褐＋<br>暗赤褐 | | 17後～18 |
| 14 | 久見迫B　SZ−13 | 薩摩　鉢 | — | — | — | 緑灰 | — | 茶褐 | 内外面に自然釉 | 17？ |
| 15 | 久見迫B　II層 | 薩摩　摺鉢 | — | — | — | 暗緑 | 口縁内面<br>暗柴灰 | 暗灰褐 | | 18～19 |
| 16 | 試掘溝J2　SD | 肥前茶 青磁 瓶 | — | 4.4 | — | 乳白 | 外底、内面 | 淡乳白 | | 18後～19前 |
| 17 | 試掘溝I2　SD−37 | 薩摩？　碗 | 12.4 | — | — | 乳白 | — | 白 | | 19 |
| 18 | 試掘溝J2 | 肥前系　染付碗 | 11.4 | — | — | 乳白 | — | 淡乳白 | | 18後～19初 |
| 19 | 試掘溝I2　II層 | 南九州　碗 | — | 4.7 | — | 淡灰 | 畳付き | 淡灰白 | 蛇ノ目釉剝ぎ | 18後～19 |
| 20 | 試掘溝I2　SD−37 | 薩摩　染付碗 | 11.4 | — | — | 乳白 | — | 乳白 | 端反り型 | — |
| 21 | 試掘溝I2　SD−37 | 肥前系　染付碗 | 10.6 | — | — | 乳白 | — | 乳白 | 端反り型 | 1820～幕末 |
| 22 | 試掘溝I2　SD−37 | 南九州　埦 | 12.6 | — | — | 淡黄褐<br>暗桃褐 | — | 明茶褐 | 蛇ノ目釉剝ぎ | |
| 23 | 試掘溝F1 | 薩摩　甕 | 33.2 | — | — | 暗緑褐 | — | 赤褐 | | 17後～18 |
| 24 | 試掘溝G1　SD35 | 薩摩　摺鉢 | 14.6 | — | — | 暗緑褐 | — | 暗灰、赤褐 | | 18～幕末 |
| 25 | 試掘溝I2　II層 | 薩摩　注口付土瓶 | 9.0 | — | — | 暗褐 | — | 赤褐 | | 18～幕末 |
| 26 | 久見迫B　PP−240 | 肥前系染付蓋付小壺 | 6.3 | | | 乳白 | 口唇～<br>内面 | 白 | | 17後～18前 |
| 27 | 久見迫B　PP−240 | 薩摩　鉢 | 45.5 | 26.8 | 8.2 | 外:暗緑黄<br>内:濁淡黄 | 口縁上面<br>暗赤褐 | 橙黄 | 口縁上面に重ね焼き痕 | 17後～19前 |
| 第66図28 | 久見迫B　PP−321 | 唐津　埦 | 11.0 | 3.8 | 3.6 | 淡緑灰 | 畳付き～外底<br>淡黄褐 | 淡灰褐～<br>淡灰 | | 16末～1610 |
| 29 | 久見迫B　PP−253 | 唐津　埦 | — | 5.3 | — | 黒褐 | 外底<br>淡茶褐 | 灰 | | 16末～1630 |
| 30 | 久見迫B　I層 | 唐津　鉄釉埦 | — | 4.4 | — | 黒褐～<br>暗茶褐 | 紫灰 | 淡灰～灰 | | 1600～1630 |
| 31 | 試掘溝I1　II層 | 唐津　皿 | 13.3 | 5.2 | 3.9 | 淡灰白 | 橙～橙褐 | 橙褐 | 砂目積み | 1600～1630 |
| 32 | 久見迫B　PP−1012 | 唐津　皿 | — | 6.8 | — | 外:濁白<br>内:白～淡茶黄 | 外面下半<br>淡黄褐～淡茶 | 淡黄 | 内面に砂目 | 1600～1630 |
| 33 | 久見迫B　ST−4001 | 唐津　埦 | — | 6.3 | — | 乳白 | 桃褐 | 淡灰～桃褐 | 漆継ぎ痕 | 16末～17初 |
| 34 | 久見迫B　SD−64 | 肥前系　皿 | 12.9 | 6.3 | 3.6 | 淡灰 | 畳付き | 淡灰白 | 嬉野吉田窯 | 1650～60 |
| 35 | 試掘溝I2　II層 | 肥前　皿 | — | 6.1 | — | 乳白 | — | 淡灰白 | 嬉野吉田窯 | 1650～60年代 |
| 36 | 試掘溝I1　PP | 肥前　染付徳利 | — | 6.8 | — | 淡灰白 | 畳付き | 淡灰白 | 嬉野吉田窪 | 1650～60 |
| 37 | 久見迫B　ST−4004 | 肥前　染付碗 | 10.5 | — | — | 淡灰白 | — | 白 | 二次被熱 | 1630～50 |
| 38 | 久見迫B　PP−354 | 肥前　染付碗 | 13.5 | — | — | 乳白 | — | 白 | | 1650～70 |
| 39 | 久見迫B　PP−826 | 肥前係　染付碗 | 9.8 | — | — | 乳白 | — | 白 | | 17中 |
| 40 | 久見迫B　PP−803 | 肥前　染付碗 | 11.1 | — | — | 淡灰白 | — | 乳白 | | 1650～60 |
| 41 | 久見迫B　PP−881 | 唐津　皿 | — | 4.3 | — | 淡灰白 | 外面下半<br>～外底 | 黄褐～<br>赤褐 | | 16末～17初 |
| 42 | 久見迫B　II層 | 肥前　内野山窯皿 | 13.4 | 4.0 | 3.7 | 外:淡緑黄<br>内:緑紅 | — | | 胎土目積み | 17末 |
| 43 | 試掘溝F1　PP | 肥前系？　染付碗 | — | 6.3 | — | 淡黄白 | — | 淡灰白 | | 17後 |
| 44 | 久見迫B　PP−109 | 薩摩？　碗 | 14.2 | 5.2 | 5.9 | 淡茶黄 | 畳付き | 淡黄白 | | 17 |
| 45 | 試掘溝I1　PP | 肥前系　染付碗 | — | 4.5 | — | 淡灰白 | — | 白 | | 17中 |
| 46 | 試掘溝I1　II層 | 肥前　青磁碗 | 13.0 | — | — | 淡緑白 | — | 乳白 | | 17 |
| 47 | 久見迫B　PP−797 | 肥前　内野山窯皿 | 12.4 | — | — | 緑褐<br>淡褐～淡灰 | — | 淡灰白 | | 17末～18初 |
| 48 | 久見迫B　PP−251 | 肥前　染付小坏 | 6.2 | 2.8 | 4.2 | 白 | — | 白 | | 17後 |

## 表13　調査区出土　国産陶磁器　観察表（２）

| 番号 | 出土地・遺構 | 種類・器種 | 法量（cm） | | | 色調 | | | 調整・技法・文様・その他 | 年代 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径 | 底径 | 高さ | 釉色 | 露胎 | 胎土 | | |
| 49 | 久見迫B　PP−241 | 肥前　染付小坏 | 7.9 | 3.6 | 5.4 | 乳白 | 畳付き | 白 | | 17後 |
| 50 | 久見迫B　PP−251 | 肥前系　染付小坏 | 7.0 | 3.0 | 4.2 | 淡灰白 | 畳付き | 乳白 | 漆接合痕 | 17後〜18前 |
| 51 | 久見迫B　PP−235 | 肥前系　染付碗 | — | 5.2 | — | 乳白 | 内面<br>畳付き〜外底 | 乳白 | | 17後〜18前 |
| 52 | 久見迫B　SZ−09 | 唐津系　摺鉢 | 29.0 | — | — | 暗茶褐 | 淡黄〜淡黄褐 | 淡黄褐 | | 17前 |
| 53 | 久見迫B　SK−108 | 南九州　飯器 | — | 5.3 | — | 外：茶褐<br>内：明茶褐 | 外底<br>濁白 | 淡黄白 | | 17 |
| 54 | 久見迫B　PP−321 | 肥前系 青磁 香炉 | 7.7 | — | — | 淡緑灰〜淡灰 | — | 淡灰白 | | 17 |
| 55 | 久見迫B　PP−213 | 南九州　埦 | 9.7 | 4.2 | 4.7 | 暗茶褐〜黒褐 | 畳付き<br>淡黄褐 | | 蛇ノ目釉剥ぎ | 17後〜18初 |
| 56 | 久見迫B　PP−867 | 南九州　埦 | 10.8 | 4.4 | 5.8 | 暗茶褐 | 畳付き<br>淡黄灰 | 淡黄白 | 蛇ノ目釉剥ぎ | 17後〜18 |
| 57 | 久見迫B　ST−4004 | 肥前系　染付碗 | 11.4 | 4.2 | 4.8 | | − | | | 18中〜末 |
| 58 | 久見迫B　PP−803 | 肥前系　染付碗 | 11.3 | — | — | 淡灰白 | — | 乳白 | | 18 |
| 59 | 久見迫B　PP−887 | 肥前　染付碗 | — | 4.2 | — | 淡青白 | 畳付き | 白 | | 18 |
| 60 | 試掘溝J2　SD | 肥前　染付碗 | — | 5.4 | — | 淡乳白 | — | 淡乳白 | コンニャク印判 | 18前〜中 |
| 61 | 試掘溝I2　II層 | 肥前　染付碗 | — | 4.2 | — | 乳白 | — | 白 | コンニャク印判 | 18前〜中 |
| 62 | 試掘溝J2　SD | 肥前系　染付碗 | 10.2 | — | — | 乳白 | — | 淡乳白 | | 18 |
| 63 | 久見迫B　PP−1146 | 肥前系　染付碗 | 9.8 | — | — | 淡灰 | 高台 | 淡灰白 | 網目文 | 18 |
| 64 | 試掘溝J2 | 唐津　碗 | 8.9 | 3.9 | 5.0 | 淡黄乳 | − | 淡黄褐 | | 18前 |
| 第67図<br>65 | 地主原A　SD−01 | 薩摩　摺鉢 | 29.5 | — | — | 暗黄〜濁黄 | 淡茶灰 | 暗灰〜暗灰青 | 重ね焼き痕 | 17 |
| 66 | 地主原A　PP−243 | 南九州　鉢 | 19.6 | 6.2 | 6.0 | 灰黄 | 畳付き<br>〜外底 | 淡黄白 | 蛇ノ目釉剥ぎ、漆接合痕 | 17 |
| 67 | 地主原A　SZ−01 | 南九州　碗 | 11.6 | 4.6 | 5.9 | 外：淡灰＋灰<br>内：淡黄灰 | − | 淡灰 | 蛇ノ目釉剥ぎ | 17後〜18 |
| 68 | 地主原A　PP−121 | 薩摩　鉄釉碗 | 11.0 | — | — | 暗茶灰〜黒褐 | − | 淡灰褐 | | 17 |
| 69 | 地主原A　PP−243 | 唐津系　埦 | 12.2 | 4.5 | 5.7 | 淡黒褐 | 淡黄 | 淡黄白 | | 17中〜18前 |
| 70 | 地主原A　PP−270 | 肥前系　染付碗 | — | 4.4 | — | 外：淡灰白<br>内：乳白 | − | 白 | | 18前〜中 |
| 71 | 地主原A　SD−01 | 肥前系　染付皿 | 12.6 | 5.8 | 3.4 | 淡灰白 | 畳付き | 乳白 | 蛇ノ目釉剥ぎ | 18中〜末 |
| 72 | 地主原A　PP−047 | 薩摩？　碗 | 11.2 | 4.5 | 5.7 | 乳白 | 畳付き | 白 | | 1820〜明治 |
| 73 | 地主原A　SZ−04 | 肥前系　白磁碗 | — | 3.8 | — | 乳白 | 畳付き | 白 | 多条沈線 | 18中〜末 |
| 74 | 地主原A　PP−129 | 南九州　埦 | 11.5 | 4.5 | 6.1 | 暗紫褐〜<br>暗茶褐 | 畳付き〜内底<br>明茶褐 | 茶褐 | 蛇ノ目釉剥ぎ | 18〜幕末 |
| 75 | 地主原A　PP−210 | 南九州　飯器 | — | 4.8 | — | 黄緑 | 黄褐〜<br>赤褐 | 淡黄褐 | 蛇ノ目釉剥ぎ | 18〜幕末 |
| 76 | 地主原A　PP−220 | 肥前　碗 | 5.4 | — | — | 稜：白<br>面：暗茶褐 | 口縁端面<br>〜内面 | 白 | 六角 | 17後〜18前 |
| 77 | 地主原A　SZ−04 | 南九州　燭台 | — | 5.4 | — | 外：茶褐<br>内：暗黄褐 | − | 赤褐 | 糸切り底 | 18〜幕末 |
| 78 | 地主原A　SD−01 | 薩摩　甕 | — | 17.0 | — | − | 暗茶褐 | 暗灰 | 灰被 | 18〜19後 |
| 79 | 地主原A　SD−01 | 南九州　片口 | 13.0 | 5.2 | 6.3 | 暗紫褐 | 高台〜外底 | 橙褐 | 蛇ノ目釉剥ぎ | 18〜幕末 |
| 80 | 地主原A　SA−01 | 肥前系　白磁蓋 | 8.9 | — | — | 乳白 | − | 白 | | 18中〜末 |
| 81 | 地主原A　SA−01 | 薩摩　蓋 | 4.1 | — | — | 暗紫褐 | − | 灰褐 | | |
| 82 | 地主原A　SA−01 | 肥前　染付小坏 | 7.1 | 3.0 | 4.2 | 乳白 | 畳付き | 白 | | 明治後半〜大正 |
| 83 | 地主原A　SA−01 | 南九州　埦 | 10.4 | — | — | 茶 | 口縁内面<br>茶褐 | 茶褐 | 淡黄白色釉の文様 | 18〜19 |
| 84 | 地主原A　SA−01 | 薩摩？　染付碗 | 10.3 | 4.0 | 5.5 | 乳白 | 畳付き | 白 | 蛇ノ目釉剥ぎ | 明治 |

## 表14　試掘溝Ｋ１・久見迫Ｂ地区出土　砥石　一覧

| 番号 | 出土地・遺構 | 法量（cm） | 材質 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 第68図<br>1 | 久見迫B　PP−812 | 9.0×2.5×2.1 | 粘板岩 | 条痕あり |
| 2 | 久見迫B　SZ−06 | 9.0×5.2×1.7 | 泥岩 | 3面使用 |
| 3 | 久見迫B　ST−4003 | 9.4×7.3×1.6 | 粘板岩 | 3面使用 |
| 4 | 久見迫B　PP−193 | 7.6×4.9×3.3 | 硬砂岩 | 3面使用 |
| 5 | 久見迫B　SZ−08 | 4.6×4.3×0.7 | 泥岩 | 擦り切り痕 |
| 6 | 久見迫B　SZ−06 | 5.2×2.2×0.8 | 硬砂岩 | 3面使用 |
| 7 | 久見迫B　PP−826 | 9.2×4.1×1.6 | 砂岩 | 1面使用 |
| 8 | 久見迫B　PP−614 | 5.5×3.6×1.1 | 泥岩 | 3面使用 |
| 9 | 久見迫B　PP−1040 | 10.2×6.8×1.8 | 硬泥岩 | 2面使用 |
| 10 | 久見迫B　PP−384 | 5.3×4.2×0.7 | 砂岩 | 3面使用 |
| 11 | 久見迫B　ST−4006 | 14.7×8.0×3.0 | 砂岩 | 4面使用 |
| 12 | 久見迫B　SZ−08 | 21.6×8.7×5.6 | 砂岩 | 4面使用 |
| 13 | 久見迫B　PP−253 | 5.7×3.4×1.1 | 砂岩 | 4面使用 |
| 14 | 久見迫B　PP−822 | 8.8×3.0×0.8 | 粘板岩 | 条痕あり |
| 15 | 試掘溝K1　SD | 8.9×4,4×2.7 | 粘板岩 | 条痕あり |
| 16 | 久見迫B　SZ−08 | 9.2×4.6×2.3 | 硬砂岩 | 4面使用 |

表15　久見迫Ｂ地区出土　軽石加工品・石臼一覧

| 番号 | 出土遺構 | 法　量(cm) | 使用痕、備考 |
|---|---|---|---|
| 第69図 1 | PP−798 | 11.6×8.0×6.3 | 片面 |
| 2 | SZ−11 | 16.1×13.0×10.2 | 片面、側面 |
| 3 | 排　土 | 5.3×3.0×2.4 | 円柱 |
| 4 | 排　土 | 8.5×4.3×4.2 | 両面 |
| 5 | 排　土 | 5.2×4.9×2.9 | 片面、多面体 |
| 6 | PP−812 | 6.4×4.8×4.6 | 3面、3角柱 |
| 7 | SZ−11 | 9.7×8.0×5.0 | 片面、擦痕 |
| 8 | PP−275 | 直径21.0 高さ11.9 | |

表16　久見迫Ｂ地区出土　金属製品一覧

| 番号 | 出土遺構 | 種　類 | 法　量(cm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 第72図 1 | SZ−09 | 鉋 | 残存長19.6 | |
| 2 | PP−914 | キセル | 4.6 | |
| 3 | SZ−15 | キセル | 6.0 | 同一個体か |
| 4 | PP−1146 | キセル | 5.8 | |
| 5 | PP−1146 | キセル | 7.0 | |
| 6 | PP−1155 | 鎌 | 12.0 | |

表17　地主原Ａ地区　出土遺物一覧

| 番号 | 出土遺構 | 種　類 | 法　量(cm) | 色調、備考 |
|---|---|---|---|---|
| 第73図 1 | PP−239 | 焙　烙 | 口　径19.2 | 黄褐色 |
| 2 | PP−328 | 皿　? | 底　径 4.7 | 黄褐色、糸切り |
| 3 | PP−220 | 坏 | 底　径 7.0 | 黄褐色、糸切り |
| 第74図 1 | PP−208 | 厚　鎌 | 刃　幅15.2 | |
| 2 | SA−01 | 鎌 | 残存長 8.2 | |
| 3 | SA−01 | 用途不明 | 残存長 9.6 | |
| 4 | PP−298 | キセル | 4.0 | |
| 5 | PP−086 | キセル | 4.0 | |
| 第75図 1 | SA−01 | すり石 | 12.2×11.4×8.4 | |
| 2 | SA−01 | 砥　石 | 9.4×5.8×1.6 | 砂岩 |
| 3 | PP−059 | 砥　石 | 11.2×4.0×3.5 | 粘板岩 |

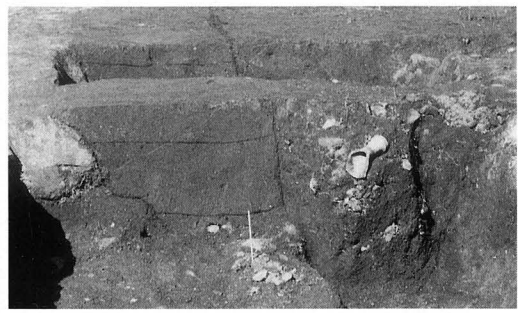
# あとがき

調査後７年も経過した遺跡の報告ですが、やっと公開することができました。筆者が本市へ着任した初めての現場で、“地下式横穴墓”という墓も初めて調査した遺跡です。今思うと、調査方法・地点に不足部分が目立ち、全体像が把握できないことを後悔しています。

中世〜近世の柱穴群の個々についての検討ができず、集落の変遷までは追うことができませんでした。ただ、陶磁器類に関しては大橋先生に鑑定して頂き、他の遺跡の調査・研究にも貴重な成果が得られたことと思っております。

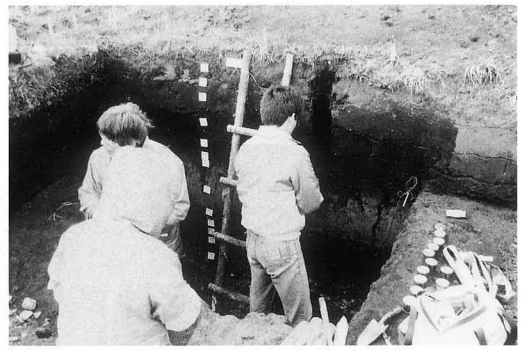
最後に、厳冬の中、調査に参加して頂いた作業員の方々に対しまして厚く御礼申し上げます。

試掘溝Ａ拡張区　ＳＤ－24（西から）

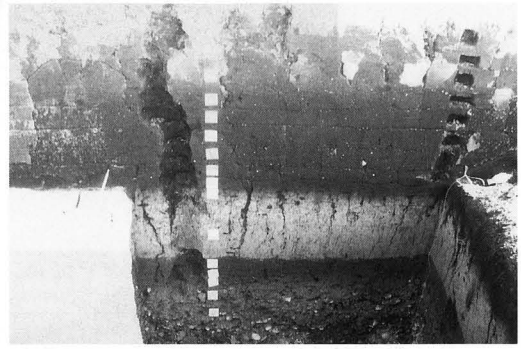


ＳＤ－24　断面（東から）

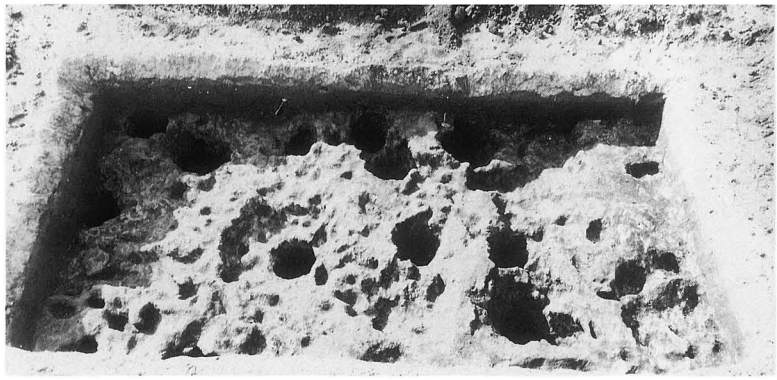
試掘溝Ｃ２　全景（東から）



試掘溝Ｄ１　プラント・オパール分析資料採取



同上　プラント・オパール分析・土壌分析資料採取

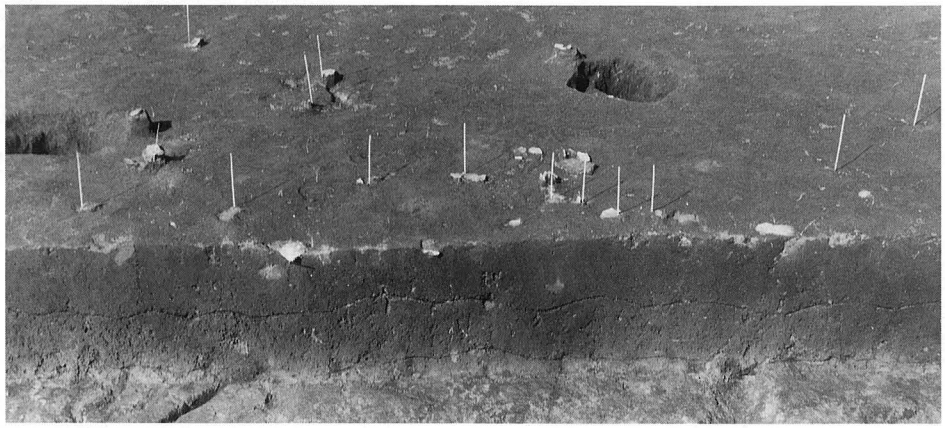


試掘溝Ｆ１　全景（東から）

蕨Ｃ－２区　プラント・オパール分析資料採取

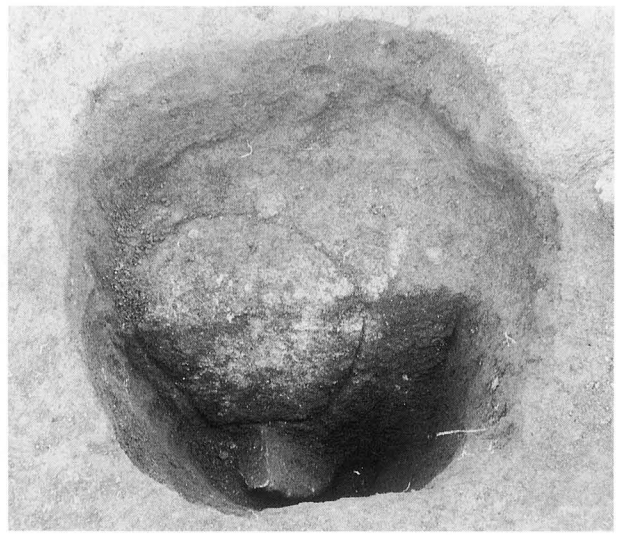
図版２

試掘溝Ｃ１拡張区　全景（東から）



西南部　遺物出土状態（南から）

ＳＢ－01　ＰＰ－１　断面

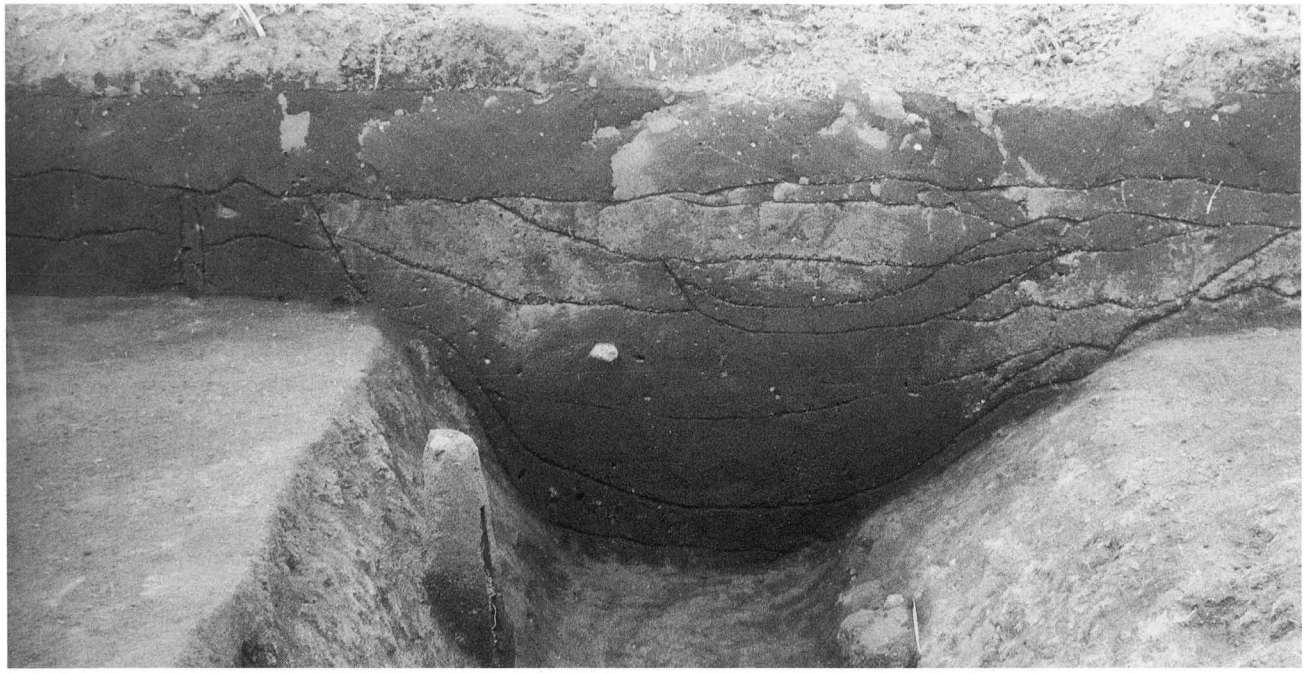


ＳＢ－01　ＰＰ－３　断面

試掘溝Ｄ１拡張区　全景（東から）

ＳＤ－34　全景（東から）

図版 4

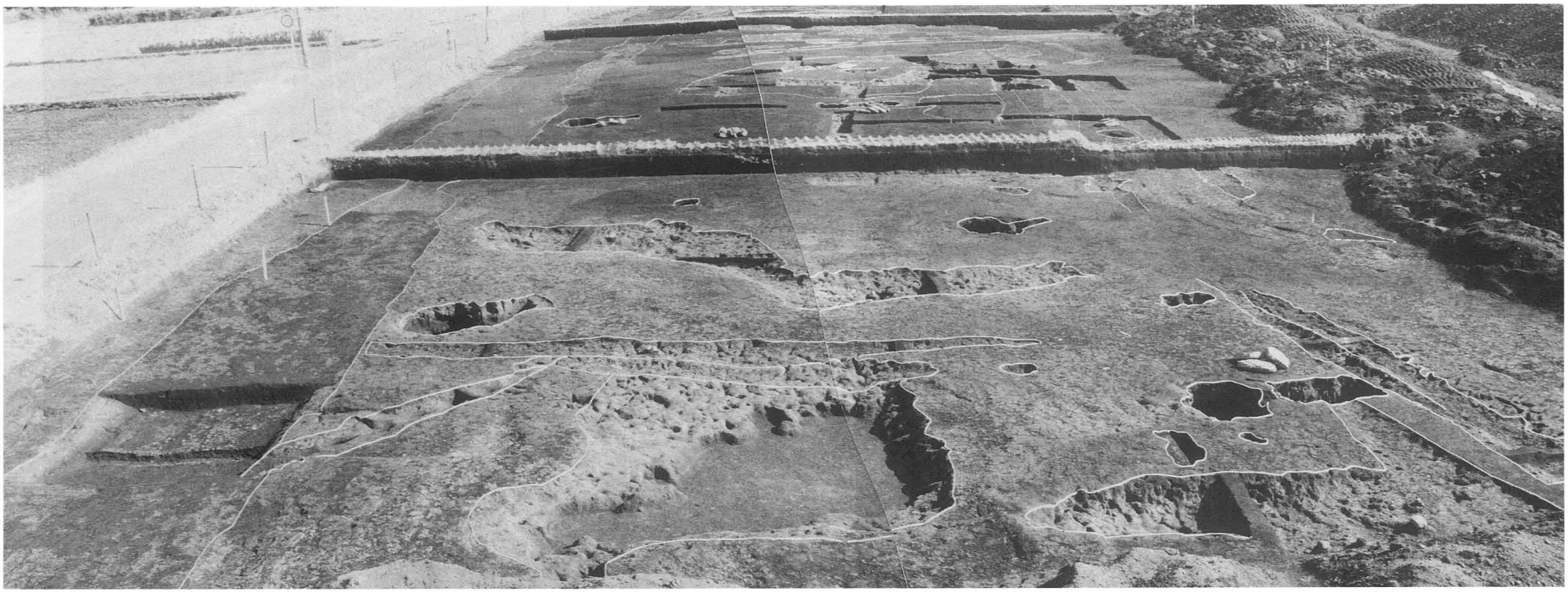


ＳＤ－34　西壁断面層序（東から）

ＳＫ－103　断面層序（南から）

同左　アカホヤ魂　出土状態（北から）

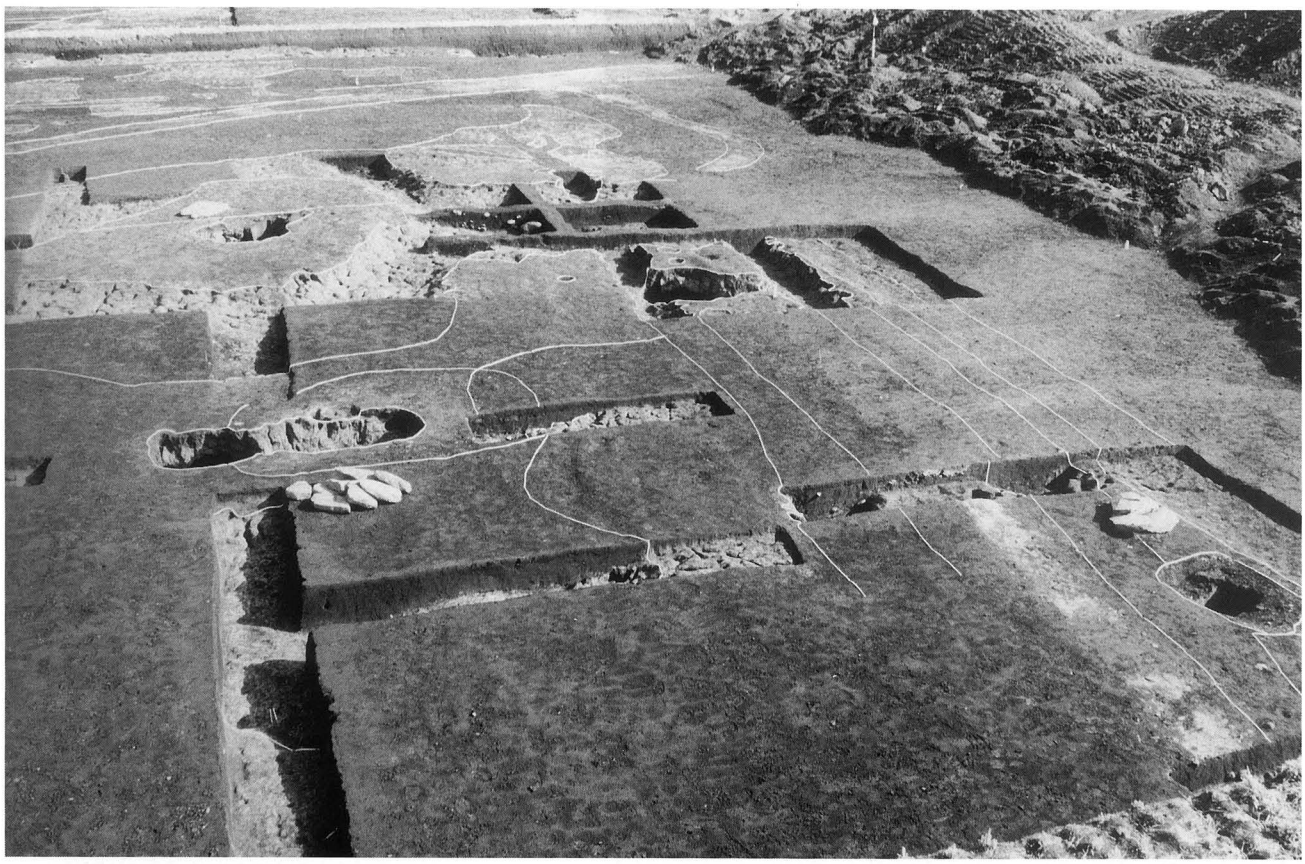
同上　完掘状態（北から）



蕨Ｃ－１～２区　全景（西から）

蕨Ｃ－２区　東壁　ＳＤ－41　断面層序（西から）

図版６



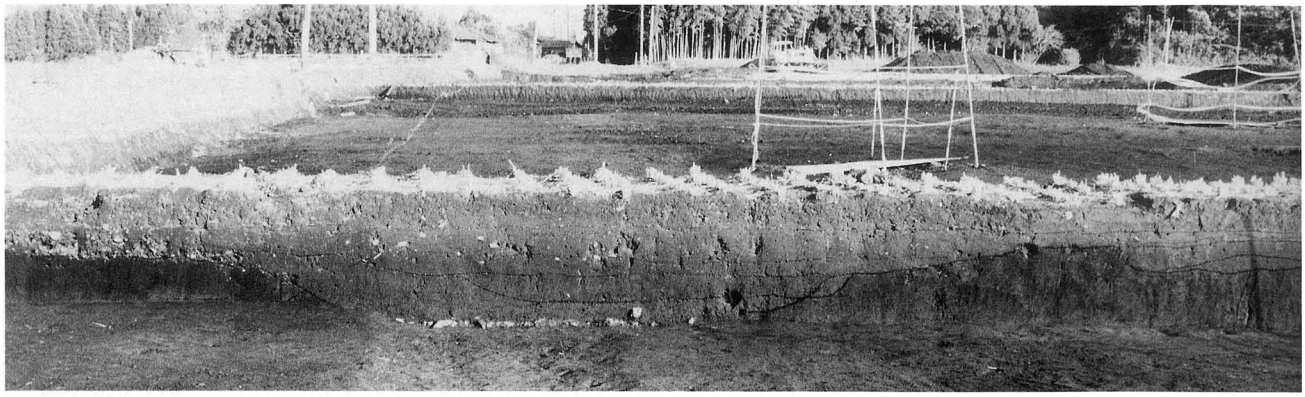
蕨Ｃ－２区南版部　遺構分布状態（西から）

蕨Ｃ－２区　ＳＴ－3020と周辺溝状遺構（南から）

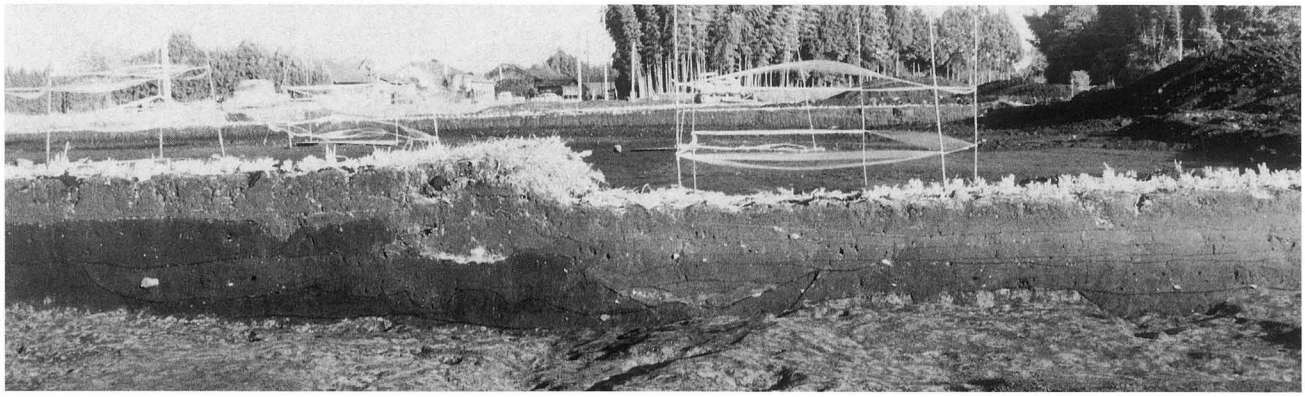
蕨Ｃ－０区　遺構分布状態（西から）

蕨Ｃ－３区　遺構検出状態（東から）

図版 8

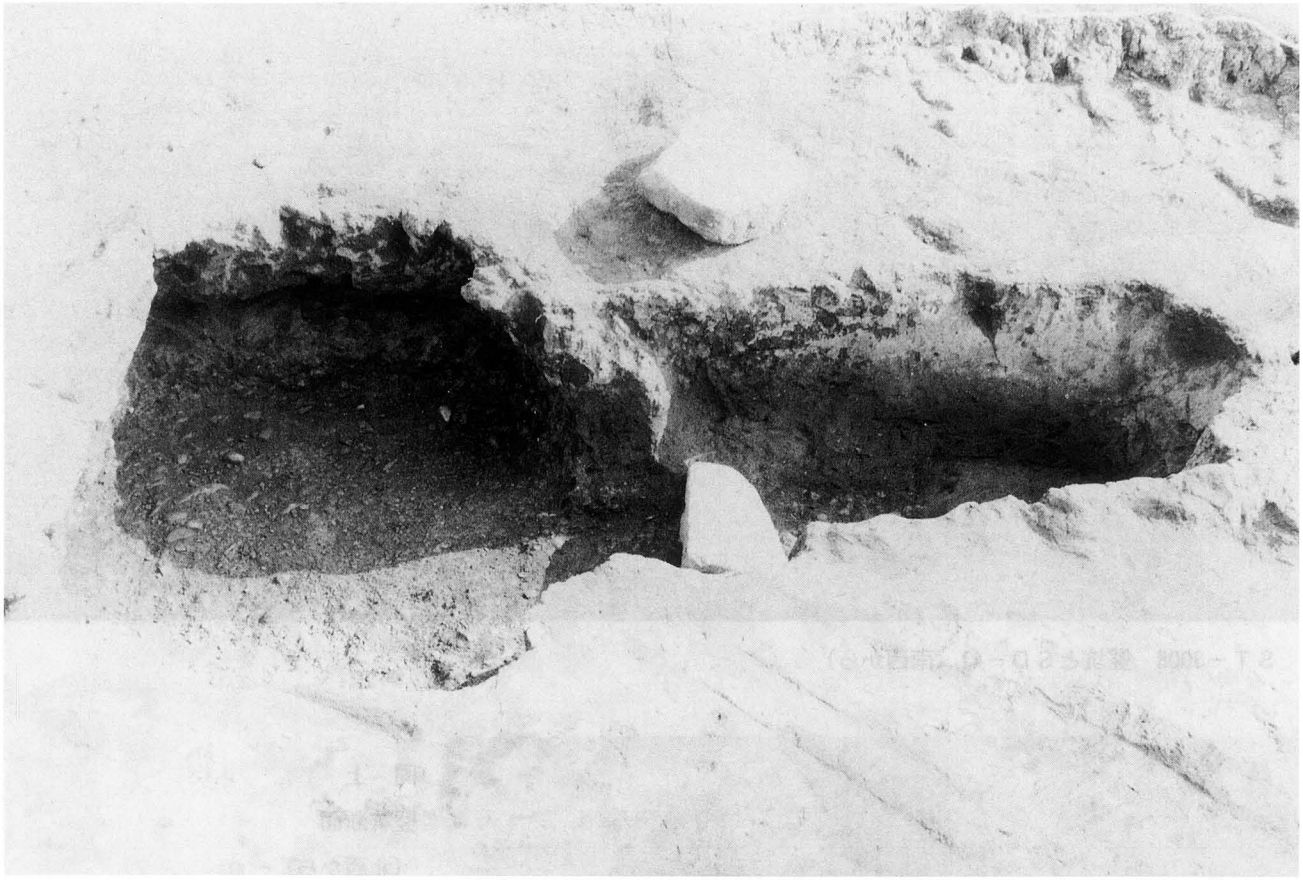


蕨Ｃ－２区　東壁北部　断面層序（西から）



蕨Ｃ－２区　東壁中央部　断面層序（西から）

蕨Ｃ－２区　東壁南端部　断面層序（南西から）



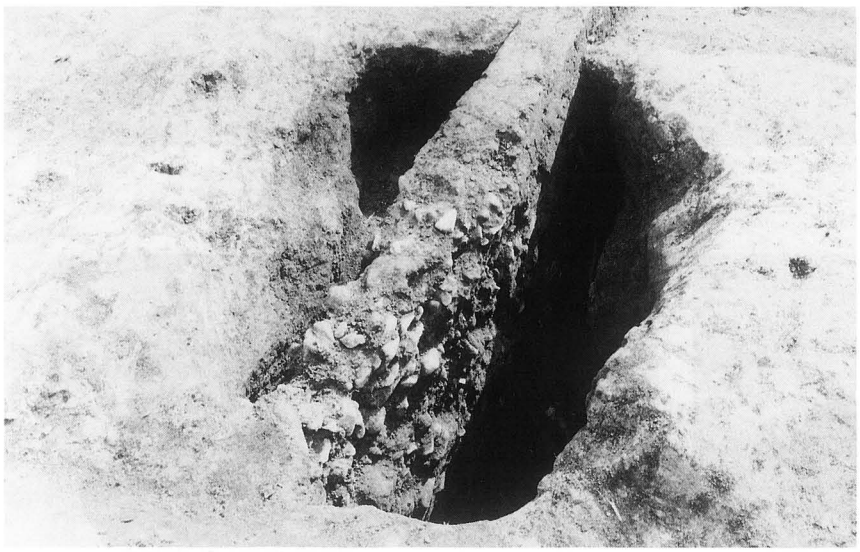
ＳＴ－3007全景（西から）

同上　全景（南から）

同　断面層序南西部（南西から）

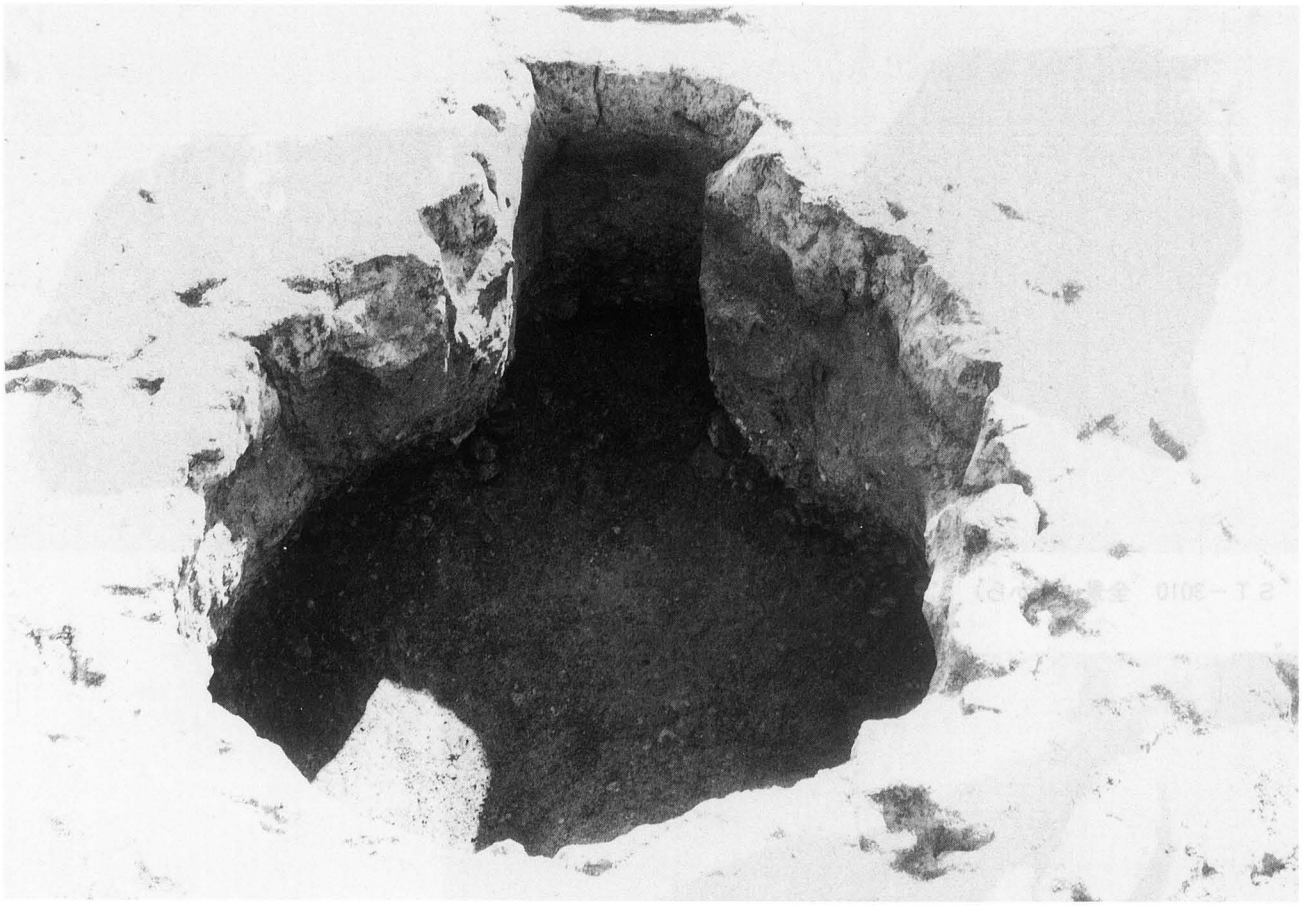
図版10

ＳＴ－3008　竪坑とＳＤ－41（南西から）

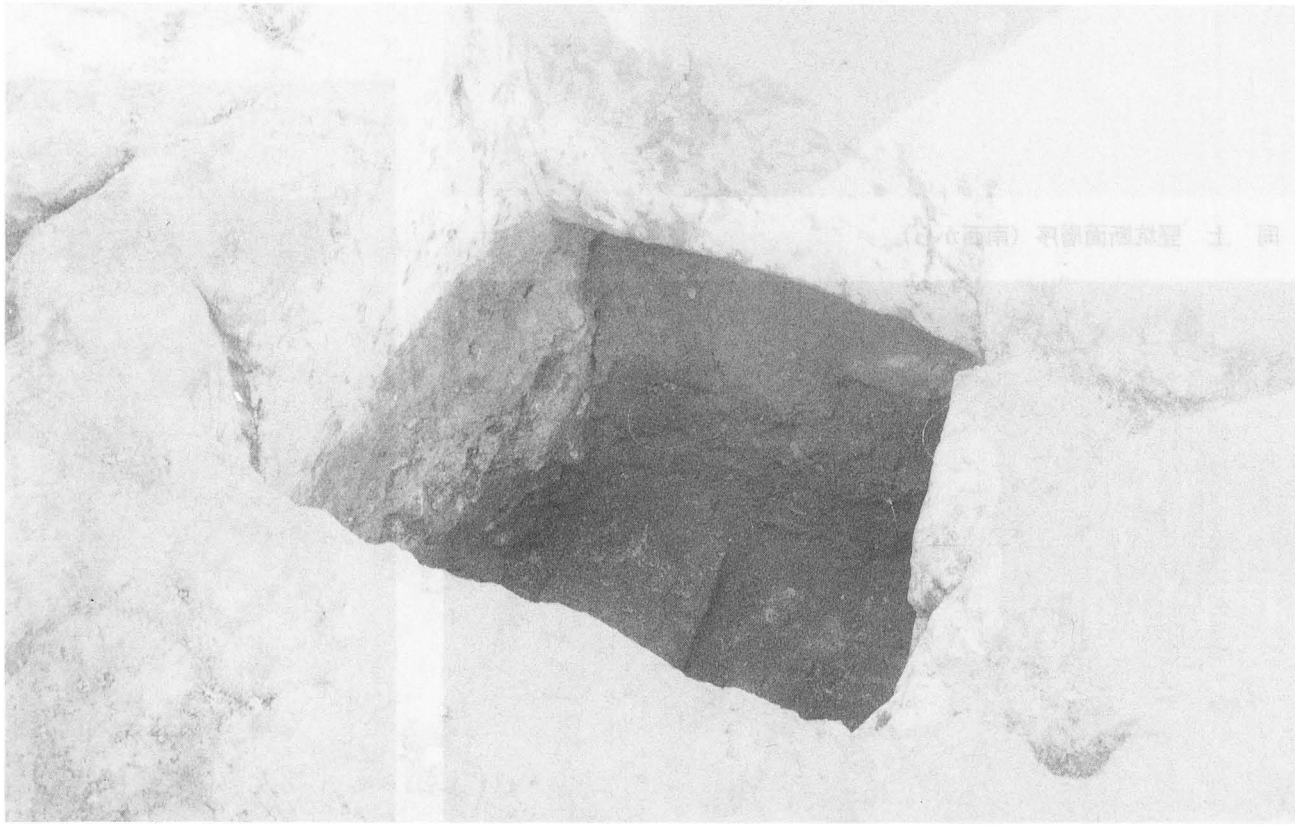


同　上
竪坑断面
（北西から）

同　上
羨門部人骨出土状態
（南から）

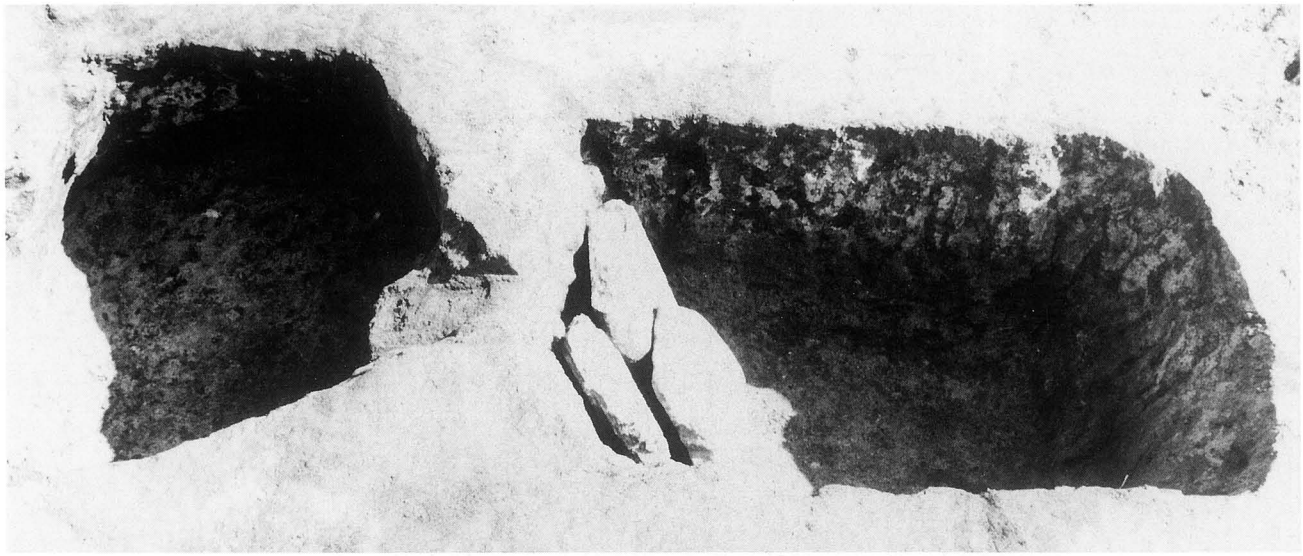


ＳＴ－3009　全景（北から）

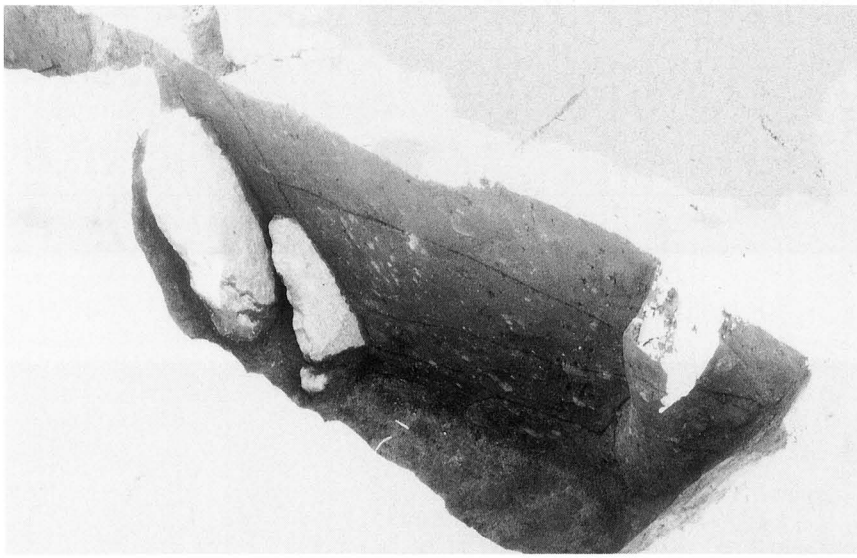


ＳＴ－3013　竪坑完掘状態（南東から）

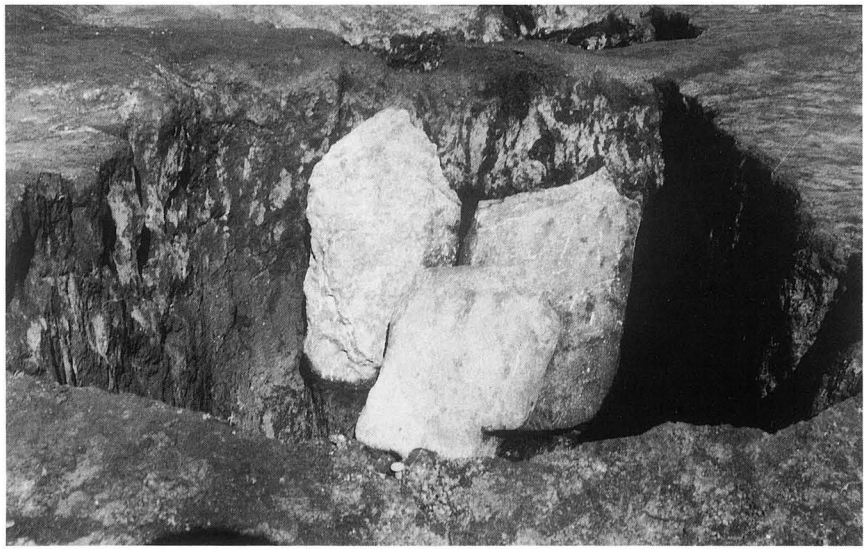
図版12



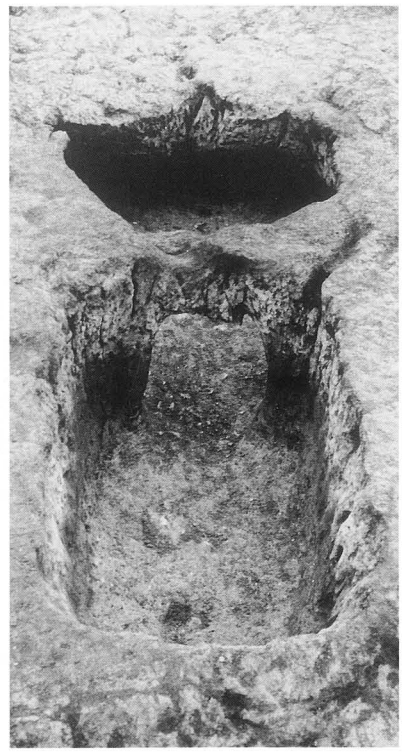
ＳＴ－3010　全景（西から）



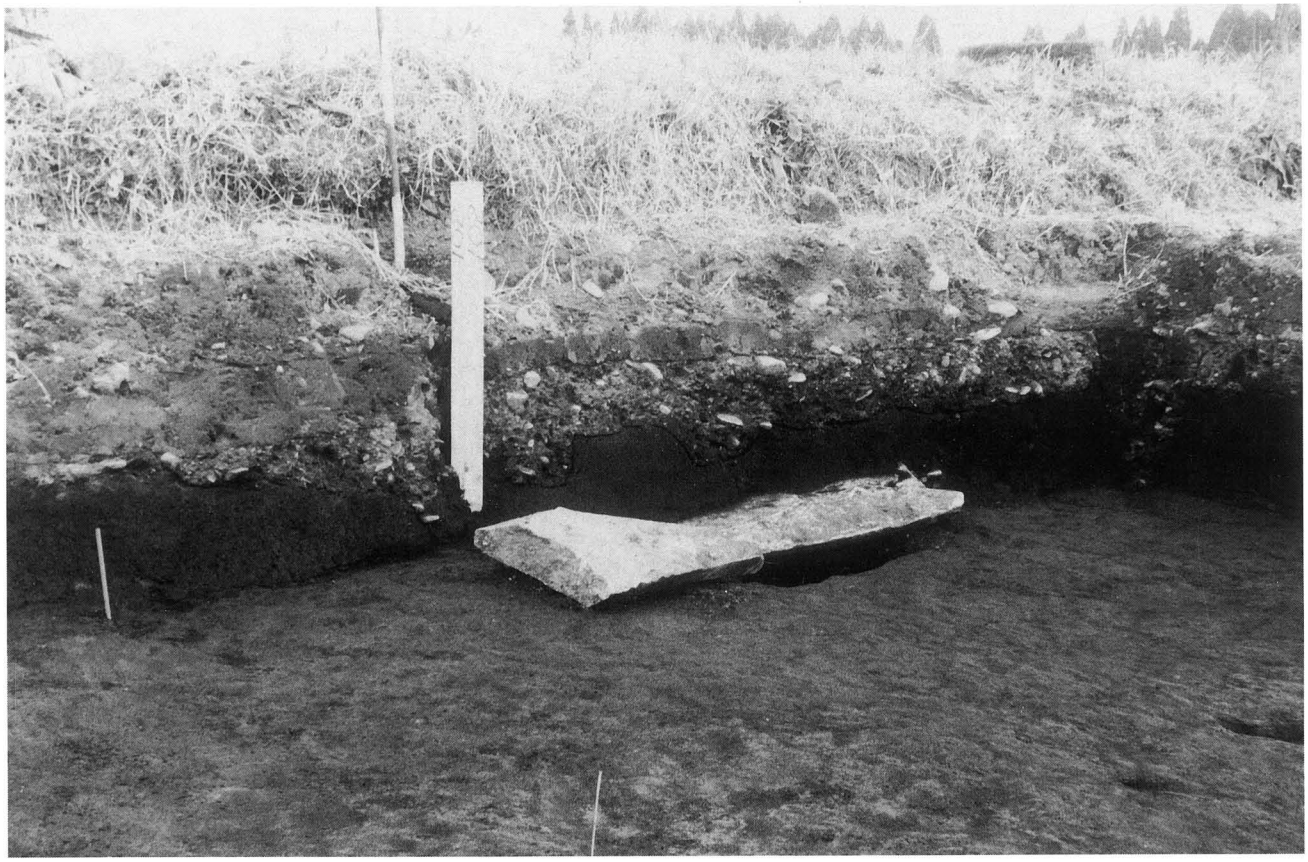
同　上　竪坑断面層序（南西から）



同　上　羨門閉羨状態（南から）



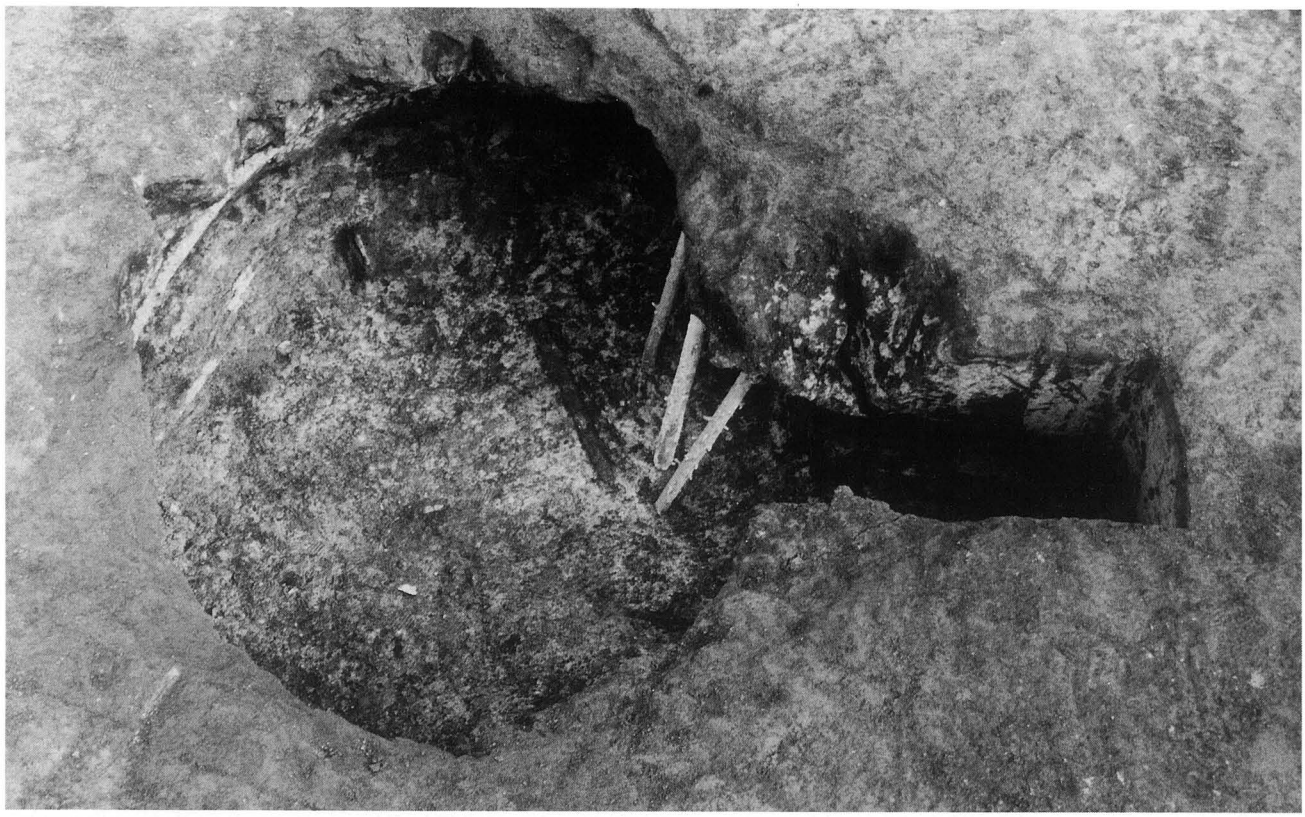
同　上　全景（南から）



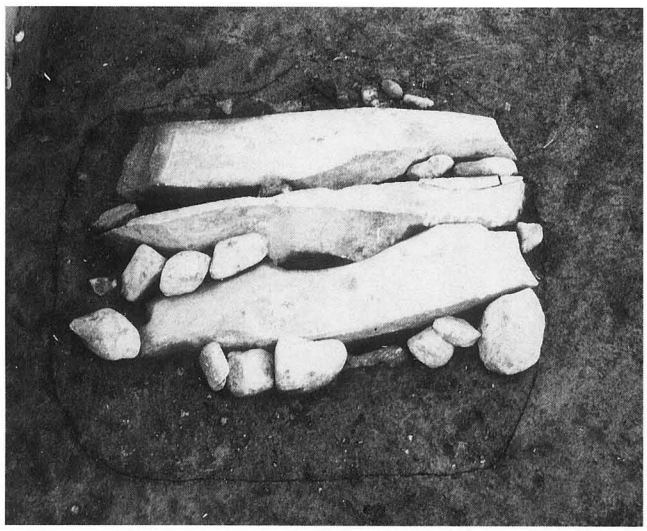
ＳＴ－3012　竪坑上部と排土の断面層序（南西から）

同　上　排土の分布状態（南東から）

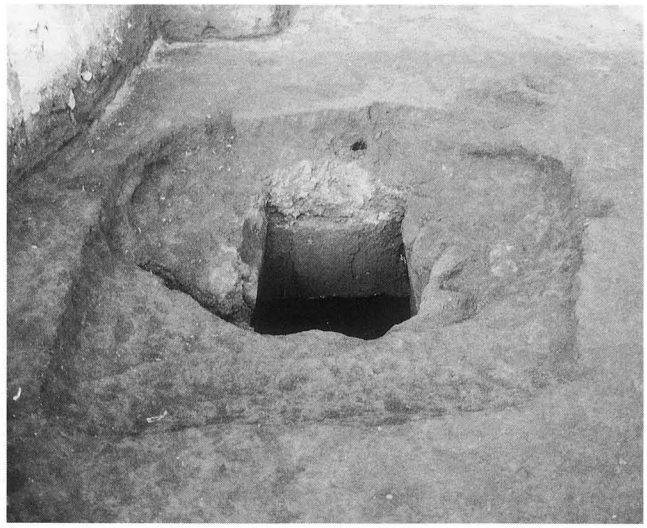
図版14



ＳＴ－3014　全景（西から）



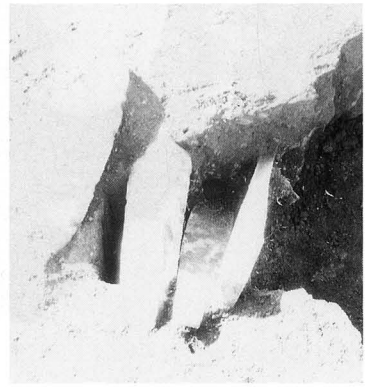
ＳＴ－3015　竪坑上部閉塞状態（南から）



同　左　完掘状態（南から）

同　上　竪坑西側の排土　断面層序（西から）

ＳＴ－3016　全景（南から）

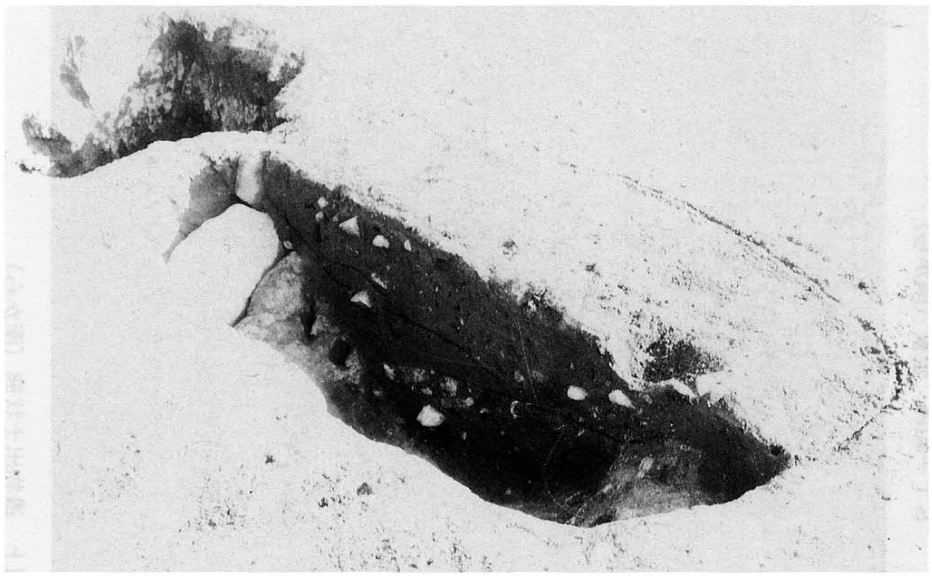


同左　竪坑上部閉塞状態
（東から）

同上　遺物出土状態（南から）

ＳＴ－3017　全景（北西から）

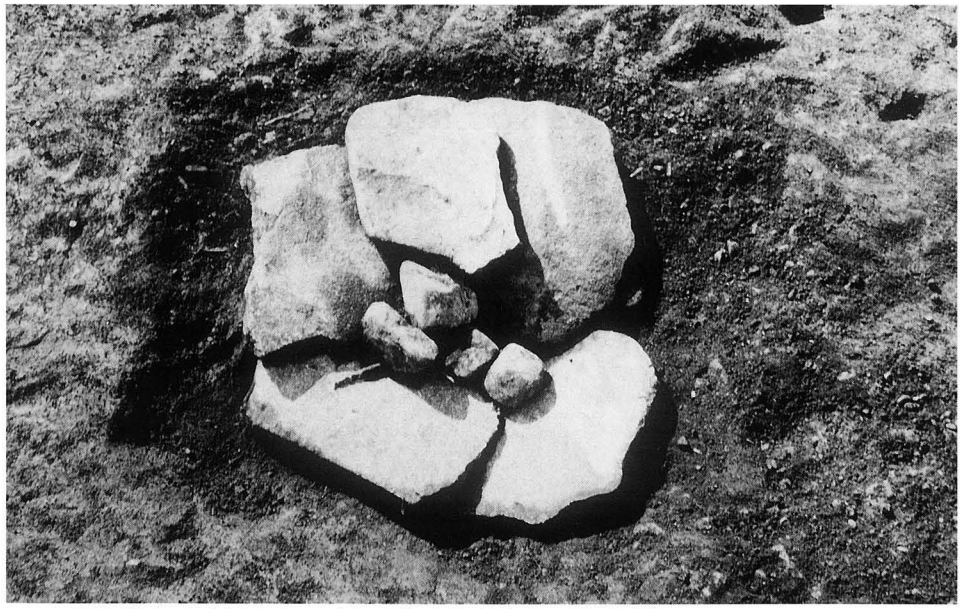
同左　羨門閉塞状態（南から）



同上　竪坑断面層序（南西から）

同左　羨門閉塞状態（東から）

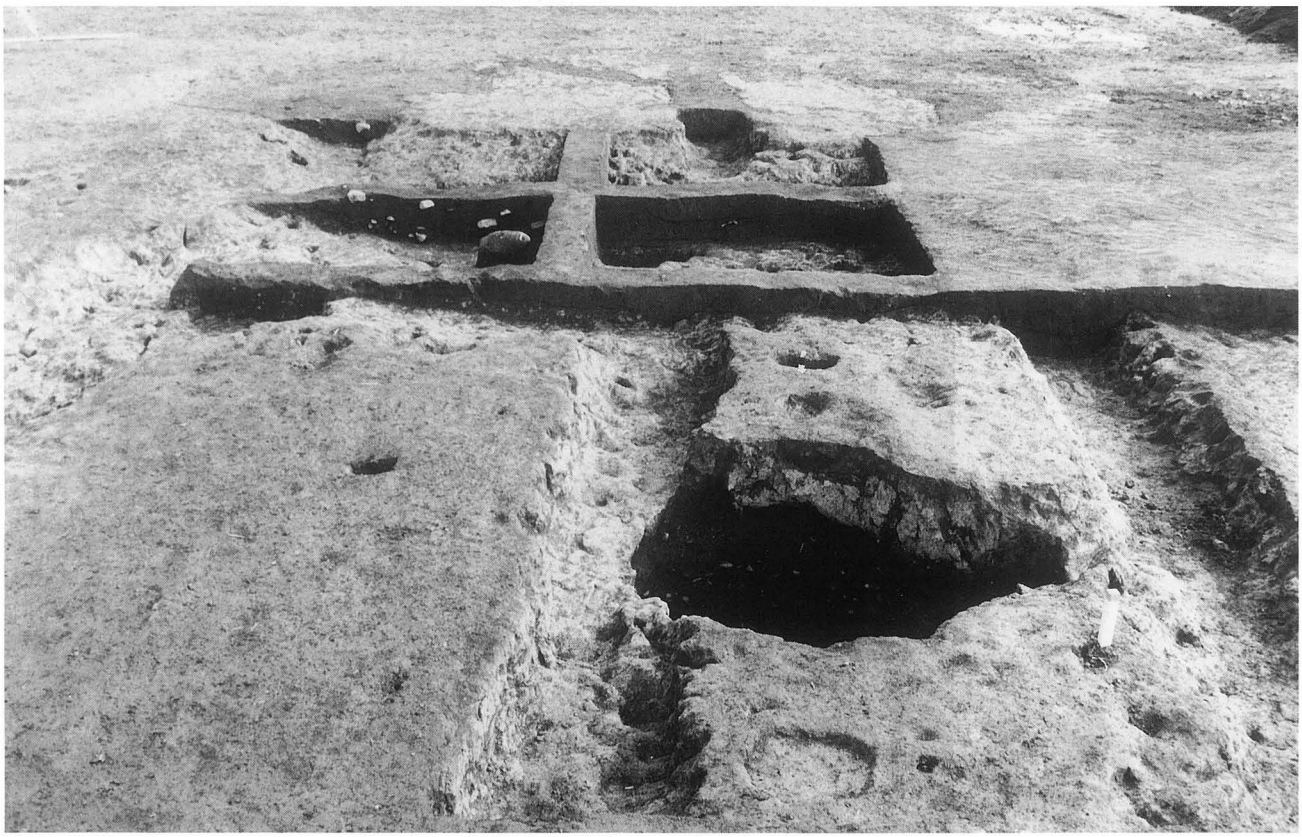
ＳＴ－3018
竪坑上部
閉塞状態
（南から）



同上
全景
（南から）

ＳＴ－3022
全景
（南から）

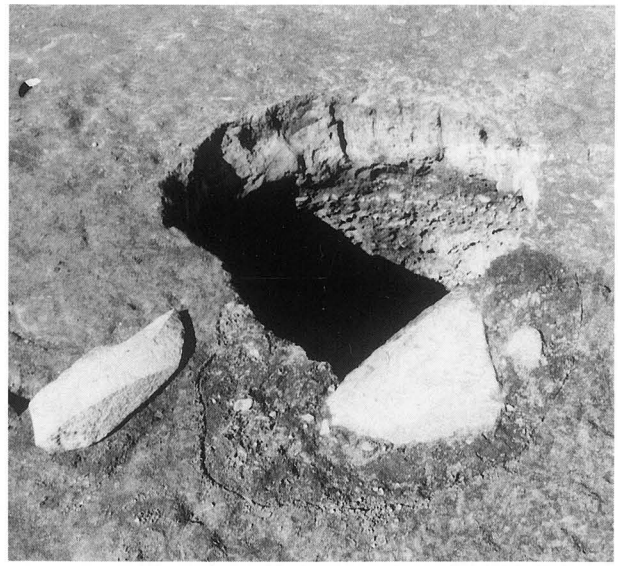
ＳＴ－3019　全景（北から）



ＳＴ－3019と中世の溝状遺構（西から）

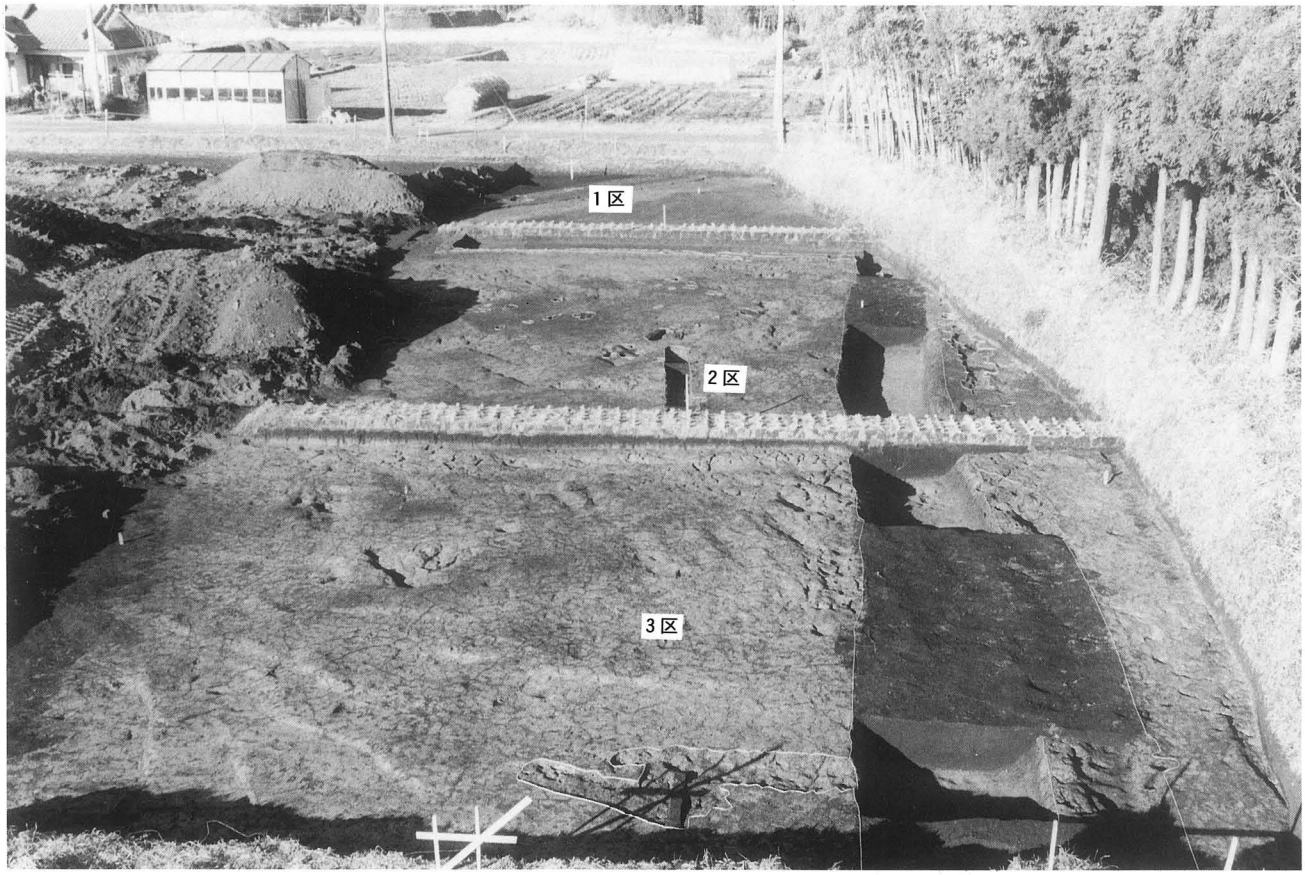
ＳＴ－3020　全景（西から）

同上　全景（南東から）

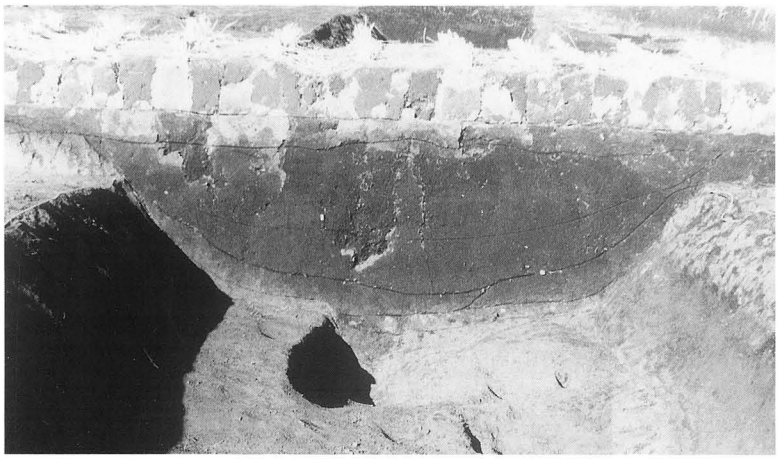


同上　竪坑上部閉塞状態と陥没坑

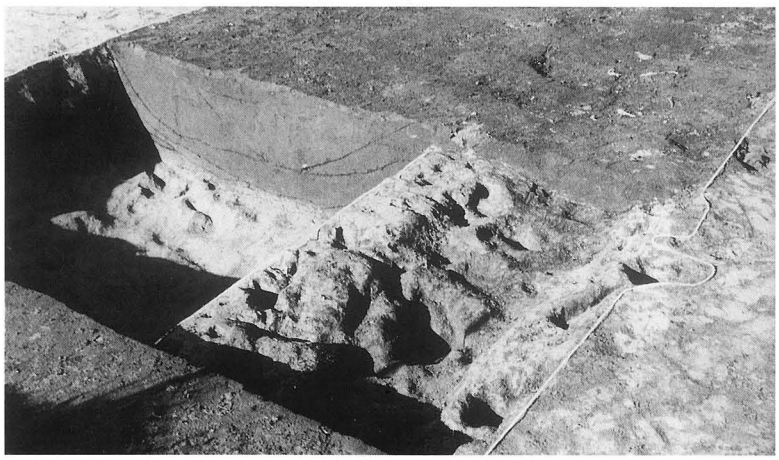
図版20




蕨Ｄ地区　遺構分布状態（南から）



３区
ＳＤ－61
北壁層序
（南から）



同上
層序
（南東から）

久見迫Ｂ－１区　遺構分布状態（西から）

同上　（東から）